

(様式第10)

阪 医 病 総 第 3 号
令 和 2 年 1 0 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人大阪大学
学長 西尾 章治郎 (印)

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番1号
氏 名	国立大学法人大阪大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

大阪大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番15号	電話(06) 6879-5111
--------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等	
① 呼吸器内科 ② 消化器内科 ③ 循環器内科 ④ 腎臓内科	
⑤ 神経内科 6 血液内科 7 内分泌内科 8 代謝内科	
9 感染症内科 10 アレルギー疾患内科またはアレルギー科 11 リウマチ科	
診療実績	
「アレルギー疾患内科またはアレルギー科」、「リウマチ科」の診療内容はアレルギー疾患リウマチ科、「内分泌内科」、「代謝内科」の診療内容は糖尿病・内分泌・代謝内科、「血液内科」の診療内容は血液・腫瘍内科、「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
外科と組み合わせた診療科名	
① 呼吸器外科 ② 消化器外科 3 乳腺外科 4 心臓外科 5 血管外科 ⑥ 心臓血管外科 7 内分泌外科 ⑧ 小児外科	
診療実績 「乳腺外科」、「内分泌外科」の診療内容は乳腺・内分泌外科で提供している。	

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

① 精神科 ② 小児科 ③ 整形外科 ④ 脳神経外科 ⑤ 皮膚科 ⑥ 泌尿器科 7 産婦人科 ⑧ 産科 ⑨ 婦人科 ⑩ 眼科 ⑪ 耳鼻咽喉科 ⑫ 放射線科 13 放射線診断科 14 放射線治療科 ⑮ 麻酔科 ⑯ 救急科
--

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1 小児歯科 2 矯正歯科 3 口腔外科	
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
- 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 糖尿病・内分泌・代謝内科 2 アレルギー疾患リウマチ科 3 血液・腫瘍内科 4 老年内科 5 漢方内科 6 乳腺・内分泌外科 7 病理診断科 8 形成外科 9 リハビリテーション科 10 神経・精神科 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
52 床	床	床	床	1,034 床	1,086 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

種	常勤	非常勤	合計	職	種	員数	職	種	員数
医師	486人	656.0人	921.1人	看護補助者	105人	診療	エックス線技師	0人	
歯科医師	2人	0.00人	2.0人	理学療法士	19人	臨床	臨床検査技師	94人	
薬剤師	84人	0.00人	84.0人	作業療法士	6人	検査	衛生検査技師	3人	
保健師	0人	0.00人	0.0人	視能訓練士	16人		その他	0人	
助産師	38人	0.00人	38.0人	義肢装具士	0人	あん摩	マッサージ指圧師	0人	
看護師	1,062人	17.0人	1074.9人	臨床工学士	38人	医療	社会事業従事者	14人	
准看護師	0人	1.00人	1.0人	栄養士	0人		その他の技術員	29人	
歯科衛生士	3人	0.00人	3.0人	歯科技工士	0人		事務職員	356人	
管理栄養士	11人	0.00人	11.0人	診療放射線技師	68人		その他の職員	61人	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数	専門医名	人数
総合内科専門医	123人	眼科専門医	30人
外科専門医	129人	耳鼻咽喉科専門医	21人
精神科専門医	12人	放射線科専門医	65人
小児科専門医	41人	脳神経外科専門医	23人
皮膚科専門医	17人	整形外科専門医	28人
泌尿器科専門医	20人	麻酔科専門医	27人
産婦人科専門医	26人	救急科専門医	22人
		合計	584人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (土岐 祐一郎) 任命年月日 令和2年4月1日

平成20年～令和元年：医療クオリティ審議委員会委員

--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	859.9人	0.0人	859.9人
1日当たり平均外来患者数	2,413.0人	18.6人	2,431.7人
1日当たり平均調剤数	1,560.6剤		
必要医師数	229.0人		
必要歯科医師数	1.0人		
必要薬剤師数	29.0人		
必要(准)看護師数	511.0人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	595.32 m ²	鉄骨鉄筋 コンクリート	病床数	29床	心電計	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
			人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積	307.23 m ²	病床数	28床		
	[移動式の場合] 台数	台	病床数	床		
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床面積	55.00 m ²				
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	643.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、遠心分離機、自動分析装置		
細菌検査室	135.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、恒温器、安全キャビネット		
病理検査室	305.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	検査台、顕微鏡、ドラフトチャンバー		
病理解剖室	65.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、保管庫、冷蔵庫		
研究室	12,392.00 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン等OA機器、実験台、保管庫		
講義室	1,187.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	7室	収容定員	953人
図書室	4,041.00 m ²	鉄筋コンクリート	室数	-室	蔵書数	343,000冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	95.20%	逆紹介率	73.30%
算出根拠	A：紹介患者の数	20,161人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	16,099人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	753人	
	D：初診の患者の数	21,967人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智 博久	大阪母子医療センター 総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
橋本 重厚	福島県立医科大学会津 医療センター 教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の専門家として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
水島 幸子	水島綜合法律事務所 所長		医療に精通している法律の専門家として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML理事長		患者目線で医療について助言できる者として選定	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	2
奈良 哲	大阪大学理事		本学におけるリスク管理担当理事として選定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	3

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
委員の選定理由の公表の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
公表の方法	
本学のHPに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	0人
腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	4人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	24人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病	0人
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
ベベルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法 閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病(血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	0人
コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法 半月板損傷(関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。)	1人
周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法 非小細胞肺癌(CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。)	0人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断 頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。))であり、かつ、再発が疑われるものに限る。)	0人
自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療 胸髄損傷(損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺(米国脊髄損傷教会によるAISがAである患者に係るものに限る。))を呈するものに限る。)	1人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法 特発性ネフローゼ症候群(当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。)	0人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫(病理学見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。)	0人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断 初発の神経膠腫が疑われるもの(生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。)	0人
術前のS-1内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法 切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)	0人
テモゾロミド用量強化療法 膠芽腫(初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限り。)	3人
自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術 僧帽弁閉鎖不全症(感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者(再手術の適応が認められる患者に限る。))に係るものに限る。)	0人
マルチプレックス遺伝子パネル検査 難治性固形がん(ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。)	75人
術後のアスピリン経口投与療法	0人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	レーザーシース・メカニカルシースを用いたリード抜去術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
デバイス感染患者を対象として、レーザーシースもしくはメカニカルシースを用いてリード抜去を行う。			
医療技術名	カテーテルによる僧帽弁形成術	取扱患者数	33人
当該医療技術の概要			
僧帽弁閉鎖不全患者に対してカテーテル(MitraClip)を用いた僧帽弁形成術を行う。			
医療技術名	カテーテルによる卵円孔閉鎖術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
卵円孔開存患者を対象としてカテーテル閉鎖デバイスを用いた治療を行う。			
医療技術名	心臓CT併設カテーテル検査室におけるハイブリッド治療	取扱患者数	62人
当該医療技術の概要			
心臓カテーテル室内に併設された心臓CTを用い、心臓CTによるガイドワイヤーの確認、カテーテル心筋焼灼術中の左房造影など多角的な画像診断を行う。			
医療技術名	高血圧・心不全患者に対する腎動脈デナベーション(治験中)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
高血圧・心不全を有する患者を対象に腎動脈周辺の交感神経を超音波カテーテルにより焼灼し、交感神経活性の亢進を是正することで症状の改善を図る。			
医療技術名	1型糖尿病に対する Sensor-Augmented Pump (SAP) を用いた糖尿病治療	取扱患者数	35人
当該医療技術の概要			
1型糖尿病患者では自己インスリン分泌が絶対的に不足しており、頻回の自己血糖測定結果に基づき、インスリン注射量を決定している。インスリン注入量をあらかじめプログラムし必要なインスリンを持続投与し得るpump機能に加え、sensorによる持続血糖モニタリングが可能なSAPを用いることで、基礎及び追加インスリン量設定を精密に行え、血糖管理が良好となる。			
医療技術名	脳死下心臓移植	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
特発性拡張型心筋症を代表する重症心不全患者に対して、脳死下心臓移植術を施行した。特発性拡張型心筋症や肥大型心筋症などの心筋症は指定難病とされており、脳死下心臓移植は高度の医療提供に該当する。			
医療技術名	先天性心疾患心臓手術	取扱患者数	120人
当該医療技術の概要			
指定難病として登録されているファロー四徴症や単心室症など数多くの先天性心疾患に対する外科的治療を行なった。			
医療技術名	重症心不全患者に対する補助人工心臓装着術	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要			
重症心不全患者に対する左室補助人工心臓装着手術を施行した。特発性心筋症や二次性心筋症(サルコイドーシスなど)などの指定難病を対象疾患としており、高度の医療提供に該当する。			
医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
呼吸器不全患者に対して、脳死肺移植を実施した。肺移植は終末期呼吸器疾患患者に対して行われる高度医療である。			
医療技術名	ロボット支援下肺癌切除術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
"daVinci システムをもちいた肺癌手術を高度な医療として行っている。ロボット支援手術によってより複雑で細やかな手術手技を可能としており、より低侵襲な手術が可能であると考えられる。			

医療技術名	炎症性腸疾患に対する単孔式腹腔鏡手術	取扱患者数	24人
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない炎症性腸疾患患者に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 標準的な腹腔鏡手術術式が確立されていない他臓器浸潤直腸癌、局所再発直腸癌に対して、外科治療をより低侵襲に実施できる。			
医療技術名	ICG蛍光イメージングを用いた術中肝癌の検出と治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 肝機能検査として投与されるICGは肝癌に取り込まれるため、術中に赤外線観察カメラシステムにて検出可能である。本方法は非常に感度が高く、微小な肝癌を検出することができるため、同時に切除することでより根治性を高めることができる。			
医療技術名	リンパ節陽性胆道癌に対する術前GCA化学療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 リンパ節転移を有する胆道癌は切除しなくても非常に治療成績が悪い。手術前に超音波内視鏡を用いて、リンパ節生検を行い、転移があきらかとなった患者を対象に、本邦では保険適用外のNab-Paclitaxel併用GC療法を行う集学的治療を行っている。			
医療技術名	心臓手術後の鬱血肝に対する腹腔鏡下肝切除術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 Fontan手術などの心臓手術後の鬱血肝においてはしばしば肝細胞癌の発症が認められる。特殊循環症例に対する低侵襲手術として腹腔鏡下肝切除術を実施している。			
医療技術名	食道癌術後難治性逆流性食道炎に対する内視鏡的逆流防止弁形成術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 食道癌根治術後の逆流性食道炎は誤嚥性肺炎・二次発がんのリスクの上昇や睡眠障害など術後の予後悪化やQOL低下などをもたらす。それに対して消化管内視鏡下の縫合デバイスを用いた胃管逆流防止弁形成により難治性の逆流性食道炎の治療を行っている。			
医療技術名	難治性神経疾患に対する非侵襲的脳刺激法	取扱患者数	46人
当該医療技術の概要 難治性疼痛やアルツハイマー型認知症など難治性神経疾患の症状改善を目的に、反復経頭蓋磁気刺激などの非侵襲的脳刺激法を実施している。			
医療技術名	腹腔鏡下卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 初期卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)や、術前化学療法後に病変がない症例などを対象に、卵巣癌(卵管癌や腹膜癌、境界悪性卵巣腫瘍も含む)根治術を腹腔鏡下で行い、その実用性、安全性、有効性、予後を評価することを目的とする。			
医療技術名	腹腔鏡下腎尿管摘手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合(ロボット手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 従来の腹腔鏡下腎摘出手術と比較して、ダ・ヴィンチを利用した腹腔鏡下腎摘出手術は明瞭な3D画像を使用できること、繊細な腹腔鏡操作が可能となることで手術時間の短縮と出血量の軽減化が期待できる。そのことで患者の早期回復も期待できる。			
医療技術名	皮膚・軟部の脈管奇形に対するIVR治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 頭頸部・四肢・体幹部等の脈管奇形(血管奇形・リンパ管奇形及びそれらの混合型)に対して塞栓術や硬化療法などIVR(interventional radiology)治療を行う。			
医療技術名	4D-CTAを用いた脳腫瘍の血管および血流評価	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 320列CTを用いて全脳で時間情報を含む3D-CTAを撮影し、脳腫瘍の血管および血流評価を行う。			
医療技術名	C-11 DPA713を用いた小児てんかん病巣の検出	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 難治性の小児てんかんに対する、発作焦点の同定をC-11 DPA713 PETを用いて行う。			
医療技術名	前立腺特異的膜抗原(PSMA)を標的としたPET診断	取扱患者数	41人
当該医療技術の概要 PSMA-PETは、前立腺癌の転移・再発病変の検出感度が非常に高く、優れた診断精度を有していることが報告されている。阪大病院では臨床研究として、前立腺癌と診断された患者、特に転移が疑われる患者を中心にPSMA-PETを実施し、前立腺癌患者の詳細な病態解明研究を行っている。			
医療技術名	L型アミノ酸トランスポーター1(LAT1)プローブのF-18 FBPAを用いたPET診	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要: FBPA-PETはがん特異的に発現しているL型アミノ酸トランスポーター1(LAT1)をターゲットとしたPET検査薬であり、FDG-PETと異なり、炎症にはほとんど集まらない。現在、がん患者(主に肺癌・縦隔腫瘍)における集積程度の評価ならびにFDG-PET画像や病理所見と比較する臨床研究を実施している。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	125
2	筋萎縮性側索硬化症	59	57	特発性拡張型心筋症	305
3	脊髄性筋萎縮症	6	58	肥大型心筋症	55
4	原発性側索硬化症	1	59	拘束型心筋症	5
5	進行性核上性麻痺	36	60	再生不良性貧血	60
6	パーキンソン病	532	61	自己免疫性溶血性貧血	7
7	大脳皮質基底核変性症	15	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	8
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	99
9	神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	31
11	重症筋無力症	217	66	IgA腎症	39
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	77
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	147	68	黄色靱帯骨化症	5
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	24	69	後縦靱帯骨化症	100
15	封入体筋炎	5	70	広範脊柱管狭窄症	12
16	クロウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	66
17	多系統萎縮症	29	72	下垂体性ADH分泌異常症	15
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	94	73	下垂体性TSH分泌亢進症	3
19	ライソゾーム病	58	74	下垂体性PRL分泌亢進症	13
20	副腎白質ジストロフィー	6	75	クッシング病	16
21	ミトコンドリア病	18	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	3
22	もやもや病	20	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	62
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	192
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	1
28	全身性アミロイドーシス	21	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	109
30	遠位型ミオパチー	5	85	特発性間質性肺炎	60
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	64
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	15
34	神経線維腫症	87	89	リンパ脈管腫症	30
35	天疱瘡	30	90	網膜色素変性症	98
36	表皮水疱症	29	91	バッド・キアリ症候群	4
37	膿疱性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	55
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	15
40	高安動脈炎	65	95	自己免疫性肝炎	23
41	巨細胞性動脈炎	9	96	クローン病	260
42	結節性多発動脈炎	17	97	潰瘍性大腸炎	318
43	顕微鏡的多発血管炎	43	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	25	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	27	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	18	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	466	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	137	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	186	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	67	107	全身型若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	60	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	10	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
113	筋ジストロフィー	34	163	特発性後天性全身性無汗症	13
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	6
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	4
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	8
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	11	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	1
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスモンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	2	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	2
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	2
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	3
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	ブラダー・ウィリ症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	1
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	1	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	4
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	2	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	2	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	35	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	2	209	完全大血管転位症	9
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	4	260	シトステロール血症	2
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイルミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	12	263	脳腫黄色腫症	1
216	両大血管右室起始症	3	264	無βリポタンパク血症	1
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	1	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクトネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	52	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	27
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	274	骨形成不全症	2
227	オスラー病	13	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	277	リンパ管腫症/ゴーム病	1
230	肺胞低換気症候群	1	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	1	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	4
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	4	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	2	288	自己免疫性出血病XIII	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	1
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	1
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	1
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	2	296	胆道閉鎖症	10
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	1
251	尿素サイクル異常症	3	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	21
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	1
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	1	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトースー1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	40

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数		疾患名	患者数
307 カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308 進行性白質脳症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309 進行性ミオクローヌステんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310 先天異常症候群	2	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	1	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
316 カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317 三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	5
318 シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0
		331	特発性多中心性キャスルマン病	15
		332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
		333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
初診料(歯科)の注1に掲げる基準	入退院支援加算
歯科外来診療環境体制加算1	認知症ケア加算
特定機能病院入院基本料	せん妄ハイリスク患者ケア加算
救急医療管理加算	精神疾患診療体制加算
超急性期脳卒中加算	救命救急入院料3
診療録管理体制加算1	救命救急入院料4
医師事務作業補助体制加算1	特定集中治療室管理料1
急性期看護補助体制加算	ハイケアユニット入院医療管理料1
看護職員夜間配置加算	総合周産期特定集中治療室管理料
療養環境加算	新生児治療回復室入院医療管理料
重症者等療養環境特別加算	小児入院医療管理料2
無菌治療室管理加算1	短期滞在手術等基本料1
無菌治療室管理加算2	
緩和ケア診療加算	・
精神科身体合併症管理加算	・
精神科リエゾンチーム加算	・
栄養サポートチーム加算	・
医療安全対策加算1	・
感染防止対策加算1	・
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
ハイリスク妊娠管理加算	・
ハイリスク分娩管理加算	・
後発医薬品使用体制加算3	・
病棟薬剤業務実施加算1	・
病棟薬剤業務実施加算2	・
データ提出加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	遺伝学的検査
糖尿病合併症管理料	骨髄微小残存病変量測定
がん性疼痛緩和指導管理料	BRCA1/2遺伝子検査
がん患者指導管理料ハ	がんゲノムプロファイリング検査
外来緩和ケア管理料	先天性代謝異常症検査
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
糖尿病透析予防指導管理料	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
小児運動器疾患指導管理料	検体検査管理加算(I)
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	検体検査管理加算(IV)
婦人科特定疾患治療管理料	国際標準検査管理加算
腎代替療法指導管理料	遺伝カウンセリング加算
外来放射線照射診療料	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
ニコチン依存症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	胎児心エコー法
ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
がん治療連携計画策定料	ヘッドアップティルト試験
ハイリスク妊産婦連携指導料2	人工臓臓検査、人工臓臓療法
薬剤管理指導料	長期継続頭蓋内脳波検査
医療機器安全管理料1	長期脳波ビデオ同時記録検査1
医療機器安全管理料2	脳波検査判断料1
精神科退院時共同指導料1及び2	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	単線維筋電図
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	脳磁図(自発活動を測定するもの)
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	脳磁図(その他のもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
神経学的検査	集団コミュニケーション療法料
補聴器適合検査	精神科作業療法
黄斑局所網膜電図	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
全視野精密網膜電図	医療保護入院等診療料
ロービジョン検査判断料	口腔粘膜処置
コンタクトレンズ検査料1	レーザー機器加算
内服・点滴誘発試験	硬膜外自家血注入
画像診断管理加算3	人工腎臓
遠隔画像診断	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
ポジロン断層撮影	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
ポジロン断層・コンピューター断層複合撮影	磁気による膀胱等刺激法
CT撮影及びMRI撮影	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
冠動脈CT撮影加算	CAD/CAM冠
外傷全身CT加算	手術時歯根面レーザー応用加算
心臓MRI撮影加算	センチネルリンパ節加算
乳房MRI撮影加算	皮膚移植術(死体)
頭部MRI撮影加算	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
全身MRI撮影加算	組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
外来化学療法加算1	後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
無菌製剤処理料	椎間板内酵素注入療法
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	脳腫瘍覚醒下マッピング加算
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
運動器リハビリテーション料(I)	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
呼吸器リハビリテーション料(I)	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
がん患者リハビリテーション料	治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
角膜移植術(内皮移植加算)	胸腔鏡下弁形成術
羊膜移植術	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	経カテーテル大動脈弁置換術
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下弁置換術
網膜再建術	経皮的僧帽弁クリップ術
人工中耳植込術	不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	経皮的中隔心筋焼灼術
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	補助人工心臓
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	小児補助人工心臓
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	同種心移植術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	同種心肺移植術
同種死体肺移植術	骨格筋由来細胞シート心表面移植術
生体部分肺移植術	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	腹腔鏡下仙骨腫固定術
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
生体部分肝移植術	胎児胸腔・羊水腔シャント術
同種死体肝移植術	無心体双胎焼灼術
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	胎児輸血術
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
生体部分小腸移植術	輸血管管理料 I
同種死体小腸移植術	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	麻酔管理料 (I)
腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	麻酔管理料 (II)
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	放射線治療専任加算
腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	外来放射線治療加算
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	高エネルギー放射線治療
同種死体腎移植術	1回線量増加加算
生体腎移植術	強度変調放射線治療 (IMRT)
膀胱水圧拡張術	画像誘導放射線治療 (IGRT)
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	定位放射線治療
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
人工尿道括約筋植込・置換術	画像誘導密封小線源治療加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
病理診断管理加算2	・
悪性腫瘍病理組織標本加算	・
血流予備量比コンピューター断層撮影	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・角膜ジストロフィーの遺伝子解析	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・前眼部三次元画像解析	・
・腹腔鏡下広汎子宮全摘術	・
・急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	352回／年
剖 検 の 状 況	剖検症例数 34 例 / 剖検率 11.6 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助金等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
1	(基盤C(分担)_28-31_梶山)運動習慣がパーキンソン病に与える影響:マルチモーダルイメージングを用いた解析	梶山 裕太	神経内科・脳卒中科	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
2	(若手B_28-30_博多 紗綾)脊髄後角GABA受容体δサブユニットの神経障害性疼痛における役割	博多 紗綾	緩和医療センター	747,388	補	独立行政法人日本学術振興会
3	(基盤C_29-31_倉重 隆明)条件付き遺伝子欠損マウスを用いた赤血球分化におけるアナモルシンの役割の解析	倉重 隆明	血液・腫瘍内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
4	(基盤C_29-31_土居 由貴子)クロマチン構造調節蛋白SATB1によるリンパ球初期分化制御機構の解析	土居 由貴子	血液・腫瘍内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
5	(基盤C_29-31_名井 陽)高機能性コラーゲンによる軟骨欠損補填・再生デバイスの開発	名井 陽	未来医療開発部	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
6	(基盤C_29-31_入澤 太郎)病院外心停止例に対する救急通信指令システムの質改善に関する研究	入澤 太郎	高度救命救急センター	1,404,000	補	独立行政法人日本学術振興会
7	(若手B_29-31_川谷 圭司)DYRK1Aに注目した神経発達障害の病態モデルの構築とその解析	川谷 圭司	総合周産期母子医療センター	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
8	(若手B_29-31_杉辺 英世)ダウン症候群患者由来iPS細胞を用いた肺血管病変発症機序の解明	杉辺 英世	総合周産期母子医療センター	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
9	(若手B_29-32_松浦 裕司)頭部衝撃波外傷に関する研究	松浦 裕司	高度救命救急センター	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
10	(若手B_29-32_坂口 了太)腸内細菌が敗血症における免疫制御機構に与える影響の解明	坂口 了太	集中治療部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
11	(基盤C_30-32_竹屋 泰)神経病理学的背景に基づいたアルツハイマー病関連因子の探索	竹屋 泰	卒後教育開発センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
12	(基盤C_30-32_富山 佳昭)新規実験システムを用いた血小板インテグリン制御分子の多角的解析とその応用	富山 佳昭	輸血部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
13	(基盤C_30-32_坂井 大介)がん化学療法の精密医療の実現化	坂井 大介	がんゲノム医療センター	252,276	補	独立行政法人日本学術振興会
14	(基盤C(分担)_30-32_坂井)Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	坂井 大介	がんゲノム医療センター	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
15	(基盤C_30-32_瀧内 剛)LEDを用いた光音響法による胎児等の血中酸素飽和度測定とその有効性	瀧内 剛	総合周産期母子医療センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
16	(若手研究_30-32_大矢 良平)骨格筋型ミオシン軽鎖キナーゼをターゲットとした新規筋弛緩薬の開発	大矢 良平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
17	(若手研究_30-31_小津 賢太郎) 99mTcMIBIシンチグラフィでの心室頻拍のカテーテル治療ターゲット電位の予測	小津 賢太郎	循環器内科	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
18	(若手研究_30-31_立川 章太郎) 放射線抵抗性獲得におけるCTCF局在異常を介したDNA高次構造の解明	立川 章太郎	放射線治療科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
19	(若手研究_30-32_南原 利彦) 新たな病態概念に基づいたダウン症候群の中樞神経系病変の解析	南原 利彦	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
20	(若手研究_30-31_坂根 貞嗣) オートファジーの多面的作用に着目したアルコール性肝障害の病態改善機序の解明	坂根 貞嗣	消化器内科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
21	(若手研究_30-31_良原 丈夫) 細胞内ATP濃度が免疫応答制御を介して腸管炎症に寄与するメカニズムの解明	良原 丈夫	消化器内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
22	(若手研究_30-31_吉岡 鉄平) 超音波内視鏡下穿刺吸引生検による膵癌局所リンパ球の解析	吉岡 鉄平	オンコロジーセンター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
23	(若手研究_30-31_木庭 太郎) 末梢血エクソソームの定量プロテオミクスによる肺結核の画期的バイオマーカー探索	木庭 太郎	呼吸器内科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
24	(若手研究_30-31_松本 あゆみ) 超解像度顕微鏡を用いたneo renal histologyの創出	松本 あゆみ	血液浄化部	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
25	(若手研究_30-32_小澤 孝幸) Bリンパ球が誘導する免疫寛容におけるクロマチン構造調整蛋白SATB1の機能解明	小澤 孝幸	血液・腫瘍内科	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
26	(若手研究_30-32_下 直樹) 糖尿病下膵β細胞機能回復のための標的因子の探求	下 直樹	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
27	(若手研究_30-31_森本 祥悠) 大腸癌臨床サンプルからの再発細胞(スーパー癌幹細胞)の同定	森本 祥悠	消化器外科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
28	(若手研究_30-31_三隅 祐輔) 音響解析を用いたLVAD診断システムの構築	三隅 祐輔	心臓血管外科(一外)	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
29	(若手研究_30-31_佐村 高明) Super ECMを用いた新しい移植組織作成	佐村 高明	ハートセンター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
30	(若手研究_30-31_鈴木 康太) xeno-free iPS細胞由来心筋細胞の臨床応用	鈴木 康太	移植医療部	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
31	(若手研究_30-31_久能 英法) 小細胞肺癌におけるHB-EGFの機能解明と新規分標的薬としての応用	久能 英法	呼吸器外科(一外)	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
32	(若手研究_30-31_蛭原 健) 侵襲時生体反応におけるオートファジーの役割とその制御: エネルギー供給の観点から	蛭原 健	高度救命救急センター	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
33	【延長】(若手研究_30-31_島崎 淳也) 熱中症性脳症におけるHMGB1の関与と病態の解明	島崎 淳也	高度救命救急センター	384,698	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
34	(若手研究_30-32_片山 祐介) 症候・診断・予後データ解析による新たな傷病診断スコアの開発	片山 祐介	高度救命救急センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
35	(若手研究_30-32_川村 正隆) シリコンパウダー経口摂取による水素生成とラット腎虚血再灌流傷害に対する保護効果	川村 正隆	泌尿器科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
36	(若手研究_30-32_田中 秀憲) HPV陽性中咽頭癌に対する個別化治療に向けたct-DNAモニタリングの意義	田中 秀憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
37	(基盤C_19-21_田中 晃司) ミトコンドリアDNAの動態制御による新規癌治療戦略の開発	田中 晃司	手術部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
38	(基盤C_19-22_巽 光朗) がんに特異性の高いFBPAとFDGのPETを用いた免疫療法効果判定と副作用予測	巽 光朗	放射線部	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
39	(基盤C_19-21_高橋 篤史) 急性腎障害におけるリポファージの役割解明と治療への応用	高橋 篤史	血液浄化部	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
40	(基盤C_19-21_西東 秀晃) 同種造血幹細胞移植後の免疫再構築と同種免疫応答におけるSTAP蛋白の役割	西東 秀晃	血液・腫瘍内科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
41	(基盤C_19-21_上田 智朗) 造血幹細胞抗原ESAMの欠損が胎生期に致死的な赤血球造血不全をきたすメカニズム	上田 智朗	血液・腫瘍内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
42	(基盤C_19-21_河村 愛) 免疫チェックポイント機構による心不全の病態制御機構の解明	河村 愛	卒後教育開発センター	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
43	(基盤C_19-21_射場 治郎) 高齢者施設の種類と特徴に応じた救急・災害医が関与した災害計画と訓練手法の開発	射場 治郎	高度救命救急センター	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
44	(基盤C_19-22_北村 温美) 地域包括ケアシステムにおけるPeer-to-peerネットワーク構築の有効性検討	北村 温美	中央クオリティマネジメント部	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
45	(基盤C(分担)_19-22_濱口) ミャンマーのカルパベネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	濱口 重人	感染制御部	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
46	(若手_19-21_平松 宏祐) 卵巣癌においてLSRが制御する脂質代謝経路の解析と抗LSR抗体による阻害の検証	平松 宏祐	総合周産期母子医療センター	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
47	(若手研究_19-20_石川 慧) CRISPRノックアウトライブラリーを用いた大腸癌転移機構の解明	石川 慧	消化器外科	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
48	(若手研究_19-21_蓮池 裕平) 筋強直性ジストロフィーの骨格筋障害機構解明	蓮池 裕平	神経内科・脳卒中科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
49	(若手研究_19-20_神野 隼輝) TDP-43発現低下における、fth I mRNAへの影響の解析	神野 隼輝	神経内科・脳卒中科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
50	(若手研究_19-20_佐藤 克彦) 糖尿病に伴う膵癌の発癌機序解明および早期診断マーカー同定	佐藤 克彦	消化器内科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
51	(若手研究_19-20_塩出 悠登) 非古典的NfKB経路を介した胆管癌進展のメカニズムの解明と胆管癌治療への応用	塩出 悠登	消化器内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
52	(若手研究_19-20_明神 悠太) 肝星細胞オートファジーの癌微小環境を通じた肝癌細胞増殖機序の解明	明神 悠太	消化器内科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
53	(若手研究_19-20_中野 智彰) 房室結節・洞結節に対する“クライオマッピング”の有用性に関する検証	中野 智彰	循環器内科	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
54	(若手研究_19-20_宮脇 大) 冠微小血管障害に基づく新規拡張相肥大型心筋症診断指標の探索	宮脇 大	循環器内科	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
55	(若手研究_19-20_土肥 智晴) 心不全患者の予後を心筋病理組織画像から機械学習で予測する	土肥 智晴	未来医療開発部	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
56	(若手研究_19-21_塚本 泰正) 非侵襲・低侵襲モデリティを用いた成人先天性心疾患における心肝連関の病態評価	塚本 泰正	ハートセンター	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
57	(若手研究_19-20_島田 果林) CKD合併症におけるCaSRの病態生理学的意義の探索	島田 果林	腎臓内科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
58	(若手研究_19-21_酒井 晋介) 腎尿細管における糖新生とオートファジー不全の関わり	酒井 晋介	腎臓内科	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
59	(若手研究_19-20_余西 洋明) ファブリー病におけるマルベリー細胞定量的評価法の開発とその臨床的価値	余西 洋明	腎臓内科	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
60	(若手研究_19-20_岡 樹史) 血液透析患者の閉塞性動脈硬化症に対するマグネシウム製剤の効果の検討	岡 樹史	腎臓内科	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
61	(若手研究_19-20_戸田 淳) STAPファミリー蛋白によるBcr-Abl分子活性化機構の解明とその治療的応用	戸田 淳	血液・腫瘍内科	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
62	(若手研究_19-21_濱口 重人) 肺炎球菌の経鼻保菌から肺炎への進展様式の解明	濱口 重人	感染制御部	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
63	(若手研究_19-20_萩 隆臣) 胃癌Nivolumab治療におけるARID1A遺伝子変異の意義	萩 隆臣	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
64	(若手研究_19-20_市原 もも子) 胆汁酸およびアルコールが食道扁平上皮発癌に及ぼす影響	市原 もも子	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
65	(若手研究_19-20_松浦 記大) Notchシグナルと食道癌抗癌剤耐性のメカニズムの解明と臨床応用に向けて	松浦 記大	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
66	(若手研究_19-20_石田 智) 消化管間葉系肉腫におけるGPX4阻害剤の有効性とそのメカニズムの解明	石田 智	消化器外科	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
67	(若手研究_19-20_北風 雅敏) 腸管内におけるTim3単独発現細胞-大腸がん新規免疫治療に向けて-	北風 雅敏	消化器外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
68	(若手研究_19-20_山本 慧) 肺癌におけるHDAC1の発現意義とEMT抑制をターゲットとした新規治療法の開発	山本 慧	消化器センター	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
69	(若手研究_19-22_東口 公哉) 次世代フローサイトメーターを用いた肺癌特異的免疫応答の網羅的解析と臨床意義の検討	東口 公哉	消化器外科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
70	(若手研究_19-21_野間 俊樹) イムノスコアを用いた食道癌化学療法による免疫微小環境評価の標準化と臨床応用	野間 俊樹	消化器外科	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
71	(若手研究_19-20_荒木 幹太) 先天性心疾患合併重症心不全に対する自家骨格筋由来筋芽細胞シートの有効性評価	荒木 幹太	ハートセンター	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
72	(若手研究_19-20_中江 昌郎) 重症心不全における腸内フローラの探索による逆行性感染症の防止の検討	中江 昌郎	心臓血管外科(一外)	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
73	(若手研究_19-20_中里 太郎) 回転浮遊培養システムを用いたiPS細胞由来3次元心筋組織の維持培養法の開発	中里 太郎	心臓血管外科(一外)	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
74	(若手研究_19-22_金谷 知潤) 静水圧加圧三次元積層体シートによる先天性肺動脈狭窄に対する脱細胞パッチの開発	金谷 知潤	未来医療開発部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
75	(若手研究_19-20_渡邊 卓次) 右心不全に対するiPS細胞由来心筋細胞シートの有効性の検討	渡邊 卓次	集中治療部	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
76	(若手研究_19-20_谷口 聖治) 生体多光子励起イメージング技術を利用した胸部腫瘍の新規低侵襲診断装置の開発	谷口 聖治	呼吸器外科(一外)	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
77	(若手研究_19-20_吉田 健史) 腹臥位中における自発呼吸温存の効果の解明	吉田 健史	集中治療部	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会
78	(若手研究_19-20_松原 庸博) コリン作動性抗炎症経路による神経免疫系を介した全身炎症の制御機序の解明	松原 庸博	高度救命救急センター	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
79	(若手研究_19-21_藤田 祐也) 深層学習によるてんかんの脳波・脳磁図の自動診断	藤田 祐也	脳神経外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
80	(若手研究_19-21_中島 伸彦) 脊髄損傷後の自律神経機能障害による臓器機能低下の評価	中島 伸彦	脳神経外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
81	(若手研究_19-20_中野 剛佑) 尿路上皮癌血中遊離DNA断片によるAIを活用した診断とその遺伝子変異の臨床応用	中野 剛佑	泌尿器科	2,990,000	補	独立行政法人日本学術振興会
82	(若手研究_19-21_関井 洋輔) 新規動物モデルを用いた夜間多尿の治療戦略の探索	関井 洋輔	泌尿器科	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
83	(若手研究_19-20_稲垣 裕介) 精索静脈瘤の男性不妊に及ぼす機序の解明と新規治療薬としてのシリコンナノ粒子の応用	稲垣 裕介	前立腺センター	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
84	(若手研究_19-20_北村 公二) 頭頸部扁平上皮癌を高悪性化させるRNAスプライシングバリエーションの同定	北村 公二	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
85	(若手研究_19-20_原田 祥太郎) 直線加速度刺激装置を用いたP2X2受容体ノックアウトマウスでの耳石器機能の研究	原田 祥太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
86	(若手研究_19-20_松井 沙織) 根尖性歯周炎における根尖病変の治癒促進を目的とした高周波根尖療法に関する臨床試験	松井 沙織	歯科治療室	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
87	(若手研究_19-20_内橋 俊大) 武装型第三世代がん治療用HSV-1と免疫療法の併用効果および安全性の検討	内橋 俊大	歯科治療室	1,115,146	補	独立行政法人日本学術振興会
88	(若手研究_19-20_北野 貴也) 左室補助人工心臓に関連した脳梗塞の脳血管内治療—実態解明から安全性向上へ	北野 貴也	脳卒中センター(神内)	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
89	(研スタ_19-20_清水 康太郎) 内耳有毛細胞の生体イメージング	清水 康太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
90	(研スタ_19-20_土井 洋平) 保存期CKD患者の冠動脈石灰化における薬剤介入効果予測バイオマーカーの検索	土井 洋平	腎臓内科	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
91	(研スタ_19-20_尾崎 晋吾) 大阪府のレセプト特定健診一体型ビッグデータに基づく効率的な特定健診の運用の提案	尾崎 晋吾	血液浄化部	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
92	(基盤A(分担)・田中 晃司) 膜融合能増強型標的化改変ヘルペスウイルスを用いたがん免疫療法の開発	田中 晃司	手術部	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
93	(基盤B(分担)・松浦 裕司) 敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	松浦 裕司	高度救命救急センター	350,000	補	独立行政法人日本学術振興会
94	(基盤B_19-21_北島 康司) 治療薬開発へつながるダウン症候群の神経病態発症原理の解明	北島 康司	総合周産期母子医療センター	4,290,000	補	独立行政法人日本学術振興会
95	(基盤B_19-21_清水 健太郎) 重症病態での腸内細菌叢を介した免疫システム解明と腸内細菌叢再構築のための治療戦略	清水 健太郎	高度救命救急センター	7,670,000	補	独立行政法人日本学術振興会
96	再生医療等臨床研究推進拠点病院の確立	木村 正	医学部附属病院	20,000,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
97	再生医療等臨床研究を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの実現	西田 幸二	眼科学	27,597,700	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
98	有害事象発生時の科学的な細胞検証を通じて細胞治療の安全性向上を目指す臨床用細胞保管・検査拠点構築	西田 幸二	眼科学	18,594,667	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
99	戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現	澤 芳樹	心臓血管外科	146,936,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
100	(AMED・補助金) 2019年度医療技術実用化総合促進事業	木村 正	医学部附属病院	254,045,215	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
101	(AMED・補助金) 中央IRB促進事業5.非介入研究におけるセントラル倫理委員会への基盤整備	木村 正	医学部附属病院	32,500,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
102	異分野融合型研究の推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	澤 芳樹	心臓血管外科	48,205,000	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
103	(補助金・厚労省・研修プログラム) 臨床研究総合促進事業	木村 正	医学部附属病院	3,926,678	補	厚生労働省
104	(補助金・厚労省・先進プログラム) 臨床研究総合促進事業	木村 正	医学部附属病院	13,739,322	補	厚生労働省
105	(補助金・厚労省・がんゲノム中核) 平成31年度感染症予防事業費等国庫負担金(補助金)がんゲノム医療中核拠点病院機能強化事業	木村 正	医学部附属病院	58,016,013	補	厚生労働省
106	左室収縮性が保持された心不全合併高齢2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬カナグリフロジンの有効性・安全性に及ぼす影響 (MT2016-004)	坂田 泰史	循環器内科	219,600	委	公立大学法人奈良県立医科大学
107	疾患特異的iPS細胞をもちいた小児難治性疾患の統合的理解と創薬開発	北畠 康司	総合周産期母子医療センター	14,300,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
108	AI基盤拠点病院の確立	木村 正	AI医療センター	143,500,000	委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
109	高齢者2型糖尿病における認知症予防のための多因子介入研究 —パイロット研究—	竹屋 泰	卒後教育開発センター	800,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
110	難治性副腎疾患の診療に直結する エビデンス創出	大月道夫	内分泌・代謝内科	260,000	委	京都医療センター
111	高齢者の切除不能な進行・再発胃癌に対する機能評価と前向きな化学療法後の臨床情報が紐づけされたデータセットの作成を通じて標準治療を開発する多施設共同臨床研究	坂井大介	がんゲノム医療センター	500,000	委	独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院
112	治療効果判定におけるPETとその他の画像診断との比較検討に関する研究	巽 光朗	放射線部	600,000	委	国立研究開発法人国立がん研究センター
113	医師主導治験実施体制の確立、二重盲検比較試験の実施	水木 満佐央	化学療法部	400,000	委	国立大学法人長崎大学病院
114	CRB事務局業務支援システムの検証と多施設共同研究版への対応に関する研究	山本 洋一	臨床研究センター	6,500,000	委	国立大学法人東北大学
115	非介入研究ガイドラインの普及を目指した検証と中央IRBの基盤整備および運用に関する研究	山本 洋一	臨床研究センター	1,300,000	委	国立大学法人東北大学
116	乾癬関節炎患者における人工知能による画像診断支援システムの構築	富田 哲也	整形外科	220,000	委	国立大学法人長崎大学
117	熱意ある企業に熱意ある臨床医が寄り添う医療機器開発 拠点整備事業	中島 清一	次世代内視鏡治療学共同研究部門	15,571,384	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
118	血液凝固異常症等に関する研究	富山 佳昭	血液腫瘍内科	1,100,000	委	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
119	非癌、慢性炎症性リンパ節・骨髄異常を示すキャッスルマン病、TAFRO症候群その類縁疾患の診断基準、重症度分類の改正、診断・治療の方	水木 満佐央	化学療法部	100,000	委	厚生労働省
120	(A0074水島)StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	水島 恒和	消化器外科(二外)	118,800	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
121	(A0139水島)再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究(JFMC46-1201)	水島 恒和	消化器外科(二外)	21,600	委	公益財団法人がん集学的治療研究財団
122	(循環器・坂田)「生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー」(前向き観察研究)	坂田 泰史	循環器内科	324,000	委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
123	□(A0155野々村)去勢抵抗性前立腺癌(CRPC: Castration resistant prostate cancer)患者における抗アンドロゲン剤交替療法後のエンザルタミドの臨床効果と安全性に関する前向き観察研究	野々村 祝夫	泌尿器科	1,080,000	委	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
124	(精神神経センター・池田)フロルベタピル(18F)注射液を用いたアミロイドイメージングによる診断インパクト臨床研究	池田 学	神経科・精神科	1,415,414	委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
125	□(A0220江口)肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究: SURF trial付随研究	江口 英利	消化器外科(二外)	30,000	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
126	再発又は難治性のCD30陽性皮膚原発悪性リンパ腫を対象としたプレントキシマブ・ベドチンの有効性及び安全性を確認する多施設共同第Ⅱ相医師主導試験	清原 英司	皮膚科	3,042,000	委	岡山大学病院
127	血中循環腫瘍 DNA で HER2 遺伝子増幅が検出された切除不能固形がん患者を対象とする DS-8201a 療法の多施設共同臨床第Ⅱ相試験	佐藤 太郎	消化器外科(二外)	500,000	委	国立がん研究センター
128	視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験	谷池 雅子	小児科	715,000	委	国立大学法人浜松医科大学
129	(1) 小児期発症のネフローゼ症候群に対するIDEC-C2B8の多施設共同二重盲検 プラセボ対照ランダム化並行群間比較試験	窪田 拓生	小児科	350,000	委	国立大学法人神戸大学医学部附属病院
130	ネオセルフを標的としたCAR T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
131	神経・免疫・代謝におけるガイドランス因子の病的意義の解明とその制御	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学講座	37,700,000	補	独立行政法人日本学術振興会
132	脊髄損傷後の機能回復を促進する脳活動の解明と制御	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
133	頭蓋内脳波を用いた嚙下の脳機能解明とブレインマシンインターフェース	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	14,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
134	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の自然史の解明	猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	18,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
135	ヒト眼の形態形成における組織間の協調メカニズムの解明	西田 幸二	眼科学講座	15,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
136	睡眠障害を持つ乳幼児に対する前向き介入研究	谷池 雅子	小児発達神経学領域	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
137	筋強直性ジストロフィーの包括的治療法確立	中森 雅之	神経内科学講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
138	三次元CT画像を用いた多様な肺疾患対応の統合型コンピュータ支援診断システムの開発	木戸 尚治	人工知能画像診断学共同研究講座	3,770,000	補	独立行政法人日本学術振興会
139	難治性腸管炎症における自然リンパ球を介した腸管粘膜免疫制御機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学講座	3,250,000	補	独立行政法人日本学術振興会
140	遺伝学的形質に基づいた肝発癌モデルの樹立と個別化免疫療法の確立	翼 智秀	消化器内科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
141	オートファジーリサイクリングを標的とした生活習慣病に伴う慢性腎臓病治療法の開発	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
142	恒常的インテグリンβ7活性化シグナルを標的とした骨髄腫幹細胞排除法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	4,810,000	補	独立行政法人日本学術振興会
143	がん放射線治療におけるDNA2本鎖切断修復機構選択の役割	瀬尾 雄二	放射線治療学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
144	次世代型RNAバイオマーカーの基盤構築と臨床応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,940,000	補	独立行政法人日本学術振興会
145	腎細胞癌患者の組織・血液を用いた包括的病態解明による新規統合的治療戦略の創生	植村 元秀	泌尿器癌免疫治療学共同研究講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
146	慢性炎症疾患におけるアラミン・SASPを標的とした新規治療法の開発	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
147	生活習慣病とアルツハイマー病を同時に標的とする新規治療法の基盤構築	山本 浩一	老年・総合内科学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
148	蛋白質構造多形から迫る疾患バイオマーカーの開発と新規治療薬の開発	望月 秀樹	神経内科学講座	6,890,000	補	独立行政法人日本学術振興会
149	難治性がんに対する放射線と免疫チェックポイント阻害剤併用による新規治療法の開発	小川 和彦	放射線治療学講座	8,320,000	補	独立行政法人日本学術振興会
150	肝臓における細胞死を起点とした細胞間コミュニケーションと病態形成	竹原 徹郎	消化器内科学講座	5,850,000	補	独立行政法人日本学術振興会
151	内因性心筋炎惹起分子制御機構の探索と心不全治療創薬への応用	大津 欣也	重症心不全内科治療学寄附講座	5,330,000	補	独立行政法人日本学術振興会
152	皮膚筋炎特異的自己抗原に対する免疫応答が皮膚筋炎の病態を形成する分子機序の解明	藤本 学	皮膚科学講座	5,590,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
153	アディポネクチンのエクソソーム産生制御とFavineの血管・血栓制御機構の解明	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
154	生体内組織形成術による管状自己組織を足場とした気管再生技術の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	7,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
155	エクソーム解析によるゲノムプロファイリングに基づいた乳癌個別化治療の開発	金 昇晋	乳腺・内分泌外科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
156	地域を網羅した大規模救急患者レジストリ分析による救急医療改善の新たな試み	嶋津 岳士	救急医学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
157	細胞ホーミング特性に着目した心筋の自己組織化機構解明とバイオ人工心臓構築への応用	李 鍾國	心血管再生医学共同研究講座	3,640,000	補	独立行政法人日本学術振興会
158	TTC39B標的RNA医薬搭載肝特異的バイオナノカプセルによる脂肪肝治療薬開発	小関 正博	循環器内科学講座	5,070,000	補	独立行政法人日本学術振興会
159	慢性炎症を基盤としたリプログラミングの可視化と腫瘍の解析	森井 英一	病態病理学講座	4,680,000	補	独立行政法人日本学術振興会
160	がん間質細胞をターゲットにした核医学治療の開発：新たながん治療戦略に向けて	渡部 直史	核医学講座	12,610,000	補	独立行政法人日本学術振興会
161	遺伝性心筋症ゲノム解析および横断オミックス解析による新規分子標的の同定と創薬開発	朝野 仁裕	医化学講座	6,110,000	補	独立行政法人日本学術振興会
162	末梢循環性間葉系細胞の発生学的起源探索と表皮水疱症剥離表皮再生メカニズムの解明	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	9,230,000	補	独立行政法人日本学術振興会
163	腫瘍組織内免疫の正/負因子の細分化とがん種を越えた絶対評価の試み	和田 尚	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	4,160,000	補	独立行政法人日本学術振興会
164	上部消化管癌患者の予後向上を目指したグレリンによる周術期栄養療法の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
165	癌周囲微小環境を構成する癌関連線維芽細胞を標的とした新たな肺癌治療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
166	侵襲時再生治療に関する新たな発展：新規炎症増幅メカニズムの制御	小倉 裕司	救急医学講座	7,410,000	補	独立行政法人日本学術振興会
167	力学刺激によるPGE2/NGF/MMP産生機構に注目した変形性膝関節症の病態解明	中田 研	スポーツ医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
168	2D-3D骨形状再構成プログラムと骨・関節疾患治療クラウドシステムの開発	村瀬 剛	整形外科科学講座	6,500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
169	子宮頸部病変自動診断システムの開発～低医療資源国における子宮頸がん予防に向けて～	上田 豊	産科学婦人科学講座	8,840,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
170	順遺伝学手法による、脱ユビキチン化酵素の卵巣癌進展・子宮内膜症癌化制御機構の解明	木村 正	産科学婦人科学講座	7,670,000	補	独立行政法人日本学術振興会
171	新規幹細胞解析法、FACS-mQの臨床応用	高野 徹	内分泌・代謝内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
172	高齢者糖尿病における高血糖の是正が骨格筋に及ぼす影響に関する多面的検討	杉本 研	老年・総合内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
173	牛車腎気丸のパーキンソン病モデルを用いた神経保護効果の検証	馬場 孝輔	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
174	生体内Forward genetic screenによる肝癌進展制御機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
175	Bak/Bax活性化によるミトコンドリアDNA放出が慢性肝疾患に与える影響の解明	疋田 隼人	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
176	肝疾患病態における細胞内輸送に関連する分子機構の解析	阪森 亮太郎	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
177	インスリン分泌不全および抵抗性が膵発癌・進展機構に与える影響の解明	重川 稔	消化器内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
178	左室収縮能が保たれた心不全症例におけるバイオマーカーによる予後予測の有用性の検討	砂 真一郎	循環器内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
179	慢性脊髄炎の新規自己抗体同定と病原性モノクローナル抗体作成の試み	奥野 龍禎	神経内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
180	脂肪細胞SDF-1の生理病態学的意義と肥満病態治療	福原 淳範	肥満脂肪病態学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
181	糖尿病治療を目指したヒト膵α細胞分化転換機構の解明・ARX阻害低分子化合物の探索	小澤 純二	糖尿病病態医療学寄附講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
182	断片化抗CD3抗体による免疫調節と自己免疫疾患治療	水井 理之	腎臓内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
183	骨石灰化における局所リン産生機構の意義—ALPの重要性—	窪田 拓生	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
184	ダウン症造血異常の責任遺伝子同定を目指した疾患iPS細胞ライブラリーの樹立	荒堀 仁美	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
185	ビフィズス菌をプラットフォームとした経口がんワクチンの有効性の機序の解明	橋井 佳子	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
186	アルツハイマー病の新規発症分子メカニズムを解明する研究	森原 剛史	認知症プレシジョン医療開発学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
187	アルツハイマー病における脳内アミロイド沈着の早期発見と病態解明に向けた研究	吉山 顕次	精神医学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
188	アルツハイマー病と特発性正常圧水頭症の発現機序における相互作用についての研究	橋本 衛	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
189	イメージングバイオマーカーとしての実効横緩和率の有用性および標準化に関する検討	大西 裕満	放射線医学講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
190	内因性抗HER2自己抗体高値の乳癌患者において術後再発が抑制される免疫学的機序	下田 雅史	乳腺・内分泌外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
191	次世代シーケンサーとデジタルPCRを用いた食道癌患者末梢血中ctDNAの検出	黒川 幸典	消化器外科学1講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
192	炎症性腸疾患関連癌の発癌関連因子と生物学的特性解明のための基礎的検討	水島 恒和	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
193	抗癌剤耐性誘導のメカニズム解明とエピゲノム変化をターゲットとした治療法の構築	江口 英利	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
194	霊長類視床痛モデルにおける中枢性疼痛メカニズムの解明	齋藤 洋一	脳神経機能再生学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
195	白質刺激を用いたてんかん波伝播のメカニズム解析	押野 悟	脳神経外科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
196	脳内ネットワーク解析に基づく脳深部破壊効果の研究	谷 直樹	脳神経外科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
197	ITグローバルネットワークを用いた術後膝人工関節動態ビッグデータ活用とその有用性	菅本 一臣	運動器バイオマテリアル学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
198	BMP誘導異所性骨化過程の生体内イメージング手法の確立	海渡 貴司	整形外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
199	心不全患者の急性腎傷害の早期発見-新指標を用いての検討-	井口 直也	麻酔・集中治療医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
200	PDE5阻害薬を用いた妊娠高血圧症候群の治療についての基礎的検討	富松 拓治	産科学婦人科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
201	トランスポゾンスクリーニングによる子宮平滑筋肉腫のドライバー遺伝子同定と機能解析	小玉 美智子	産科学婦人科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
202	メニエール病患者の内耳の内リンパ水腫の存在範囲を評価する検査法の開発	今井 貴夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
203	SEMA4D-TSLP相互作用に着目した好酸球性副鼻腔炎病態解明	前田 陽平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
204	再発・転移頭頸部癌におけるMTVとHPV感染を指標とした予後予測モデルの構築	鈴木 基之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
205	リンパ管機能を応用した新規緑内障治療薬の探索	丸山 和一	視覚先端医学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
206	乳癌手術切除断端に対する生組織標本を用いた癌細胞の術中迅速診断の開発	多根井 智紀	乳腺・内分泌外科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
207	Leaky Gut syndromeを標的とした多発性硬化症病態の解明と治療開発	木下 允	神経内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
208	α線放出核種At-211の定位的脳内注入による難治性てんかんの治療	加藤 弘樹	核医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
209	肺癌の組織診断および悪性度予測の為に人工知能（深層学習）システムの確立	梁川 雅弘	放射線医学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
210	心筋線維芽細胞に着目した小児特発性心筋症の病態解明	石井 良	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
211	先天性GPI欠損症に対する活性化葉酸療法の確立	富永 康仁	高次脳機能損傷学領域	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
212	ナビゲーションシステムを用いた小児期発症てんかんに対する反復経頭蓋磁気刺激療法	下野 九理子	高次脳機能損傷学領域	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
213	片側発症一卵性双生児の網羅的ゲノム解析による胆道閉鎖症の遺伝的素因の解明	別所 一彦	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
214	軟骨無形成症の患者集団と疾患特異的iPS細胞による肥満とインスリン抵抗性の検討	北岡 太一	小児科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
215	マイクロRNAを用いた複合癌免疫療法の開発	西田 尚弘	先進癌薬物療法開発学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
216	頻脈性および頻発性不整脈の心筋症病態形成解明に向けた表現型と遺伝型からの検討	大谷 朋仁	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
217	デスモゾーム関連心筋症の分子病態解明と治療標的の同定	彦惣 俊吾	重症心不全内科治療学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
218	左心不全に伴う肺高血圧、右心不全の発症・進展機序解明に基づく新たな治療戦略の確立	世良 英子	循環器内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
219	3D画像/バイオマーカーを用いたMitraClipによる左室逆リモデリングの検討	溝手 勇	循環器内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
220	末梢血を用いたがん免疫療法の効果予測診断法の開発	岩堀 幸太	臨床腫瘍免疫学共同研究講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
221	リソソームストレスとしての腎疾患の病態解明とそれに基づく治療薬の探索	高島 義嗣	腎臓内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
222	HLAクラスII/ミスフォールド蛋白複合体抗体による慢性皮膚潰瘍の病態解明	荒瀬 規子	皮膚科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
223	血小板インテグリン活性化ダイナミクスを制御する分子機構の網羅的解析	加藤 恒	血液・腫瘍内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
224	老化に伴う造血幹細胞のリンパ球産生機能低下を制御する方法の開発	横田 貴史	血液・腫瘍内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
225	全身性エリテマトーデスに対するtype I IFNを標的とした新規治療法の開発	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
226	肥満に伴う脂肪炎症でのマクロファージのリソソーム関連分子myoferlinの機能	鷹見 洋一	老年・総合内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
227	膵α細胞機能的多様性の同定とその病態生理学的解析	河盛 段	内分泌・代謝内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
228	膵β細胞への分化転換効率化に向けた試み	松岡 孝昭	内分泌・代謝内科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
229	脂肪組織酸化ストレスと健康的脂肪組織肥大のSrebp1転写共役因子に着目した解析	奥野 陽亮	代謝血管学寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
230	乳癌センチネルリンパ節におけるmicroRNA発現解析を用いた転移予測法の開発	三宅 智博	乳腺・内分泌外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
231	ペプチド探索による腎移植後抗体関連型拒絶反応に対する新規バイオマーカーの確立	今村 亮一	泌尿器科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
232	食道癌に対する化学+免疫療法の新規併用療法確立に向けたバイオマーカー探索研究	牧野 知紀	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
233	がん化学療法の精密医療の実現化	坂井 大介	先進薬物療法開発学寄附講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
234	Lgr5ブラッキングバリエーションに着目した大腸癌の新規治療開発のための基礎研究	高橋 秀和	消化器外科学2講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
235	難治性胆道癌における腫瘍進展メカニズムの解析に基づく集学的治療法開発と評価	小林 省吾	消化器外科学1講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
236	急性呼吸不全において肺傷害の最小にする新しい人工呼吸法の開発	内山 昭則	麻酔・集中治療医学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
237	骨髄由来抑制細胞(MDSC)による頭部外傷後神経炎症の抑制効果に関する研究	細見 早苗	救急医学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
238	非侵襲脳活動計測を用いた一次運動野刺激の疼痛認知抑制機構の解明	細見 晃一	脳神経機能再生学共同研究講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
239	安静時functional MRIによる頸髄症の新規予後予測法の開発	武中 章太	整形外科科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
240	体軸性脊椎関節炎に対する新規治療法の開発及び本邦での疾患関連遺伝子検索	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	1,040,000	補	独立行政法人日本学術振興会
241	免疫チェックポイント阻害剤の奏効予測バイオマーカー探索に向けた複合的アプローチ	加藤 大悟	泌尿器科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
242	夜間多尿動物モデルの確立と塩分負荷による膀胱求心性神経亢進の機構解明	竹澤 健太郎	泌尿器科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
243	網羅的遺伝子解析による精子成熟停止の新規機序解明と新規治療法の探索	福原 慎一郎	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
244	ラット腎移植モデルにおけるシリコンナノ粒子を用いた新規水素発生法の治療効果	阿部 豊文	泌尿器科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
245	患者由来のエクソソームを用いた卵巣がん新治療の可能性の検討	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
246	メチルコバラミンと生体吸収徐放性メッシュシートによる顔面神経再生の研究	佐藤 崇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
247	慢性炎症性眼疾患における新規疾患バイオマーカーとしてのミトコンドリアDNA	橋田 徳康	眼科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
248	網膜内リモデリング現象による緑内障再生治療法開発	松下 賢治	眼科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
249	生体適合性架橋剤を用いた水疱性角膜症治療法の開発	相馬 剛至	眼科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
250	2光子励起顕微鏡を用いた網膜および視神経疾患における眼球深部動態観察	臼井 審一	眼科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
251	自己集合性ペプチドを用いた硝子体再建術	坂口 裕和	眼科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
252	バーチャルリアリティー機能を搭載した関節鏡ナビゲーションシステムの開発と臨床応用	岡 久仁洋	整形外科科学講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
253	視覚障害原因疾患に対する人工視覚の電気刺激による視機能回復の検討	西田 健太郎	眼科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
254	発達障害の3歳未満における早期診断が児と養育者に与える影響の調査	中西 真理子	(小児科・子ども)環境関連	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
255	次世代シーケンス技術を活用した子宮肉腫のゲノム病理学的研究	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
256	多次元解析手法によるがん免疫エフェクター細胞の分子細胞学的解明と新規治療開発	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
257	メタゲノム解析を用いた牛車腎気丸の抗サルコペニア効果における腸内細菌叢の検討	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
258	前頭側頭葉変性症のprodromal期の臨床特徴に関する研究	池田 学	精神医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
259	グルコーストランスポーター1欠損症における新規診断法の確立と簡便な食事療法の開発	青天目 信	小児科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
260	髄芽腫における髄膜播種の機能解析とリキッドバイオプシーの可能性についての検討	木嶋 教行	脳神経外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
261	大腸癌微小環境における細胞死機構の解明と治療開発	林 義人	消化器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
262	拡張相肥大型心筋症の分子基盤に介入する治療法の開発	肥後 修一郎	重症心不全内科治療学寄附講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
263	生体内代謝イメージング法の確立と代謝改善を介した革新的心不全創薬へ向けた基盤研究	木岡 秀隆	医化学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
264	トランスオミクスが紐解くCOPDの新規バイオマーカーと病態解明	武田 吉人	呼吸器・免疫内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
265	人工知能を用いて腎疾患を理解する	松井 功	腎臓内科学講座	2,600,000	補	独立行政法人日本学術振興会
266	血小板インテグリン活性化の分子機構および血管病変形成における意義の解明	柏木 浩和	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
267	多発性骨髄腫の予後予測バイオマーカーとしてのニッチ細胞解析の有用性	一井 倫子	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
268	鉄過剰状態における造血幹細胞内鉄代謝制御の解明-アナモルシンを中心に-	柴山 浩彦	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
269	PNH治療のための最適ターゲットの同定	植田 康敬	血液・腫瘍内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
270	アディポネクチンによる腎保護作用機序の解明と血中T-カドヘリン測定の実臨床的意義	前田 法一	代謝血管学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
271	血管・脂肪組織由来新規分泌因子Favineの機能解析	小林 祥子	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
272	肥満脂肪組織における代謝異常と臓器連関；プリン代謝およびコリン代謝異常に着目して	西澤 均	内分泌・代謝内科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
273	2型糖尿病患者の発症前最高体重と膵β細胞特性についての組織学的検討	福井 健司	内分泌・代謝内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
274	新規肺転移モデルを用いた小児肉腫における癌幹細胞および転移の制御に関する研究	野村 元成	小児成育外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
275	分子バーコードを用いた血中循環腫瘍DNA検出による乳癌新規バイオマーカーの開発	加々良 尚文	乳腺・内分泌外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
276	Rubiconを介した膀胱癌治療抵抗性のメカニズム解明と新規治療法の開発	後藤 邦仁	消化器外科学2講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
277	エクソソームを介した肝細胞癌肝内転移機序解明による再発バイオマーカーの同定	野田 剛広	消化器外科学2講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
278	膀胱癌におけるケモカインを介したがん間質(GAF)との相互作用メカニズムの解明	秋田 裕史	消化器外科学1講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
279	術後化学療法を支援する人工知能システムの開発	佐藤 太郎	先進薬物療法開発学寄附講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
280	心機能回復のための心筋細胞における細胞極性因子aPKCの役割の解明	河村 拓史	心臓血管外科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
281	AI技術を用いた大動脈解離に対する血管内治療後の予後予測アルゴリズムの開発	島村 和男	心臓血管外科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
282	ネクロプトーシスを標的とした肺移植後虚血再灌流肺傷害に対する新規治療法の開発	狩野 孝	呼吸器外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
283	悪性神経腫瘍療法時の免疫応答とheterogeneityの関係	香川 尚己	脳神経外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
284	経頭蓋直流電気刺激を用いた急性期脳梗塞治療の有効性と作用機序に関する検討	中村 元	脳神経外科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
285	Radiogenomicsによる膠芽腫の臨床経過予測モデルの構築	木下 学	脳神経外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
286	脊髄損傷急性期における細胞内ATPのリアルタイムモニタリング	大西 諭一郎	脳神経外科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
287	前立腺癌における免疫細胞—サイトカインネットワークの解明及び治療法の開発	野々村 祝夫	泌尿器科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
288	癌組織内制御性T細胞を標的とした尿路上皮癌に対する新規免疫療法の開発	河嶋 厚成	泌尿器科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
289	マルチオミックス解析による腎がん新規治療標的の探索と治療選択アルゴリズム開発	氏家 剛	泌尿器科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
290	ヒトパピローマウイルス関連中咽頭癌の新しい免疫学的治療バイオマーカーの開発	武本 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
291	セマフォリン4Aに着目した好酸球性副鼻腔炎に伴う嗅覚障害の病態解明	端山 昌樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
292	頭頸部扁平上皮癌特異的NOTCHパスウェイの探求とその特性の解明	福角 隆仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
293	緑内障早期発見を目指した予測モデルに基づく光干渉断層計の新たな診断指標の確立	三木 篤也	眼科学講座	2,860,000	補	独立行政法人日本学術振興会
294	難治性網膜視神経疾患に対する慢性埋込み型電極を用いた神経保護効果の検討	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
295	網膜色素変性の新規原因遺伝子の同定-罹患者の全エクソーム解析のデータを活用して-	佐藤 茂	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
296	埋め込み型知覚皮弁と脂肪組織由来間葉系幹細胞を用いた再建乳房知覚化の試み	富田 興一	形成外科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
297	循環器検診における眼底細動脈硬化所見自動判定システム開発と予測能評価	川崎 良	視覚情報制御学(トブコン)寄附講座	2,210,000	補	独立行政法人日本学術振興会
298	核内アミノ酸による細胞制御機構の解明	森井 英一	病態病理学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
299	がん特異的タンパク立体構造を標的としたCAR-T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
300	non-AUG翻訳と細胞ストレス応答のパラダイムコンバージョン	森 康治	精神医学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
301	難治性心筋症分子基盤に介入するアップストリーム治療法の開発	坂田 泰史	循環器内科学講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
302	慢性炎症疾患におけるバイセクト糖鎖の役割	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
303	単一細胞解析技術と革新的マウスモデルを用いた膀胱癌転移機構の解明	竹原 徹郎	消化器内科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
304	ACh感受性Kチャネルに対する新規心拍調節治療薬の開発のための変異解析基盤の構築	朝野 仁裕	医化学講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
305	レックリングハウゼン病由来筋線維芽細胞の機能解析とケロイド新治療法の開発	久保 盾貴	形成外科学講座	2,730,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
306	トリプレットリピート病のリピート短縮による根源的治療法の開発	中森 雅之	神経内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
307	シングルセルRNA-sequenceを用いた腎疾患発症・進展メカニズムの解明	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	3,900,000	補	独立行政法人日本学術振興会
308	細胞外小胞のRNAメチル化計測によるがんバイオマーカーの高性能化と実用化	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	3,380,000	補	独立行政法人日本学術振興会
309	脂肪組織由来幹細胞積層シートを用いた慢性閉塞性肺疾患に対する新たな再生医療の開発	新谷 康	呼吸器外科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
310	ナノレベルの線維配向性を有するスキャフォールドを用いた新たな半月板治療の確立	下村 和範	整形外科科学講座	5,980,000	補	独立行政法人日本学術振興会
311	タウ病理の脳内進展過程を標的とした認知症に対する新規診断・治療法の開発	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	5,460,000	補	独立行政法人日本学術振興会
312	前頭側頭型認知症に関連した異常RNAの分解経路の同定およびその破綻について	森 康治	精神医学講座	7,280,000	補	独立行政法人日本学術振興会
313	重症心不全患者における代謝動態の解明および至適栄養療法の確立	坂本 陽子	循環器内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
314	子宮体部類内膜癌におけるMELF patternの分子メカニズムに関する研究	田原 紳一郎	病態病理学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
315	腫瘍細胞浸潤の「動き」に立脚したがん進展メカニズムの解明	松井 崇浩	免疫細胞生物学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
316	アミノ酸光学異性体による新規癌代謝機構の解明	大島 健司	病態病理学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
317	癌におけるRNA修飾異常の解明とエピトランスクリプトーム治療の開発	三宅 浩太郎	呼吸器・免疫内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
318	高齢者閉塞性睡眠時無呼吸に対する新規治療法とバイオマーカーの有用性の検討	本行 一博	老年・総合内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
319	LETの違いによる重粒子線のがん転移に対する影響	林 和彦	放射線治療学講座	1,690,000	補	独立行政法人日本学術振興会
320	iPS細胞と3次元共培養によるHPGDS経路のシナプス刈込と自閉症への関与の解析	橋 雅弥	小児発達神経学領域	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
321	骨形成不全症に対する骨カップリングを標的とした新規治療薬の開発	大幡 泰久	小児科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
322	TGF- β II型受容体機能欠損大腸癌における細胞死機構の解明	辻井 芳樹	消化器内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
323	慢性腎臓病患者における石灰化ストレスマーカーの確立	坂口 悠介	腎疾患臓器連関制御学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
324	難治性血管炎におけるセマフォリン分子の病的意義と治療応用	西出 真之	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
325	関節リウマチ患者における腸内細菌叢の解析	前田 悠一	呼吸器・免疫内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
326	GPIアンカー特異的切断酵素；GPI-PLDの生理病態学的意義の解明	藤島 裕也	内分泌・代謝内科学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
327	脂肪組織由来幹細胞を用いた肺再生～肺胞上皮細胞への分化と細胞移植治療の開発～	福井 絵里子	呼吸器外科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
328	思春期特発性側弯症患者の3D骨形態解析による椎体内骨密度左右差の可逆性の検討	牧野 孝洋	整形外科科学講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
329	肋骨の骨・軟骨柱を用いた小児成長軟骨帯損傷に対する新規治療法開発	吉田 清志	整形外科科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
330	不死化B細胞産生IgA異常糖鎖解析による腎移植後IgA腎症再発の病態解明	中澤 成晃	泌尿器科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
331	補体を介した妊娠高血圧症候群の病態解明と新たな治療薬の開発	味村 和哉	産科学婦人科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
332	血管新生因子に着目した卵巣癌のペバシズマブ耐性機序とPAI-1阻害の有効性の検討	中塚 えりか	産科学婦人科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
333	ペリオスチンに着目したケロイド・肥厚性瘢痕形成機構の解明	前田 大介	形成外科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
334	3次元的血管構造に基づいた新規病理診断法の開発	野島 聡	病態病理学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
335	造血幹細胞移植後の骨髄再構築過程と生着不全における責任細胞の分子病理学的解明	倉重 真沙子	病態病理学講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
336	ヒト内軟骨性骨化モデルに於ける成長軟骨帯形成メカニズムの解明	木村 武司	小児科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
337	乳幼児期発症のてんかんにおける社会性発達の病態解明	岩谷 祥子	(小児科・子ども)環境関連	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
338	患者心筋線維芽細胞を用いた拘束型心筋症の病態解明と新たな治療ターゲットの同定	石田 秀和	小児科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
339	汎用性の高いレセプトデータ・DPCデータを循環器疾患領域で活用するための研究	岡田 佳築	循環器内科学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
340	SLEの増悪に寄与する患者由来膜小胞の性状解析を基盤としたSLEの病態解明	加藤 保宏	呼吸器・免疫内科学講座	2,080,000	補	独立行政法人日本学術振興会
341	ランレオチド治療効果予測による先端巨大症の個別化医療の確立	向井 康祐	内分泌・代謝内科学講座	910,000	補	独立行政法人日本学術振興会
342	免疫チェックポイント阻害薬投与患者における1型糖尿病の発症予測の確立	藤田 有可里	内分泌・代謝内科学講座	1,560,000	補	独立行政法人日本学術振興会
343	Total kill therapyを目指した癌の多様性維持機構の解明と制御	藤野 志季	消化器外科学1講座	3,120,000	補	独立行政法人日本学術振興会
344	膵がん術前治療における耐性獲得と機序の解明	岩上 佳史	消化器外科学2講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
345	GABAA受容体 $\alpha 5$ サブユニット選択的阻害薬が術後の認知機能と疼痛に及ぼす影響	井浦 晃	麻酔・集中治療医学講座	1,820,000	補	独立行政法人日本学術振興会
346	天然抽出物を用いたハイスルーブットスクリーニングによる軟部肉腫の新規治療薬開発	王谷 英達	整形外科科学講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
347	慢性子宮内膜炎モデルの確立とテロサイトの病態への関与の解析	三宅 達也	産科学婦人科学講座	2,340,000	補	独立行政法人日本学術振興会
348	アネキシンA4アンチセンスオリゴによるプラチナ耐性卵巣癌の新規治療法の開発	中川 慧	産科学婦人科学講座	2,470,000	補	独立行政法人日本学術振興会
349	糖尿病性心筋症進展における酸化ステロール蓄積の影響の解明	岡田 健志	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
350	心筋虚血再灌流障害における自然免疫応答のメカニズムの解明と治療法の検討	種池 里佳	循環器内科学講座	1,430,000	補	独立行政法人日本学術振興会
351	新規細胞外ミトコンドリア放出の分子メカニズムの解明	望月 秀樹	神経内科学講座	500,000	補	独立行政法人日本学術振興会
352	国際共同研究によるメカノバイオロジーを応用した細胞外小胞診断のための基盤構築	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	4,550,000	補	独立行政法人日本学術振興会
353	後期学齢期にある人工内耳装用児の心理・社会的発達に関する研究	太田 有美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
354	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	坂田 泰史	循環器内科学講座	1,950,000	補	独立行政法人日本学術振興会
355	医用材料の生体内劣化に対する臨床的対策の構築	菅野 伸彦	運動器工医学治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
356	包括的統合的アプローチによる日本人早期膵癌の高精度診断の具現化	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	12,155,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
357	包括的統合的アプローチによる日本人早期肺癌の高精度診断の具現化	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	9,620,000	補	独立行政法人日本学術振興会
358	レビー小体型認知症の神経基盤に着目した運転能力評価方法の確立	池田 学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
359	新規核酸医薬を用いたアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	上田 豊	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
360	新規核酸医薬を用いたアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	小林 栄仁	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
361	新規核酸医薬を用いたアネキシンA4阻害による卵巣癌プラチナ耐性克服へのアプローチ	中川 慧	産科学婦人科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
362	運動習慣がパーキンソン病に与える影響：マルチモーダルイメージングを用いた解析	馬場 孝輔	神経内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
363	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	下瀬川 恵久	医薬分子イメージング学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
364	放射性標識抗体を用いた高分解能PETによる膵がん超早期画像診断法の開発	渡部 直史	核医学講座	10,465,000	補	独立行政法人日本学術振興会
365	腎芽腫における術前画像リスク因子と血清遊離核酸による診断を用いた新規治療法の開発	奥山 宏臣	小児成育外科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
366	サルコペニア合併高齢者糖尿病に対する運動強度別介入が骨格筋指標に与える影響の解明	杉本 研	老年・総合内科学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
367	脳可塑性変化からみる漢方薬の鎮痛メカニズムの解明	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	3,900	補	独立行政法人日本学術振興会
368	学校管理下で起こる心臓突然死の予防に向けた市民AEDの普及と効果に関する研究	中田 研	スポーツ医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
369	ミャンマーのカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌を分子疫学・地政学的視点で解明する	朝野 和典	感染制御学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
370	剖検心の網羅的遺伝子解析による心不全の新規バイオマーカー探索	前田 大地	先端ゲノム医療学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
371	認知症介護者における介護ストレスと介護に対する意味付け	橋本 衛	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	455,000	補	独立行政法人日本学術振興会
372	認知症介護者における介護ストレスと介護に対する意味付け	池田 学	精神医学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
373	定量キラルメタボロミクスを実現する三次元LC分析基盤開発と腎・心不全の早期診断	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
374	医用画像に基づく計算解剖学の多元化と高度知能診断・治療への展開	木戸 尚治	人工知能画像診断学共同研究講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
375	骨髄由来免疫抑制細胞と卵巣癌幹細胞による癌免疫逃避機構の解明とその克服	澤田 健二郎	産科学婦人科学講座	195,000	補	独立行政法人日本学術振興会
376	再発頭頸部癌に対する硼素中性子捕捉療法標準治療化におけるバイオマーカーの探索	渡部 直史	核医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
377	腎臓リハビリテーションにおける運動継続サポートシステムの開発と有効性評価	猪阪 善隆	腎臓内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
378	ヘッドマウントディスプレイを用いた視覚矯正・補助フレームワークの構築	森本 壮	視覚機能形成学寄附講座	780,000	補	独立行政法人日本学術振興会
379	体内動態を制御したAt-211標識アミノ酸による汎用的 α 線治療法の創出	渡部 直史	核医学講座	390,000	補	独立行政法人日本学術振興会
380	深層学習、シミュレーション、統計モデルを融合した人工股関節手術の意思決定支援	菅野 伸彦	運動器工医学治療学寄附講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
381	競技者のコンディショニング評価のための実践的低侵襲評価方法の開発	中田 研	スポーツ医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
382	敗血症性脳症の非侵襲計測と分子病態の統合解析による積極的治療介入の再考察	小倉 裕司	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
383	変形性膝関節症患者における大腿四頭筋の筋量分布と筋内脂肪	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
384	皮質脳波の長期超高密度多点計測による運動情報の解読とBMIへの応用	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	1,170,000	補	独立行政法人日本学術振興会
385	交通事故後高次脳機能障害：Advanced MRによる認定サポートシステムの構築	森 悦朗	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
386	実用化へ向けた高解像度3Dカラー放射線イメージング技術の開拓	松永 恵子	医薬分子イメージング学共同研究講座	1,300,000	補	独立行政法人日本学術振興会
387	膜融合能増強型標的化改変ヘルペスウイルスを用いたがん免疫療法の開発	土岐 祐一郎	消化器外科学2講座	1,365,000	補	独立行政法人日本学術振興会
388	中性脂肪蓄積心筋血管症に対する特異的栄養療法の動脈硬化抑制効果に対する検討	平野 賢一	循環器内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
389	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	佐藤 太郎	先進癌薬物療法開発学寄附講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
390	Warburg制御因子MPCによる早期脳転移機序の解明と応用	石井 秀始	疾患データサイエンス学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
391	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	舟木 壮一郎	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
392	線維芽細胞を標的とする肺線維症・間質性肺炎および肺癌の新たな治療戦略の探索	新谷 康	呼吸器外科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
393	尿路上皮におけるDNAメチル化の蓄積による膀胱癌再発メカニズムの解明	植村 元秀	泌尿器癌免疫治療学共同研究講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
394	油脂の嗜好性が肥満を誘導する機構と肥満を抑制する機構	佐々木 勉	神経内科学講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
395	赤血球回復時定数100倍激変現象の解明	大谷 朋仁	循環器内科学講座	650,000	補	独立行政法人日本学術振興会
396	遺伝子転写因子CRTC1欠損による雌性マウスの肥満誘導機構の解明	佐々木 勉	神経内科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
397	出産の危機状況を医療、女性の身体、子供の命の視点から解明するエスノグラフィ研究	木村 正	産科学婦人科学講座	299,000	補	独立行政法人日本学術振興会
398	ライフスタイルと脳の働き -超高齢社会を生き抜くための心理科学-	橋本 衛	行動神経学・神経精神医学寄附講座(連小)	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
399	院外心停止例の救命に寄与する要因の多面的分析と治療ストラテジの構築に関する研究	嶋津 岳士	救急医学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
400	骨折手術における次世代ナビゲーションシステムの開発と臨床応用	村瀬 剛	整形外科科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
401	骨折手術における次世代ナビゲーションシステムの開発と臨床応用	岡 久仁洋	整形外科科学講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
402	乾癬性関節炎におけるリンパ球機能とサイトカインプロファイルの解析	乾 重樹	皮膚・毛髪再生医学寄附講座	65,000	補	独立行政法人日本学術振興会
403	キネマティクスによる変形性関節症発生機序の解明と治療デバイス開発	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
404	脊髄損傷の早期修復を目指したアポトーシス細胞模倣型炎症ポリマーの開発	田中 啓之	運動器スポーツ医科学共同研究講座	260,000	補	独立行政法人日本学術振興会
405	認知症高齢者の摂食嚥下障害に対する原因疾患別予防プログラムの多職種共同開発	池田 学	精神医学講座	520,000	補	独立行政法人日本学術振興会
406	術後遷延性疼痛における脳内マクロファージの役割の解明	久保 盾貴	形成外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
407	成長期における頭蓋顔面骨に及ぼすレチノイン酸の役割の解析	富田 興一	形成外科学講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
408	シヌクレイノパチーにおける病態伝播マスター遺伝子の網羅的探索	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	130,000	補	独立行政法人日本学術振興会
409	パーキンソン病の包括的ゲノム解析による遺伝背景解明と応用	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	715,000	補	独立行政法人日本学術振興会
410	医療安全に資する病院情報システムの機能を普及させるための施策に関する研究	松村 泰志	医療情報学	3,692,000	補	厚生労働省
411	健診結果等を個人を軸に集積し自らの健康管理に活用できるシステムの構築とその利活用に関する実証研究	松村 泰志	医療情報学	20,000,000	補	厚生労働省
412	特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者のQOL向上に関する大規模多施設研究	菅野 伸彦	運動器工医学治療学寄附講座	7,059,000	補	厚生労働省
413	生まれ年度による罹患リスクに基づいた実効性のある子宮頸癌予防法の確立に向けた研究	上田 豊	産科学婦人科学	11,283,000	補	厚生労働省
414	強直性脊椎炎に代表される脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学	5,005,000	補	厚生労働省
415	角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究	西田 幸二	眼科学	20,020,000	補	厚生労働省
416	5類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究 ―ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて―	嶋津 岳士	救急医学	8,287,000	補	厚生労働省
417	新たなソーシャルキャピタルを醸成しつつ母子の健康向上に寄与する情報発信手法の開発	上田 豊	産科学婦人科学	10,400,000	補	厚生労働省
418	医療通訳認証の実用化に関する研究	中田 研	スポーツ医学	4,782,000	補	厚生労働省
419	慢性期における脳卒中を含む循環器病診療の質の評価に関する研究	坂田 泰史	循環器内科学	600,000	補	厚生労働省
420	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	500,000	補	厚生労働省
421	腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築	猪阪 善隆	腎臓内科学	500,000	補	厚生労働省
422	自己免疫疾患に関する調査研究	藤本 学	皮膚科学	1,500,000	補	厚生労働省
423	難治性腎障害に関する調査研究	猪阪 善隆	腎臓内科学	700,000	補	厚生労働省
424	指定難病と小児慢性特定疾病に関連した先天性骨系統疾患の適切な診断の実施と医療水準およびQOLの向上をめざした研究	窪田 拓生	小児科	650,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
425	小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	200,000	補	厚生労働省
426	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	100,000	補	厚生労働省
427	小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究	上野 豪久	小児成育外科学	100,000	補	厚生労働省
428	要介護認定データ等を活用した高齢者の状態等の経時的変化の類型化のための研究	樂木 宏実	老年・総合内科学	900,000	補	厚生労働省
429	認知症の人やその家族の視点を重視した認知症高齢者にやさしい薬物療法のための研究	樂木 宏実	老年・総合内科学	700,000	補	厚生労働省
430	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	大月 道夫	内分泌・代謝内科学	200,000	補	厚生労働省
431	慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	松田 陽一	麻酔・集中治療医学	200,000	補	厚生労働省
432	先天性呼吸器・胸郭形成異常疾患に関する診療ガイドライン作成ならびに診療体制の構築・普及に関する研究	奥山 宏臣	小児成育外科学	100,000	補	厚生労働省
433	原発性高脂血症に関する調査研究	小関 正博	循環器内科学	200,000	補	厚生労働省
434	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	海渡 貴司	整形外科	250,000	補	厚生労働省
435	強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究	藤本 学	皮膚科学	200,000	補	厚生労働省
436	先天代謝異常症の生涯にわたる診療支援を目指したガイドラインの作成・改訂および診療体制の整備に向けた調査研究	青天目 信	小児科学	500,000	補	厚生労働省
437	稀少てんかんに関する調査研究	青天目 信	小児科学	300,000	補	厚生労働省
438	HIV陽性者に対する精神・心理的支援方策および連携体制構築に資する研究	池田 学	精神医学	1,500,000	補	厚生労働省
439	アルツハイマー病患者に対する生活行為工程分析に基づいたリハビリテーション介入の標準化に関する研究	池田 学	精神医学	600,000	補	厚生労働省
440	神経皮膚症候群に関する診療科横断的な診療体制の確立	金田 眞理	皮膚科学	800,000	補	厚生労働省
441	プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	望月 秀樹	神経内科学	1,600,000	補	厚生労働省

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
442	ミトコンドリア病の調査研究	青天目 信	小児科学	500,000	補	厚生労働省
443	神経変性疾患領域における基盤的調査研究	望月 秀樹	神経内科学	450,000	補	厚生労働省
444	循環器病の医療体制構築に資する自治体が利活用可能な指標等を作成するための研究	坂田 泰史	循環器内科学	5,000,000	補	厚生労働省
445	特発性心筋症に関する調査研究	坂田 泰史	循環器内科学	350,000	補	厚生労働省
446	早老症の医療水準やQOL向上を目指す集学的研究	中神 啓徳	健康発達医学寄附講座	200,000	補	厚生労働省
447	特発性正常圧水頭症の診療ガイドライン作成に関する研究	森 悦朗	連合小児発達学 研究科	200,000	補	厚生労働省
448	角膜難病の標準的診断法および治療法の確立を目指した調査研究	大家 義則	眼科学	400,000	補	厚生労働省
449	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	大月 道夫	内分泌・代謝内科	430,000	補	厚生労働省
450	成人眼科検診による眼科疾患の重症化予防効果及び医療経済学的評価のための研究	川崎 良	視覚情報制御学 寄附講座	500,000	補	厚生労働省
451	大規模イベント時の健康危機管理対応に資する研究	嶋津 岳士	救急医学	500,000	補	厚生労働省
452	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究	江口 英利	消化器外科学	200,000	補	厚生労働省
453	小児期・移行期を含む包括的対応を要する希少難治性肝胆膵疾患の調査研究	別所 一彦	小児科学	150,000	補	厚生労働省
454	新たなソーシャルキャピタルを醸成しつつ母子の健康向上に寄与する情報発信手法の開発	荒堀 仁美	小児科学	300,000	補	厚生労働省
455	職域がん検診における制度管理指標の測定・基準値設定と新指標測定法の開発・実用化に関する研究	松村 泰志	医療情報学	500,000	補	厚生労働省
456	多施設SS-MIX2標準化データベースからの臨床的表現型クラスタリングとその臨床エビデンス創出手法の開発研究	松村 泰志	医療情報学	800,000	補	厚生労働省
457	慢性腎臓病（CKD）に対する全国での普及啓発の推進、地域における診療連携体制構築を介した医療への貢献	猪阪 善隆	腎臓内科学	900,000	補	厚生労働省
458	異分野融合型研究の推進による自立循環型新規医療創出基盤の確立	今村 亮一	泌尿器科学	1,333,333	補	産業科学研究所

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
459	iPS細胞等幹細胞の高効率な継代作業を実現した3次元大量継代培養自動化技術の実用化開発	澤 芳樹	心臓血管外科学	4,030,000	補	公益財団法人新産業創造研究機構
460	骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究 (SUPREMACY)	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	312,000	委	(社)日本PNH研究会
461	発達障害児(者)支援事業	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,495,000	委	堺市
462	キッズサポートセンターさかいにおける発達障害児支援業務	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	14,000,000	委	堺市
463	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	下村 伊一郎	内分泌・代謝内科学	300,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
464	NCNPブレインバンクの運営および生前登録システムの推進	谷池 雅子	子どものこころの分子統御機構研究センター	900,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
465	筋ジストロフィー関連疾患の分子病態解明とそれに基づく診断法・治療法開発	中森 雅之	神経内科学	700,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
466	ポリグルタミン病モデルマーマセット系統を用いた病態理解と治療法開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,000,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
467	認知症・神経変性疾患の病態解明と治療・介護・予防法開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	1,300,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
468	ゲノム編集技術を用いたモデル動物作出による精神神経筋疾患の病態解明	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	500,000	委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
469	10歳若返り実践モデル事業 (AI・コミュニケーション) 委託業務	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	92,593	委	大阪府
470	高齢者の認知機能低下に配慮した至適血圧域の解明: 老年期にある健常者と軽度認知機能低下患者を対象とした、認知機能保持ないその改善を最終目的とした、適切な血圧管理法に関する研究	山本 浩一	老年・総合内科学	7,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
471	長期追跡調査と多面的評価を基盤とした骨粗鬆症性脊椎骨折の標準的治療指針の確立	海渡 貴司	整形外科	1,000,000	委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
472	クッシング症候群における薬物治療の実態解明	大月 道夫	内分泌・代謝内科学	100,000	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
473	頭頸部癌に対するニボルマブ適正使用のためのバイオマーカーの創出に関する多施設共同研究	福角 隆仁	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	250,000	委	国立大学法人東京医科歯科大学
474	10歳若返り実践モデル事業 (AI・コミュニケーション) 委託業務	武田 朱公	臨床遺伝子治療学寄附講座	92,593	委	大阪府
475	スポーツ・ヘルスツーリズム体験に向けたヘルスケア研究	中田 研	スポーツ医学	500,000	委	一般社団法人東大阪ツーリズム振興機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
476	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・熊ノ郷）	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	11,700,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
477	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（連合小児・谷池）	谷池 雅子	こころの発達神経科学（小児発達神経学）	25,103,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
478	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・西田）	西田 幸二	眼科学	11,700,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
479	人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力の増進（医学系研究科・今村）	今村 亮一	泌尿器科学	13,986,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
480	シヌクレイン細胞間伝搬機構の解明	池中 建介	神経内科学	5,200,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
481	エクソソームの生体内ダイナミクスの解明	望月 秀樹	神経内科学	11,960,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
482	皮質脳波計測の総括とrBCIの検証	貴島 晴彦	脳神経外科学	13,650,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
483	1細胞計測システムを用いた癌や免疫細胞特性の非侵襲的計測方法の確立	高松 漂太	呼吸器・免疫内科学	16,900,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
484	関節炎の薬剤応答性のデータの取得と構造化法の開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	6,930,000	委	国立研究開発法人理化学研究所
485	安全・安心・スマートな長寿社会実現のための高度な量子アプリケーション技術の創出（課題5）	渡部 直史	核医学	11,030,000	委	国立研究開発法人科学技術振興機構
486	革新的遠隔管理型心臓リハビリテーションシステムの研究開発	坂田 泰史	循環器内科学	5,291,957	委	総務省
487	次世代人工知能技術の研究開発	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	42,756,564	委	総務省
488	個人起点での医療データ利活用の促進に向けた「医療版」情報銀行アーキテクチャの実証研究	松村 泰志	医療情報学	6,210,000	委	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
489	C型肝炎ウイルス排除治療による肝硬変患者のアウトカムに関する研究開発	竹原 徹郎	消化器内科学	34,450,000	委	日本医療研究開発機構
490	順行性遺伝学とオミックスを用いたNASH由来がん発症・進展機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学	8,910,000	委	日本医療研究開発機構
491	B型肝炎ウイルス持続感染モデルを用いた病態解明及び創薬研究	竹原 徹郎	消化器内科学	178,030,000	委	日本医療研究開発機構
492	B型肝炎ウイルスの感染複製増殖機構解明による創薬基盤形成に関する研究	疋田 隼人	消化器内科学	3,900,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
493	C型肝炎ウイルス感染モデル及び臨床情報・試料を用いたウイルス排除後の病態に関する研究	竹原 徹郎	消化器内科学	42,135,000	委	日本医療研究開発機構
494	脊髄損傷後疼痛の発症にかかわる中枢神経系の機能的・構造的変化の探索	貴島 晴彦	脳神経外科学講座	7,935,000	委	日本医療研究開発機構
495	神経画像検査法を用いた中枢性脳卒中後疼痛の客観的指標の探索と革新的非侵襲脳刺激法の開発	細見 晃一	脳神経機能再生学	5,720,000	委	日本医療研究開発機構
496	プリオノイド蛋白質の凝集・伝播を標的とした神経コンフォメーション病の分子標的治療薬・バイオマーカーの開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附学講座	26,390,000	委	日本医療研究開発機構
497	膠様滴状角膜ジストロフィに対する低分子治療薬の創出に関する研究	川崎 諭	眼免疫再生医学共同研究講座	14,820,000	委	日本医療研究開発機構
498	先天性横隔膜ヘルニアにおける最適な人工換気法・手術時期・手術方法に関する研究	奥山 宏臣	小児育成外科学	7,930,000	委	日本医療研究開発機構
499	肝細胞増殖因子(HGF)による筋萎縮性側索硬化症(ALS)の画期的治療法開発	望月 秀樹	神経内科学	32,171,880	委	日本医療研究開発機構
500	好中球活性化制御分子を標的としたANCA関連血管炎の病態解明と治療法の開発	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	33,540,000	委	日本医療研究開発機構
501	脊椎関節炎を標的としたIL-17Aワクチンの開発	富田 哲也	運動器バイオマテリアル学寄附講座	29,640,000	委	日本医療研究開発機構
502	新規ATG非依存性RAN翻訳を標的としたノンコーディンググリプト病の治療法開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療寄附講座	29,640,000	委	日本医療研究開発機構
503	神経保護因子Nedrinの発現上昇による筋萎縮性側索硬化症の新規治療法の創出	望月 秀樹	神経内科学	29,640,000	委	日本医療研究開発機構
504	薬事申請をめざした治療法のない神経線維腫症1型の皮膚腫瘍に対する有効で安全な局所大量投与療法薬開発のための医師主導治験	金田 真理	皮膚科学	80,987,400	委	日本医療研究開発機構
505	心筋症における心筋病理細胞核評価による臨床病態層別化指標の開発	坂田 泰史	循環器内科学	51,220,000	委	日本医療研究開発機構
506	重症劣性栄養障害型表皮水疱症に対する非侵襲性かつ高効率な間葉系幹細胞遺伝子治療法の開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	31,200,000	委	日本医療研究開発機構
507	心ファブリー病および拡張型心筋症に対する心臓標的AAVベクターによる遺伝子治療法の開発	朝野 仁裕	循環器内科学	23,400,000	委	日本医療研究開発機構
508	がん特異的アミノ酸輸送体阻害作用を有する抗がん剤の臨床POC取得	竹原 徹郎	消化器内科学	58,000,000	委	日本医療研究開発機構
509	骨髄間葉系幹細胞動員活性に基づく表皮水疱症治療薬開発	玉井 克人	再生誘導医学寄附講座	85,000,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
510	ワイヤレス体内埋込型ブレイン・マシン・インターフェースによる運動機能・意思伝達機能再建装置の臨床試験	平田 雅之	脳機能診断再建学共同研究講座	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
511	心臓アセチルコリン感受性カリウムチャンネル選択的阻害薬による遺伝性徐脈性難病(KACHチャネロパシー)に対する新規治療法の創出を目指す開発研究	朝野 仁裕	循環器内科学	84,500,000	委	日本医療研究開発機構
512	患者レジストリ(Remudy)を活用した筋強直性ジストロフィーに対するエリスロマイシンの安全性及び有効性を検討する多施設共同プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験	中森 雅之	神経内科学	78,000,000	委	日本医療研究開発機構
513	家族性大腸腺腫症に対するWT1がんワクチン(DSP7888)による大腸がん発症予防に関する研究開発	西田 純幸	呼吸器・免疫内科学講座	11,492,070	委	日本医療研究開発機構
514	腎虚概念に基づくフレイル治療選択に資する尺度(腎虚スコア)開発と牛車腎気丸エキス製剤の抗フレイル・サルコペニア効果に関する前向き研究	萩原 圭祐	先進融合医学共同研究講座	10,400,000	委	日本医療研究開発機構
515	糖尿病MCI患者のアルツハイマー病移行を抑制する糖尿病治療法の検討	池田 学	精神医学	14,100,000	委	日本医療研究開発機構
516	前頭側頭型認知症の動物モデルを用いた候補治療薬の開発	永井 義隆	神経難病認知症探索治療学寄附講座	16,000,000	委	日本医療研究開発機構
517	外傷性骨折後変形治療症例に対するカスタムメイド治療法の研究開発	村瀬 剛	整形外科	5,314,348	委	日本医療研究開発機構
518	革新的オンライン管理型心臓リハビリテーションシステムの医師主導治療	坂田 泰史	循環器内科学	41,450,552	委	日本医療研究開発機構
519	腸内微生物叢の宿主共生と宿主相互作用機構の解明	飯島 英樹	消化器内科学	8,450,000	委	日本医療研究開発機構
520	幹細胞システムに基づく4次元眼組織リモデリング機構とその破綻による疾患発症機序の解明	西田 幸二	眼科学	116,740,000	委	日本医療研究開発機構
521	タウ蛋白を標的とした抗体産生を誘導する認知症ワクチンの探索	中神 啓徳	健康発達医学	7,330,400	委	日本医療研究開発機構
522	シート型ワイヤレス子宮筋電センサを用いた、早産および常位胎盤早期剥離の早期・鑑別診断法の開発～新生児脳障害の減少を目指して～	木村 正	産科婦人科学	14,450,000	委	日本医療研究開発機構
523	更年期障害の早期かつ客観的な診断が可能な新規パッチ式計測シートの研究開発	澤田 健二郎	産科学婦人科学	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
524	がん不均一性を個体レベルでモデル化したハイスループットスクリーニング系による肝がん分子標的薬効果予測バイオマーカー探索と耐性化機構の解明	小玉 尚宏	消化器内科学	6,500,000	委	日本医療研究開発機構
525	乳児急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相試験に向けた多施設共同臨床試験による新規治療戦略の確立研究	宮村 能子	小児科学	11,999,000	委	日本医療研究開発機構
526	免疫細胞動態・分化・代謝制御による抗腫瘍免疫微小環境の最適化	熊ノ郷 淳	呼吸器・免疫内科学	14,000,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
527	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	58,900,000	委	日本医療研究開発機構
528	iPS再生組織・細胞移植における拒絶反応の免疫指標の確立と、誘導性抑制性T細胞を用いた再生組織の長期生着・免疫寛容の誘導	宮川 繁	最先端再生医療学共同研究講座	13,520,000	委	日本医療研究開発機構
529	家族性大腸腺腫症に対するワクチン治療開発	中神 啓徳	健康発達医学	6,500,000	委	日本医療研究開発機構
530	iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発	西田 幸二	眼科学	200,000,000	委	日本医療研究開発機構
531	iPS細胞を用いた心筋再生治療創成拠点	澤 芳樹	心臓血管外科学	338,847,930	委	日本医療研究開発機構
532	脂質代謝を標的とした新規癌治療法の開発	木村 正	産科学婦人科学	3,900,000	委	日本医療研究開発機構
533	難治性心筋症疾患特異的iPS細胞を用いた集学的創薬スクリーニングシステムの開発と実践	坂田 泰史	循環器内科学	5,400,000	委	日本医療研究開発機構
534	重症心筋症に対するヒトiPS細胞由来心筋細胞シート移植による治療法の開発	澤 芳樹	心臓血管外科学	50,000,000	委	日本医療研究開発機構
535	iPS細胞由来角膜上皮細胞シートのFirst-in-human 臨床研究	西田 幸二	眼科学	70,537,576	委	日本医療研究開発機構
536	拡張型心筋症に対する新規治療法確立を目指した収縮・代謝関連の分子機序解明	木岡 秀隆	循環器内科学	10,400,000	委	日本医療研究開発機構
537	安静時脳波により超早期認知症を検知・識別する人工知能の開発と検証	池田 学	精神医学	26,000,000	委	日本医療研究開発機構
538	乳児急性リンパ性白血病に対する国際共同第III相試験に向けた多施設共同臨床試験による新規治療戦略の確立研究	宮村 能子	小児科学	483,600	委	日本医療研究開発機構
539	視線計測装置及び視線計測装置用診断プログラム(GF01)による自閉スペクトラム症(ASD)の診断能に関する多施設共同試験	谷池 雅子	こころの発達神経科学講座	14,300,000	委	日本医療研究開発機構
540	人工知能を用いたてんかん治療の最適化に関する研究開発	貴島 晴彦	脳神経外科学	26,000,000	委	日本医療研究開発機構
541	レビー小体型認知症(DLB)の病原性蛋白質 α シヌクレインの新規診断・治療効果判定法の開発	望月 秀樹	神経内科学	9,450,000	委	日本医療研究開発機構
542	急性骨髄性白血病幹細胞を標的としたCAR T細胞療法の開発	保仙 直毅	血液・腫瘍内科学講座	13,000,000	委	日本医療研究開発機構
543	がん特異的アミノ酸輸送体阻害作用を有する抗がん剤の臨床POC取得	竹原 徹郎	消化器内科学	7,400,000	委	日本医療研究開発機構

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
----	-------	-------	------	----	----------

計 543件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入す

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別	PubMed ID
1	Dohi, T. Nakatani, D. Inoue, K. et al.	循環器内科	Effect of Extensive Ablation on Recurrence in Patients with Persistent Atrial Fibrillation Treated with Pulmonary Vein Isolation (EARNEST-PVI) trial: Design and rationale	J Cardiol. 2019 Aug;74(2):164-168	Original Article	30853354
2	Yokoi K, Mizote I, Shiraki T,et al.	循環器内科	Mechanism of Good Back-up Support With a Deep-Seated Guiding Catheter During Percutaneous Coronary Intervention	Circ J. 2019 Jul 25;83(8):1763.	Original Article	30713214
3	Kojima T, Hikoso S, Nakatani D, et al.	循環器内科	Impact of Hyperglycemia on Long-Term Outcome in Patients With ST-Segment Elevation Myocardial Infarction	Am J Cardiol. 2020 Mar 15;125(6):851-859	Original Article	31964502
4	Miyawaki H, Kioka H, Sato K, et al.	循環器内科	Long-term Effects of the Janus Kinase 1/2 Inhibitor Ruxolitinib on Pulmonary Hypertension and the Cardiac Function in a Patient with Myelofibrosis	Intern Med . 2020 Jan 15;59(2):229- 233	Case report	31534088
5	Ichibori Y, Mizote I, Tsuda M, et al.	循環器内科	Long-Term Outcomes of High- Risk or Inoperable Patients Who Underwent Transcatheter Aortic Valve Implantation	Am J Cardiol. 2019 Aug 15;124(4):573-579	Original Article	31255236
6	Dohi T, Nakatani D, Inoue K, et al.	循環器内科	Effect of Extensive Ablation on Recurrence in Patients with Persistent Atrial Fibrillation Treated with Pulmonary Vein Isolation (EARNEST-PVI) trial: Design and rationale	J Cardiol. 2019 Aug;74(2):164-168	Original Article	30853354
7	Taniguchi T, Ohtani T, Kioka, H, et al.	循環器内科	Liver Stiffness Reflecting Right- Sided Filling Pressure Can Predict Adverse Outcomes in Patients With Heart Failure	JACC Cardiovasc Imaging. 2019 Jun;12(6):955-964	Original Article	29361489

8	Yamada N, Asano Y, Fujita M, et al.	循環器内科	Mutant KCNJ3 and KCNJ5 Potassium Channels as Novel Molecular Targets in Bradyarrhythmias and Atrial Fibrillation	Circulation. 2019 Apr 30;139(18):2157-2169	Original Article	30764634
9	Shiraki T, Iida O, Inoue K, et al.	循環器内科	Very Late Histopathologic Evaluation of Neointimal Characteristics after Bare-Metal Stent Implantation in the Superficial Femoral Artery	J Vasc Interv Radiol. 2019 Apr;30(4):616-617	Case report	30910186
10	Okada T, Ohama T, Takafuji K, et al.	循環器内科	Shotgun proteomic analysis reveals proteome alterations in HDL of patients with cholesteryl ester transfer protein deficiency	J Clin Lipidol. Mar-Apr 2019;13(2):317-325.	Original Article	30745272
11	Shinsuke Sakai, Takeshi Yamamoto, Yoshitsugu Takabatake et al.	腎臓内科	Proximal Tubule Autophagy Differs in Type 1 and 2 Diabetes	J Am Soc Nephrol . 2019 Jun;30(6):929-945.	Original Article	31040190
12	Yoshitaka Isaka, Hiromitsu Hayashi, Kazutaka Aonuma et al.	腎臓内科	Guideline on the use of iodinated contrast media in patients with kidney disease 2018	Jpn J Radiol . 2020 Jan;38(1):3-46	Original Article	31709498
13	Murai K., Hikita H., Kai Y. et al.	消化器内科	Hepatitis C virus infection suppresses hepatitis B virus replication via the RIG-I-like helicase pathway	Sci Rep . 2020 Jan 22;10(1):941.	Original Article	31969598
14	Takehara T., Sakamori R.	消化器内科	Remaining challenges for the noninvasive diagnosis of esophageal varices in liver cirrhosis	Esophagus. 2020 Jan;17(1):19-24.	Review	31620917
15	Kato M., Hayashi Y., Takehara T.	消化器内科	Concurrent gastric sarcoidosis and early gastric cancer distinguished by magnifying narrow-band imaging	Dig Endosc. 2020 Mar;32(3):433.	Letter	31732986

16	Maesaka K., Sakamori R., Yamada R. et al.	消化器内科	Hypovascular hepatic nodules as a predictive factor for transcatheter arterial chemoembolization refractoriness in hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2020 Mar;50(3):365–373.	Original Article	31661722
17	Tahata Y., Sakamori R., Urabe A. et al.	消化器内科	Hepatocellular carcinoma occurrence does not differ between interferon-based and interferon-free treatment with liver histological assessment	Hepatol Res. 2020 Mar;50(3):313–320.	Original Article	31747479
18	Kato M., Hayashi Y., Uema R. et al.	消化器内科	Additional effect of magnifying narrow-band imaging on estimating the invasion depth of superficial esophageal cancer	JGH Open. 2019 Aug 19;4(2):178–184.	Original Article	32280762
19	Takehara T., Chayama K., Kurosaki M. et al.	消化器内科	JNJ-4178 (adafosbuvir, odalasvir, and simeprevir) in Japanese patients with chronic hepatitis C virus genotype 1 or 2 infection with or without compensated cirrhosis: the Phase IIa OMEGA-3 study	J Gastroenterol. 2020 Jun;55(6):640–652.	Original Article	32065330
20	Hikita H., Takehara T.	消化器内科	NS5A-P32 Deletion in Hepatitis C Genotype 1b Infection is the Most Refractory Treatment-Mediated Amino Acid Change Exhibiting Resistance to all NS5A Inhibitors	Semin Liver Dis. 2020 May;40(2):143–153.	Original Article	31858513
21	Kurahashi T., Yoshida Y., Ogura S. et al.	消化器内科	Forkhead Box M1 Transcription Factor Drives Liver Inflammation Linking to Hepatocarcinogenesis in Mice	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2020;9(3):425–446.	Original Article	31669262
22	Sasaki Y., Sakamori R., Yamada R. et al.	消化器内科	Cotreatment with lenvatinib and warfarin potassium caused prothrombin time prolongation	Hepatol Res. 2019 Nov;49(11):1357–1361.	Original Article	31119866
23	Hayashi Y., Nishida T., Tsutsui S. et al.	消化器内科	Efficacy of chemotherapy for older patients with gastric cancer: a multicenter retrospective cohort study	Int J Clin Oncol. 2019 Nov;24(11):1377–1384.	Original Article	31346818

24	Kegasawa T., Tatsumi T., Yoshioka T. et al.	消化器内科	Soluble UL16-binding protein 2 is associated with a poor prognosis in pancreatic cancer patients	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Sep 10;517(1):84-88.	Original Article	31303272
25	Suemura S., Kodama T., Myojin Y. et al.	消化器内科	CRISPR loss-of-function screen identifies the Hippo signaling pathway as the mediator of regorafenib efficacy in hepatocellular carcinoma	Cancers (Basel). 2019 Sep 13;11(9):1362.	Original Article	31540262
26	Urabe A., Sakamori R., Tahata Y. et al.	消化器内科	Predictive factors of anemia during sofosbuvir and ribavirin therapy for genotype 2 chronic hepatitis C patients	Hepatol Res. 2019 Aug;49(8):853-859.	Original Article	31009550
27	Ikezawa K., Shigekawa M., Sengoku K et al.	消化器内科	Left atrial appendage thrombus detected by transesophageal examination with linear endoscopic ultrasound	Clin Case Rep. 2019 May 28;7(7):1327-1330.	Original Article	31360478
28	Kimura K., Hayashi Y., Otani K. et al.	消化器内科	Esophageal carcinosarcoma that disappeared pathologically by palliative radiotherapy alone	Clin J Gastroenterol. 2019 Jun;12(3):247-253.	Original Article	30649679
29	Doi A., Hikita H., Kai Y. et al.	消化器内科	Combinations of two drugs among NS3/4A inhibitors, NS5B inhibitors and non-selective antiviral agents are effective for hepatitis C virus with NS5A-P32 deletion in humanized-liver mice	J Gastroenterol. 2019 May;54(5):449-458.	Original Article	30684016
30	Yamada R., Hiramatsu N., Oze T. et al.	消化器内科	Incidence and risk factors of hepatocellular carcinoma change over time in patients with hepatitis C virus infection who achieved sustained virologic response	Hepatol Res. 2019 May;49(5):570-578.	Original Article	30623521
31	Yoshii S., Shinzaki S., Hayashi Y. et al.	消化器内科	Endoscopic submucosal dissection for remnant rectal neoplasm after ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis	Endoscopy. 2019 Dec;51(12):E406-E407.	Case report	31362314

32	Yoshii S., Hayashi Y., Tsuji Y. et al.	消化器内科	Colorectal endoscopic submucosal dissection using mucosal bridges for local recurrence after endoscopic resection	Endoscopy. 2019 Sep;51(9):E241-E242.	Case report	31071756
33	Yoshii S., Hayashi Y., Iijima H. et al.	消化器内科	Exosomal microRNAs derived from colon cancer cells promote tumor progression by suppressing fibroblast TP53 expression	Cancer Sci. 2019 Aug;110(8):2396-2407.	Original Article	31148360
34	Kimura K., Tsuji Y., Saiki H. et al.	消化器内科	Double-Scope Endoscopic Submucosal Dissection for a Laterally Spreading Cecal Tumor.	ACG Case Rep J. 2019 Aug 22;6(8):e00168.	Original Article	31737707
35	Kodama T., Marian T.A., Lee H. et al.	消化器内科	MRTFB suppresses colorectal cancer development through regulating SPDL1 and MCAM	Proc Natl Acad Sci U S A . 2019 Nov 19;116(47):23625-23635.	Original Article	31690663
36	Saiki Aya, Otsuki Michio, Mukai Kosuke	糖尿病・内分泌・代謝内科	Basal Plasma Aldosterone Concentration Predicts Therapeutic Outcomes in Primary Aldosteronism	J Endocr Soc. 2020 Feb; 4: bvaa011	Original Article	32190802
37	Mukai Kosuke, Otsuki Michio, Tamada Daisuke	糖尿病・内分泌・代謝内科	Clinical Characteristics of Acromegalic Patients With Paradoxical GH Response to Oral Glucose Load	J Clin Endocrinol Metab. 2019 May; 104: 1637-44	Original Article	30476255
38	Saiki Aya, Tamada Daisuke, Hayashi Reiko	糖尿病・内分泌・代謝内科	The Number of Positive Confirmatory Tests Is Associated With the Clinical Presentation and Incidence of Cardiovascular and Cerebrovascular Events in Primary Aldosteronism	Hypertens Res. 2019 Aug; 42: 1186-91	Original Article	30850754
39	Nagai Yasuki, Mukai Kosuke, Otsuki Michio	糖尿病・内分泌・代謝内科	Suppression Failure of Cortisol Secretion by Dexamethasone May Occur in Glucagon-like Peptide-1 Receptor Agonist-treated Patients With Diabetic Autonomic Neuropathy	Intern Med. 2019 Apr; 58: 949-53	Case report	30568127

40	Fukushima K, Satoh T, Sugihara F et al.	呼吸器・免疫内科	Dysregulated Expression of the Nuclear Exosome Targeting Complex Component Rbm7 in Nonhematopoietic Cells Licenses the Development of Fibrosis	Immunity. 2020 Mar 17;52(3):542-556	Original Article	32187520
41	Shibayama H, Teshima T, Choi I, et al.	血液・腫瘍内科	Phase I study of ibrutinib in Japanese patients with treatment-naïve chronic lymphocytic leukemia/small lymphocytic lymphoma. J Clin Exp Hematopathology	J Clin Exp Hematopathology, 2019 Dec; 59(4): 179-186	Original Article	31866619
42	Yokota T	血液・腫瘍内科	"Hierarchy" and "Holacracy": A Paradigm of the Hematopoietic System	Cells 8(10), 2019 Oct; E1138	Original Article	31554248
43	Ichii M, Koh S, Maeno S et al.	血液・腫瘍内科	Noninvasive assessment of corneal alterations associated with monoclonal gammopathy	Int J Hematol, 2019 May; 110(4):500-505	Original Article	31111396
44	Kusakabe S, Fukushima K, Maeda T et al.	血液・腫瘍内科	Pre- and post-serial metagenomic analysis of gut microbiota as a prognostic factor in patients undergoing haematopoietic stem cell transplantation	Br J Haematol, 2020 Feb;188(3):438-449/Epub 2019 Sep	Original Article	31566729
45	Ueda T, Yokota T, Okuzaki D et al.	血液・腫瘍内科	Endothelial Cell-Selective Adhesion Molecule Contributes to the Development of Definitive Hematopoiesis in the Fetal Liver	Stem Cell Reports, 2019 Dec; 13(6): 992-1005	Original Article	31813828
46	Ueda T, Jo T, Okada K et al.	血液・腫瘍内科	Curative potential of fludarabine, melphalan, and non-myeloablative dosage of busulfan in elderly patients with myeloid malignancy	Int J Hematol, 2020 Feb; 111(2):247-255/Epub 2019 Nov	Original Article	31701479
47	Akuta K, Kiyomizu K, Kashiwagi H et al.	血液・腫瘍内科	Knock-in mice bearing constitutively active α IIb(R990W) mutation develop macrothrombocytopenia with severe platelet dysfunction	J Thromb Haemos. 2019 Nov.	Original Article	31691484

48	Ozawa T, Fuji S, Kawashima I et al.	血液・腫瘍内科	Azacitidine as salvage therapy for relapsed acute myeloid leukemia / myelodysplastic syndrome after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Advance in Cell and Gene Therapy. 2019 Apr; e58:1-9	Original Article	不明
49	Nozaki K, Ezoe S, Hamaguchi M et al.	血液・腫瘍内科	Unexpected complication of R-CHOP chemotherapy: rapidly progressive bronchiolitis obliterans syndrome	Eur J Case Rep Intern Med . 2019 Oct 28;6(11):001266.	Case report	31890707
50	Nakai R, Fukuhara S, Maeshima AM et al.	血液・腫瘍内科	Alectinib, an anaplastic lymphoma kinase (ALK) inhibitor, as a bridge to allogeneic stem cell transplantation in a patient with ALK-positive anaplastic large-cell lymphoma refractory to chemotherapy and brentuximab vedotin.	Clin Case Rep, 2019 Nov; 7:2500-2504	Case report	31893088
51	Nagate, Y., Ezoe, S., Fujita, J. et al.	血液・腫瘍内科	Ectonucleotidase CD39 is highly expressed on ATLL cells and is responsible for their immunosuppressive function	Leukemia, 2020 Mar ; This article is published with open access	Original Article	32203145
52	Sugimoto K, Tabara Y, Ikegami H, et al.	老年・高血圧内科	Hyperglycemia in non-obese patients with type 2 diabetes is associated with low muscle mass: The Multicenter Study for Clarifying Evidence for Sarcopenia in Patients with Diabetes Mellitus.	J Diabetes Investig. 2019 Nov;10(6):1471-1479.	Original Article	31074209
53	Rakugi H, Ito S, Itoh H, et al.	老年・高血圧内科	Long-term Phase 3 Study of Esaxerenone as Mono or Combination Therapy With Other Antihypertensive Drugs in Patients With Essential Hypertension	Hypertens Res. 2019 Dec;42(12):1932-1941.	Original Article	31554937
54	Akasaka H, Yamamoto K, Rakugi H, et al.	老年・高血圧内科	Sex Difference in the Association Between Subtype Distribution and Age at Diagnosis in Patients With Primary Aldosteronism	Hypertension . 2019 Aug;74(2):368-374	Original Article	31230553
55	Oyama A, Takeda S, Ito Y, et al.	老年・高血圧内科	Novel Method for Rapid Assessment of Cognitive Impairment Using High-Performance Eye-Tracking Technology	Sci Rep . 2019 Sep 10;9(1):12932	Original Article	31506486

56	Takeda S, Rakugi H, Morishita R, et al.	老年・高血压内科	Roles of Vascular Risk Factors in the Pathogenesis of Dementia	Hypertens Res . 2020 Mar;43(3):162-167	Review	31723253
57	Nakamaru R, Okada M, Tanaka N, et al.	老年・高血压内科	Outcomes After Atrial Fibrillation Ablation in Patients With Premature Atrial Contractions Originating From Non-Pulmonary Veins	JACC Clin Electrophysiol . 2019 Nov;5(11):1319-1327	Original Article	31753439
58	Maeda S, Takeya Y, Oguro R, et al.	老年・高血压内科	Serum albumin/globulin Ratio Is Associated With Cognitive Function in Community-Dwelling Older People: The Septuagenarians, Octogenarians, Nonagenarians Investigation With Centenarians Study	Geriatr Gerontol Int . 2019 Oct;19(10):967-971.	Original Article	31461209
59	Nakagami H, Sugimoto K, Ishikawa T, et al.	老年・高血压内科	Investigator-initiated Clinical Study of a Functional Peptide, SR-0379, for Limb Ulcers of Patients With Werner Syndrome as a Pilot Study	Geriatr Gerontol Int . 2019 Nov;19(11):1118-1123	Original Article	31746528
60	Nakamaru R, Yamamoto K, Nozato S, et al.	老年・高血压内科	A Case of Primary Aldosteronism With Resistant Hypertension Successfully Treated by Unilateral Adrenalectomy After Unsuccessful Classification of Subtype in Adrenal Venous Sampling	Clin Case Rep . 2019 Aug 22;7(10):1895-1899	Case report	31624604
61	Sugimoto K, Rakugi H, Kojima T, et al.	老年・高血压内科	Chapter 4 Frailty and Specific Diseases	Geriatr Gerontol Int . 2020 Feb;20 Suppl 1:25-37.	Original Article	32050299
62	Tanaka M, Sugimoto K, Fujimoto T, et al.	老年・高血压内科	Preventive effects of low-intensity exercise on cancer cachexia-induced muscle atrophy.	FASEB J. 2019 Jul;33(7):7852-7862.	Original Article	30916585
63	Koriyama H, Ikeda Y, Nakagami H, et al.	老年・高血压内科	Development of an IL-17A DNA Vaccine to Treat Systemic Lupus Erythematosus in Mice	Vaccines (Basel) . 2020 Feb 12;8(1):83.	Original Article	32059488

64	Nozato Y, Takami Y, Yamamoto K, et al.	老年・高血圧内科	Novel Properties of Myoferlin in Glucose Metabolism via Pathways Involving Modulation of Adipose Functions	FASEB J . 2020 Feb;34(2):2792–2811.	Original Article	31912559
65	Isaka M, Sugimoto K, Yasunobe Y, et al	老年・高血圧内科	The Usefulness of an Alternative Diagnostic Method for Sarcopenia Using Thickness and Echo Intensity of Lower Leg Muscles in Older Males.	J Am Med Dir Assoc. 2019 Sep;20(9):1185.e1–1185.e8.	Original Article	30902675
66	Nakagami F, Yuasa K, Ohno M,	総合診療部	A Baseball Player With a Swollen Arm	Intern Med . 2020 Mar 19.	Original Article	32188807
67	Nakagami F, Yamamoto K, Hagiya H	総合診療部	Laryngeal Edema That Developed After Acute Myocardial Infarction	Intern Med . 2020 Mar 1;59(5):759–760.	Original Article	31708545
68	Masada K, Kuratani T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	The Double-Barreled Endografting Technique in a Patient With Chronic Type B Aortic Dissection	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Summer;31(2):183–186. doi: 10.1053/j.semtcvs.2018.08.006. Epub 2018 Sep 1.	Case Reports	30179674
69	Yajima S, Toda K, Tsukiya T, et al.	心臓血管外科	Three-dimensional simulation for left ventricular assist device implantation in a small patient with chest wall deformity	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Apr 1;55(4):788–789. doi: 10.1093/ejcts/ezy309.	Original Article	30189028
70	Masada K, Kuratani T, Shimamura K, et al.	心臓血管外科	Silent cerebral infarction after thoracic endovascular aortic repair: a magnetic resonance imaging study	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Jun 1;55(6):1071–1078. doi: 10.1093/ejcts/ezy449.	Original Article	30629169
71	Maeda K, Kuratani T, Yoshioka D, et al.	心臓血管外科	Predicting patient-prosthesis mismatch by aortic root evaluation before aortic valve replacement	J Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Jul;158(1):61–69.e4. doi: 10.1016/j.jtcvs.2018.11.103. Epub 2018 Dec 14.	Original Article	30685162

72	Saito S, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臓血管外科	Therapeutic hypothermia after global cerebral ischemia due to left ventricular assist device malfunction	J Artif Organs. 2019 Sep;22(3):246-248. doi: 10.1007/s10047-019-01099-2. Epub 2019 Mar 2.	Case Reports	30826998
73	Yokoyama J, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Surgery-first treatment improves clinical results in infective endocarditis complicated with disseminated intravascular coagulation	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Oct 1;56(4):785-792. doi: 10.1093/ejcts/ezz068.	Original Article	30932157
74	Sawa Y.	心臓血管外科	The ideal way to design clinical trials and establishment of evidence for human cellular and tissue-based products in Japan	J Tissue Eng Regen Med. 2019 Jun;13(6):905-907. doi: 10.1002/term.2852. Epub 2019 Apr 24.	Other	30938062
75	Yamamoto R, Miyagawa S, Toda K, et al.	心臓血管外科	Long-Term Outcome of Ischemic Cardiomyopathy After Autologous Myoblast Cell-Sheet Implantation	Ann Thorac Surg. 2019 Nov;108(5):e303-e306. doi: 10.1016/j.athoracsur.2019.03.028. Epub 2019 Apr 10.	Case Reports	30980822
76	Samura T, Yoshioka D, Asanoi H, et al.	心臓血管外科	Right Atrial Pressure Waveform Predicts Right Ventricular Failure After Left Ventricular Assist Device Implantation	Ann Thorac Surg. 2019 Nov;108(5):1361-1368. doi: 10.1016/j.athoracsur.2019.04.050. Epub 2019 Jun 5.	Original Article	31175868
77	Satoh A, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Formation of aortopulmonary collateral arteries during prolonged extracorporeal membrane oxygenation	Eur J Cardiothorac Surg. 2020 Jan 1;57(1):195. doi: 10.1093/ejcts/ezz239.	Original Article	31501861
78	Samura T, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科	Emergency valve surgery improves clinical results in patients with infective endocarditis complicated with acute cerebral infarction: analysis using propensity score matching	Eur J Cardiothorac Surg. 2019 Nov 1;56(5):942-949. doi: 10.1093/ejcts/ezz100.	Original Article	31502643
79	Domae K, Toda K, Matsuura R, et al.	心臓血管外科	Jarvik 2000 with postauricular cable as destination therapy: first clinical case in Japan	J Artif Organs. 2020 Mar;23(1):89-92. doi: 10.1007/s10047-019-01130-6. Epub 2019 Sep 13.	Case Reports	31515649

80	Toda K, Sawa Y., et al.	心臟血管外科	[Impella Implantation Technique for Surgeons]	Kyobu Geka. 2019 Sep;72(10):738–743.	Other	31582687
81	Kashiyama N, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臟血管外科	Left Ventricular Stroke Work Index Associated With Outcome After Mitral Valve Surgery for Functional Regurgitation in Nonischemic Dilated Cardiomyopathy	Semin Thorac Cardiovasc Surg. 2019 Oct 16;S1043–0679(19)30323–5. doi: 10.1053/j.semtcvs.2019.10.007. Online ahead of print.	Original Article	31628995
82	Kido T, Ueno T, Taira M, et al.	心臟血管外科	Clinical significance of right atrial volume in patients with repaired tetralogy of Fallot	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2020 Feb 1;30(2):296–302. doi: 10.1093/icvts/ivz254.	Original Article	31638655
83	Kainuma S, Toda K, Yoshikawa Y, et al.	心臟血管外科	Mediastinal tube caught in fused suprasternal ossicles	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2019 Jun 1;20(6):667. doi: 10.1093/ehjci/jev284.	Original Article	30668652
84	Yoshida S, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臟血管外科	Computational fluid dynamics visualizes turbulent flow in the aortic root of a patient under continuous-flow left ventricular assist device support	J Thorac Cardiovasc Surg. 2020 Mar;159(3):e205–e207. doi: 10.1016/j.jtcvs.2019.01.070. Epub 2019 Jan 31.	Case Reports	30824341
85	Yoshida S, Toda K, Miyagawa S, et al.	心臟血管外科	Impact of turbulent blood flow in the aortic root on de novo aortic insufficiency during continuous-flow left ventricular-assist device support	Artif Organs. 2020 Feb 21. doi: 10.1111/aor.13671. Online ahead of print.	Original Article	32080864
86	Shintani Y, Funaki S, Ose N, et al.	呼吸器外科	Preoperative variables for predicting prolonged air leak following pulmonary resection.	J Thorac Dis. / 2019 Sep	Original Article	31632777
87	Shintani Y, Funaki S, Ose N, et al.	呼吸器外科	Surgical approach for thymic epithelial tumor.	J Thorac Dis. /2019 Aug	Original Article	31559082

88	Shintani Y, Shimamura K, Funaki S, et al.	呼吸器外科	Combined Aortic Arch Resection for Lung Cancer Using Total Rerouting of Supra-Arch Vessels.	Ann Thorac Surg. /2019 Jun	Case report	30513316
89	Ose N, Minami M, Funaki S, et al.	呼吸器外科	Late-Onset Central Nervous System Posttransplant Lymphoproliferative Disorder After Lung Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. /2019 Nov	Case report	31619339
90	Kanzaki R, Kanou T, Ose N, et al.	呼吸器外科	Proposal of a Useful Surrogate Endpoint of the Overall Survival in Patients Undergoing Pulmonary Metastasectomy: The Time to Local Therapy Failure.	World J Surg./2019 Oct	Original Article	31243525
91	Kimura K, Kanzaki R, Kimura T, et al.	呼吸器外科	Long-Term Outcomes After Surgical Resection for Pleural Dissemination of Thymoma.	Ann Surg Oncol./2019 Jul	Original Article	30924019
92	Momozane T, Fukui E, Funaki S, et al.	呼吸器外科	Efficient differentiation of mouse induced pluripotent stem cells into alveolar epithelium type II with a BRD4 inhibitor	Stem Cells Int . 2019 Dec 27;2019	Original Article	31949433
93	Fukui E, Funaki S, Kimura K, et al.	呼吸器外科	Adipose Tissue-Derived Stem Cells Have the Ability to Differentiate into Alveolar Epithelial Cells and Ameliorate Lung Injury Caused by Elastase-Induced Emphysema in Mice	Stem Cells Int./2019 Jun	Original Article	31281377
94	Kunou H, Kanzaki R, Kawamura T, et al.	呼吸器外科	Two cases of air leak syndrome after bone marrow transplantation successfully treated by the pleural covering technique.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. /2019 Nov	Case report	30604238
95	Kunou H, Funaki S, Kimura K, et al.	呼吸器外科	Complete resection of local advanced thymic carcinoma combined with total aortic arch replacement following chemotherapy – a Case report	Surg Case Rep./2019 Dec	Case report	31832805

96	Yamamoto Y,Kanzaki R, Kanou T,et al.	呼吸器外科	Long-term outcomes and prognostic factors of pulmonary metastasectomy for osteosarcoma and soft tissue sarcoma	Int J Clin Oncol./2019 Jul	Original Article	30806840
97	Yamamoto Y,Kanzaki R, Kanou T,et al.	呼吸器外科	Long-term outcomes of pulmonary resection for lung cancer patients with chronic kidney disease	World J Surg./2019 Dec	Original Article	31485810
98	Nagoya A,Kanzaki R, Kanou T,et al.	呼吸器外科	Validation of Eurolung risk models in a Japanese population: a retrospective single-centre analysis of 612 cases.	Interact Cardiovasc Thorac Surg./2019 Nov	Original Article	31317181
99	Miyashita Y,Ikeda N, Hiraoka K	呼吸器外科	Primary undifferentiated pleomorphic sarcoma (Malignant fibrous histiocytoma) of the lung: A case report	Clinical Case report/2019 Nov	Case report	31998481
100	Omura A,Kanzaki R, Ike A,et al.	呼吸器外科	Thoracoscopic diaphragm repair using abdominal insufflation in a patient with hepatic hydrothorax.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. /2019 Nov	Case report	30927226
101	Yamasaki M. Maekawa Y., Sugimoto K. et al.	消化器外科	Development of a Geriatric Prognostic Scoring System for Predicting Survival After Surgery for Elderly Patients With Gastrointestinal Cancer	Ann Surg Oncol . 2019 Oct;26(11):3644–3651.	Original Article	31388777
102	Nishida N. Yamasaki M., Odagiri K. et al.	消化器外科	Combination Therapy With S-1, Oxaliplatin and Leucovorin in Patients With Advanced Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	In Vivo . Nov–Dec 2019;33(6):2249–2254.	Original Article	31662564
103	Makino T. Yamasaki M., Tanaka K. et al.	消化器外科	Metabolic Tumor Volume Change Predicts Long-term Survival and Histological Response to Preoperative Chemotherapy in Locally Advanced Esophageal Cancer.	Ann Surg . 2019 Dec;270(6):1090–1095.	Original Article	29727327

104	Miyazaki Y. Takiguchi S., Kurokawa Y. et al.	消化器外科	Endoscopy-assisted laparoscopic submucosal dissection for a duodenal epithelial tumor.	Asian J Endosc Surg . 2019 Oct;12(4):461-464.	Case report	30604563
105	Kanemura T. Miyata H., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Usefulness of intraoperative nerve monitoring in esophageal cancer surgery in predicting recurrent laryngeal nerve palsy and its severity.	Gen Thorac Cardiovasc Surg . 2019 Dec;67(12):1075-1080.	Original Article	30877647
106	Ushimaru Y. Nakajima K., Takahashi T. et al.	消化器外科	Occult hiatal hernia in achalasia patients: Its incidence and treatment options.	Dig Surg . 2019;36(5):418-425. (Issue release date: August 2019)	Original Article	30304727
107	Ushimaru Y. Takahashi T., Souma Y. et al.	消化器外科	Innovation in surgery/operating room driven by Internet of Things on medical devices	Surg Endosc . 2019 Oct;33(10):3469-3477.	Original Article	30671666
108	Hashimoto T. Kurokawa Y., Takahashi T. et al.	消化器外科	Predictive value of MLH1 and PD-L1 expression for prognosis and response to preoperative chemotherapy in gastric cancer	Gastric Cancer . 2019 Jul;22(4):785-792.	Original Article	30617648
109	Hashimoto T. Makino T., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Clinicopathological characteristics and survival of primary malignant melanoma of the esophagus	Oncol Lett . 2019 Aug;18(2):1872-1880.	Original Article	31423256
110	Hashimoto T. Kurokawa Y., Mikami J. et al.	消化器外科	Postoperative long-term outcomes in elderly patients with gastric cancer and risk factors for death from other diseases.	World J Surg. 2019 Nov;43(11):2885-2893.	Original Article	31388706
111	Kato R. Makino T., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Risk factors associated with increased drainage volumes of chest tubes after transthoracic esophagectomy for esophageal cancer.	Surg Today . 2019 Dec;49(12):1058-1065.	Original Article	31342160

112	Kato R. Nakajima K., Takahashi T. et al.	消化器外科	Validation of new Japanese classification system for esophageal achalasia.	Esophagus . 2019 Jul;16(3):252-257.	Original Article	30771041
113	Taniguchi Y. Kurokawa Y., Hagi T. et al.	消化器外科	Methylprednisolone Inhibits Tumor Growth and Peritoneal Seeding Induced by Surgical Stress and Postoperative Complications.	Ann Surg Oncol . 2019 Sep;26(9):2831-2838.	Original Article	31286307
114	Urakawa S. Yamasaki M., Goto K. et al.	消化器外科	Peri-operative monocyte count is a marker of poor prognosis in gastric cancer: increased monocytes are a characteristic of myeloid-derived suppressor cells.	Cancer Immunol Immunother . 2019 Aug;68(8):1341-1350.	Original Article	31324947
115	Gakuhara A. Miyazaki Y., Kurokawa Y. et al.	消化器外科	Performing laparoscopic sleeve gastrectomy in an obese patient with systemic lupus erythematosus undergoing long-term steroid therapy: a case report.	Surg Case Rep . 2019 Oct 29;5(1):161.	Case report	31664579
116	Hagi T. Makino T., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Dysphagia score as a predictor of adverse events due to triplet chemotherapy and oncological outcomes in 434 consecutive patients with esophageal cancer.	Ann Surg Oncol . 2019 Dec;26(13):4754-4764.	Original Article	31452051
117	Kobayashi T. Makino T., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Successful stenting followed by surgery for perforated esophageal cancer due to chemotherapy.	Ann Thorac Surg. 2019 Dec;108(6):e361-e363.	Case report	31102633
118	Ishida T. Makino T., Yamasaki M. et al.	消化器外科	Impact of measurement of skeletal muscle mass on clinical outcomes in patients with esophageal cancer undergoing esophagectomy after neoadjuvant	Surgery . 2019 Dec;166(6):1041-1047.	Original Article	31607486
119	Takeda M., Haraguchi N., Koseki J., et al.	消化器外科	Disruption of endolysosomal RAB5/7 efficiently eliminates colorectal cancer stem cells.	Cancer Res. 2019 Apr;79(7):1426-1437.	Original Article	30765602

120	Takeda M., Takahashi H., Haraguchi N., et al.	消化器外科	Factors predictive of high-output ileostomy: a retrospective single-center comparative study.	Surg Today. 2019 Jun;49(6):482-487.	Original Article	30594951
121	Matsumoto K., Takehiro Noda., Hidetoshi Eguchi., et al.	消化器外科	Atrophy of the Rectus Abdominis After Left-Side Donor Hepatectomy: Comparison of Upper Abdominal Midline vs Mercedes Incision.	Transplant Proc. 2019 Jun;51(5):1496-1501.	Original Article	31155182
122	Ueda Y., Kawamoto K., Konno M., et al.	消化器外科	Application of <i>C. elegans</i> cancer screening test for the detection of pancreatic tumor in genetically engineered mice.	Oncotarget. 2019 Sep;10(52):5412-5418.	Original Article	31534627
123	Kinoshita M., Asaoka T., Eguchi H., et al.	消化器外科	A case of intraductal papillary neoplasm of the bile duct that developed 38 years after choledochoduodenostomy with invasive adenocarcinoma and lymph node metastasis.	Surg Case Rep. 2019 Jun;5(1):93.	Case report	31175474
124	Fukuda Y., Asaoka T., Eguchi H., et al.	消化器外科	Endogenous CXCL9 affects prognosis by regulating tumor-infiltrating NK cells in intrahepatic cholangiocarcinoma.	Cancer Sci. 2020 Feb;111(2):323-333.	Original Article	31799781
125	Eguchi H., Takeda Y., Takahashi H., et al.	消化器外科	A prospective, open-label, multicenter phase 2 trial of neoadjuvant therapy using full-dose gemcitabine and S-1 concurrent with radiation for resectable pancreatic ductal adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2019 Dec;26(13):4498-4505.	Original Article	31440928
126	Eguchi H., Kawamoto K., Tsujiie M., et al.	消化器外科	A prospective, multi-center phase I study of postoperative enoxaparin treatment in patients undergoing curative hepatobiliary-pancreatic surgery for malignancies.	Dig Surg. 2020;37(1):81-86. (Issue release date: January 2020)	Original Article	31185468
127	Kobayashi S., Nagano H., Tomokuni A., et al	消化器外科	A Prospective, Randomized Phase II Study of Adjuvant Gemcitabine Versus S-1 After Major Hepatectomy for Biliary Tract Cancer (KHBO 1208): Kansai Hepato-Biliary Oncology Group.	Ann Surg. 2019 Aug;270(2):230-237.	Original Article	30339627

128	Tomimaru Y., Eguchi H., Wada H., et al.	消化器外科	Surgical Outcomes of Liver Resection Combined with Inferior Vena Cava Resection and Reconstruction with Artificial Vascular Graft.	Dig Surg. 2019;36(6):502-508. (Issue release date: October 2019)	Original Article	30253393
129	Fukuda Y., Asaoka T., Eguchi H., et al.	消化器外科	Laparoscopy-assisted extended right hepatectomy for giant hemorrhagic hepatic cyst mimicking biliary cystadenocarcinoma: a case report.	Surg Case Rep. 2019 Apr;5(1):58.	Case report	30977012
130	Matsushita K., Okuda T., Mori S., et al.	消化器外科	A Hydrogen Peroxide Activatable Gemcitabine Prodrug for the Selective Treatment of Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.	ChemMedChem. 2019 Aug;14(15):1384-1391.	Original Article	31207139
131	Okumura Y., Noda T., Eguchi H., et al.	消化器外科	Pure laparoscopic liver resection for giant liver hemangioma with extrahepatic growth based on preoperative 3-dimensional simulation: A case report.	Surg Case Rep. 2019 Apr;5(1):51.	Case report	30937826
132	Shinke G., Yamada D., Eguchi H., et al.	消化器外科	The postoperative peak number of leukocytes after hepatectomy is a significant prognostic factor for cholangiocarcinoma.	Mol Clin Oncol . 2019 May;10(5):531-540.	Original Article	31007913
133	Inagaki C., Maeda D., Kimura A., et al.	消化器外科	Gallbladder cancer harboring ERBB2 mutation on the primary and metastatic site: A case report.	World J Gastrointest Oncol. 2019 Sep;11(9):761-767.	Case report	31558980
134	Mizushima T., Ikeda M., Kato T. et al.	消化器外科	Postoperative XELOX therapy for patients with curatively resected high-risk stage II and stage III rectal cancer without preoperative chemoradiation: a prospective, multicenter, open-label, single-arm phase II study.	BMC Cancer. 2019 Sep;19(1):929	Original Article	31533662
135	Hata T., Ikeda M., Miyata H. et al.	消化器外科	Frequency and risk factors for venous thromboembolism after gastroenterological surgery based on the Japanese National Clinical Database (516 217 cases).	Ann Gastroenterol Surg. 2019 Jul;3(5):534-543	Original Article	31549013

136	Hata T., Yasui M., Ikeda M. et al.	消化器外科	Efficacy and safety of anticoagulant prophylaxis for prevention of postoperative venous thromboembolism in Japanese patients undergoing laparoscopic colorectal cancer surgery.	Ann Gastroenterol Surg. 2019 Jul;3(5):568-575	Original Article	31549017
137	Miyoshi N., Mizushima T., Doki Y. et al.	消化器外科	Biomarkers of cancer stem cells in cancer therapy	Biomarkers in Cancer Therapy 2019 Jul:51-59	Original Article	不明
138	Ogino T., Hata T., Kawada J. et al.	消化器外科	The Risk Factor of Anastomotic Hypoperfusion in Colorectal Surgery	Journal of Surgical Research 2019 Dec :244:265-271	Original Article	31302324
139	Kudo T., Takemasa I., Hata T. et al.	消化器外科	A Phase I Study of Neoadjuvant Capecitabine, Oxaliplatin, and Irinotecan (XELOXIRI) in Patients With Locally Advanced Rectal Cancer	Oncology. 2019;97(4):211-216 (Issue release date: October 2019)	Original Article	31266024
140	Fujino S., Ito A., Ohue M. et al.	消化器外科	Phenotypic heterogeneity of 2D organoid reflects clinical tumor characteristics	Biochemical and Biophysical Research Communications, 2019 May:513(2):332-339	Original Article	30955861
141	Fujino S., Miyoshi N.	消化器外科	Oct4 Gene Expression in Primary Colorectal Cancer Promotes Liver Metastasis	Stem Cells International 2019 May:Article 7896524 (Epub)	Original Article	31191684
142	Fujino S., Myoshi N., Saso K. et al.	消化器外科	The inflammation-nutrition score supports the prognostic prediction of the TNM stage for colorectal cancer patients after curative resection.	Surgery Today. 2019 Aug;50(2):163-170	Original Article	31414182
143	Iwamoto K., Takahashi H., Fujii M. et al.	消化器外科	Safety of Single-Site Laparoscopic Surgery Requiring Perioperative Heparinization in Colorectal Cancer: Propensity Score-Matched Analysis	Annals of Surgical Oncology. 2019 Dec:26(13):4390-4396	Original Article	31493124

144	Nomura M., Takahashi H., Fujii M. et al	消化器外科	Clinical significance of invasion distance relative to prognosis in pathological T3 colorectal cancer	Oncology Lettes. 2019 Sep; 18(5):5614-5620	Original Article	31620203
145	Ichikawa Y., Matsuda C, Mizushima T et al.	消化器外科	Safety of laparoscopic colorectal surgery in patients with ventriculoperitoneal shunt	Asian Journal of Endoscopic Surgery. 2019 Jul;12(3):264-268	Original Article	30133170
146	Ikeda A., Miyoshi N., Fujino S. et al.	消化器外科	A novel predictive nomogram for early endoscopic recurrence after intestinal resection for Crohn's disease	Digestion. 2019 Jan;100(4):269-279	Original Article	30602165
147	Morimoto Y., Takahashi H., Fujii et al.	消化器外科	Visceral obesity is a preoperative risk factor for postoperative ileus after surgery for colorectal cancer: Single-institution retrospective analysis	Annals of Gastroenterological Surgery. 2019 Nov;3(6):657-666	Original Article	31788654
148	Sasaki M., Miyoshi N., Fujino S. et al.	消化器外科	Development of Novel Prognostic Prediction Models including the Prognostic Nutritional Index for Patients with Colorectal Cancer after Curative Resection	Journal of the Anus, Rectum and Colon. 2019 Jul;3(3):106-115	Original Article	31583325
149	Watanabe Y., Miyoshi N., Fujino S. et al.	消化器外科	Cumulative Inflammation Could Be a Risk Factor for Intestinal Failure in Crohn's Disease	Dig Dis Sci. 2019 Aug;64(8):2280-2285	Original Article	30806860
150	Sekido Y., Yasumizu Y., Nishimura J. et al.	消化器外科	Innate Myeloid Cell Subset-Specific Gene Expression Patterns in the Human Colon are Altered in Crohn's Disease Patients.	Digestion. 2019;99(3):194-204 (Issue release date: April 2019)	Original Article	30343293
151	Hori A, Shimoda M, Naoi Y	乳腺内分泌外科	Vasculogenic mimicry is associated with trastuzumab resistance of HER2-positive breast cancer.	Breast Cancer Res . 2019 Aug 6;21(1):88.	Original Article	31387614

152	Shimazu K, Miyake T, Tanei T	乳腺内分泌外科	Real-time visualization of lymphatic flow to sentinel lymph nodes by contrast-enhanced ultrasonography with Sonazoid in patients with breast cancer.	Ultrasound in Medicine and Biology. 2019 Oct	Original Article	31371127
153	Shimazu K, Tanei T, Tamaki Y	乳腺内分泌外科	Performance of a new system using a one-step nucleic acid amplification assay for detecting lymph node metastases in breast cancer.	Med Oncol . 2019 May 6;36(6):54.	Original Article	31062258
154	Kusama H, Shimoda M, Miyake T	乳腺内分泌外科	Prognostic value of tumor cell DNA content determined by flow cytometry using formalin-fixed paraffin-embedded breast cancer tissues.	Breast Cancer Res Treat . 2019 Jul;176(1):75-85.	Original Article	30949799
155	Naoi Y, Saito Y, Kishi K,	乳腺内分泌外科	Development of recurrence risk score using 95 gene classifier and its application to formalin fixed paraffin embedded tissues in ER positive, HER2 negative and node negative breast cancer	Oncol Rep . 2019 Dec;42(6):2680-2685.	Original Article	31638234
156	Okuyama H, Saka R, Takama Y, et al.	小児外科	Thoracoscopic repair of esophageal atresia.	Surg Today . 2019 Oct 14..	Review	31612332
157	Matsumoto S, Yamamichi T, Shinzawa K, et al.	小児外科	GREB1 induced by Wnt signaling promotes development of hepatoblastoma by suppressing TGF β signaling.	2019 Aug 28;10(1):3882.	Original Article	31462641
158	Kodama T, Maeda A, Lo PC, et al.	小児外科	The effect of a novel immunosuppressive drug, a PAK-2 inhibitor, on macrophage differentiation/polarization in a rat small intestinal transplantation model.	Transpl Immunol . 2019 Dec;57:101246	Original Article	31526866
159	Noguchi Y, Maeda A, Lo PC, et al.	小児外科	Human TIGIT on porcine aortic endothelial cells suppresses xenogeneic macrophage-mediated cytotoxicity.	Immunobiology . 2019 Sep;224(5):605-613.	Original Article	31402149

160	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Serum Mac-2-binding protein (M2BPGi) as a marker of chronological liver fibrosis in biliary atresia patients with cirrhosis.	Pediatr Surg Int . 2019 Oct;35(10):1065-1070.	Original Article	31392502
161	Li B, Saka R, Takama Y, et al.	小児外科	Recombinant human soluble thrombomodulin reduces the severity and incidence of necrotizing enterocolitis in a newborn rat model.	Surg Today . 2019 Nov;49(11):971-976.	Original Article	31190184
162	Noguchi Y, Ueno T, Kodama T, et al.	小児外科	The effect of maternal grafts in early acute cellular rejection after pediatric living-donor liver transplantation.	Pediatr Surg Int . 2019 Jul;35(7):765-771.	Original Article	31111216
163	Lo PC, Maeda A, Kodama T, et al.	小児外科	The novel immunosuppressant prenylated quinolinecarboxylic acid-18 (PQA-18) suppresses macrophage differentiation and cytotoxicity in xenotransplantation.	Immunobiology . 2019 Jul;224(4):575-584.	Original Article	30967296
164	Ueno T, Kodama T, Noguchi Y, et al.	小児外科	Serum Mac-2-binding protein (M2BPGi) as a marker of chronological liver fibrosis in biliary atresia patients with cirrhosis.	Pediatr Surg Int . 2019 Oct;35(10):1065-1070.	Original Article	31392502
165	Nomura M, Rainusso N, Lee YC, et al.	小児外科	Tegavivint and the β -Catenin/ALDH Axis in Chemotherapy-Resistant and Metastatic Osteosarcoma.	J Natl Cancer Inst . 2019 Nov 1;111(11):1216-1227.	Original Article	30793158
166	Ohshima K, Nojima S, Tahara S, et al.	病理診断科	Serine racemase enhances growth of colorectal cancer by producing pyruvate from serine	Nat Metab . 2020 Jan;2(1):81-96.	Original Article	32694681
167	Tahara S, Nojima S, Ohshima K, et al.	病理診断科	Serum Deprivation-Response Protein Regulates Aldehyde Dehydrogenase 1 Through Integrin-Linked Kinase Signaling in Endometrioid Carcinoma Cells	Cancer Sci . 2019 May;110(5):1804-1813.	Original Article	30907484

168	Goto S, Maeda N, Noda T et al.	眼科	Comparison of composite and segmental methods for acquiring optical axial length with swept-source optical coherence tomography.	Sci Rep. 2020 Mar 11;10(1):4474	Original Article	32161358
169	Miki A, Kumoi M, Maeda N et al.	眼科	Transient changes in refractive error and corneal tomography after 24-h continuous monitoring of intraocular pressure patterns with a contact lens sensor.	Jpn J Ophthalmol. 2020 Mar;64(2):127-133.	Original Article	32056036
170	Fukushima Y, Kawasaki R, Sakaguchi H et al.	眼科	Characterization of the Progression Pattern in Retinopathy of Prematurity Subtypes.	Ophthalmol Retina. 2020 Mar;4(3):231-237.	Original Article	31982389
171	Mori Y, Hashida N, Asao K et al.	眼科	Chronological Observations of Iris Flocculi in a Japanese Family with Thoracic Aortic Aneurysm and Dissections.	Case Rep Ophthalmol. 2019 Nov 26;10(3):397-402.	Case report	31911781
172	Maruyama K, Sakaguchi H, Koh S et al.	眼科	Remarkable reduction of precipitates on intraocular lenses by oral macrolide antibiotics.	J Cataract Refract Surg. 2019 Dec;45(12):1835-1837.	Case report	31856999
173	Sakimoto S, Kawasaki R, Nishida K.	眼科	Retinal Neovascularization-Simulating Retinal Capillary Reperfusion in Branch Retinal Vein Occlusion, Imaged by Wide-Field Optical Coherence Tomography Angiography.	JAMA Ophthalmol. 2019 Dec 12.	Original Article	31830212
174	Koh S, Watanabe K, Nishida K.	眼科	Objective Evaluation Of On-Eye Optical Quality Of Daily Disposable Silicone Hydrogel Contact Lens With Internal Wetting Agents.	Clin Ophthalmol. 2019 Nov 5;13:2159-2165.	Original Article	31806929
175	Komoto S, Maruyama K, Hashida N et al.	眼科	Bilateral serous retinal detachment associated with subretinal fibrin-like material in a case of pregnancy-induced hypertension.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2019 Nov 9;16:100572.	Case report	31788578

176	Kitaguchi Y, Takahashi Y, Kakizaki H et al.	眼科	Impact of Canthal Height on Horizontal Upper Eyelid Peak Position: A Guide for Blepharoptosis Surgery.	J Craniofac Surg. 2020 Jan/Feb;31(1):138-141.	Original Article	31764562
177	Morimoto T, Kanda H, Hirota M et al.	眼科	Insufficient accommodation during binocular near viewing in eyes with intermittent exotropia.	Jpn J Ophthalmol. 2020 Jan;64(1):77-85.	Original Article	31707606
178	Sato S, Morimoto T, Hotta K et al.	眼科	Eleven-year follow-up of a Japanese retinitis pigmentosa patient with an HK1 gene mutation.	Ophthalmic Genet. 2019 Oct;40(5):466-469.	Case report	31621442
179	Koh S, Nishida K.	眼科	Acute Corneal Hydrops in Keratoconus With Atopic Dermatitis.	Mayo Clin Proc. 2019 Oct;94(10):2053.	Case report	31585583
180	Hara C, Wakabayashi T, Fukushima Y, Sayanagi K et al.	眼科	Tachyphylaxis during treatment of exudative age-related macular degeneration with aflibercept.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2019 Nov;257(11):2559-2569.	Original Article	31482277
181	Koh S, Inoue R, Ambrósio R Jr et al.	眼科	Correlation Between Corneal Biomechanical Indices and the Severity of Keratoconus.	Cornea. 2020 Feb;39(2):215-221.	Original Article	31478950
182	Shiozaki D, Sakimoto S, Shiraki A et al.	眼科	Observation of treated iris neovascularization by swept-source-based en-face anterior-segment optical coherence tomography angiography.	Sci Rep. 2019 Jul 16;9(1):10262.	Original Article	31311970
183	Kiritoshi S, Oie Y, Nampei K et al.	眼科	Anterior Segment Optical Coherence Tomography Angiography in Patients Following Cultivated Oral Mucosal Epithelial Transplantation.	Am J Ophthalmol. 2019 Dec;208:242-250.	Original Article	31449791

184	Ishibashi T, Sakimoto S, Shiraki N et al.	眼科	Association between disorganization of retinal inner layers and visual acuity after proliferative diabetic retinopathy surgery.	Sci Rep. 2019 Aug 22;9(1):12230.	Original Article	31439887
185	Nishiyama I, Oie Y, Matsushita K et al.	眼科	Transient extremely shallow anterior chamber caused by ciliochoroidal detachment in a patient with Mycobacterium chelonae keratitis.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2019 Aug 1;15:100530.	Case report	31417974
186	Soma T, Koh S, Maeda N et al.	眼科	NS Endo-Inserter: A New Graft Inserter for Descemet Stripping Automated Endothelial Keratoplasty.	Cornea. 2019 Nov;38 Suppl 1:S42-S44.	Others	31403531
187	Kitaguchi Y, Ishihara K, Nishida K.	眼科	Spontaneous resolution of euthyroid optic neuropathy.	Can J Ophthalmol. 2019 Aug;54(4):e188-e192.	Original Article	31358166
188	Hashida N, Asao K, Maruyama K et al.	眼科	Cornea Findings of Spectral Domain Anterior Segment Optical Coherence Tomography in Uveitic Eyes of Various Etiologies.	Cornea. 2019 Oct;38(10):1299-1304.	Original Article	31335529
189	Koh S, Inoue R, Sato S et al.	眼科	Quantification of accommodative response and visual performance in non-presbyopes wearing low-add contact lenses.	Cont Lens Anterior Eye. 2019 Jul 19. pii: S1367-0484(19)30015-3.	Original Article	31327577
190	Maeno S, Oie Y, Sunada A et al.	眼科	Successful medical management of Pythium insidiosum keratitis using a combination of minocycline, linezolid, and chloramphenicol.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2019 Jun 18;15:100498.	Case report	31289761
191	Fukushima Y, Tomimatsu T, Nishida K.	眼科	Fetal Ultrasound Image in Persistent Fetal Vasculature.	Ophthalmology. 2019 Jul;126(7):988.	Case report	31229010

192	Sayanagi K, Hara C, Fukushima Y et al.	眼科	Time course of swept-source optical coherence tomography angiography findings after photodynamic therapy and aflibercept in eyes with age-related macular degeneration.	Am J Ophthalmol Case Rep. 2019 Jun 1;15:100485.	Original Article	31198888
193	Koh S, Ambrósio R Jr, Inoue R et al.	眼科	Detection of Subclinical Corneal Ectasia Using Corneal Tomographic and Biomechanical Assessments in a Japanese Population.	J Refract Surg. 2019 Jun 1;35(6):383-390.	Original Article	31185104
194	Asao K, Hashida N, Ando S et al.	眼科	Conjunctival dysbiosis in mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	Sci Rep. 2019 Jun 10;9(1):8424.	Original Article	31182732
195	Endo T, Hozumi K, Hirota M et al.	眼科	The influence of visual field position induced by a retinal prosthesis simulator on mobility.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2019 Aug;257(8):1765-1770.	Original Article	31147839
196	Koh S, Haruna M, Asonuma S et al.	眼科	Quantitative evaluation of visual function in patients with cornea verticillata associated with Fabry disease.	Acta Ophthalmol. 2019 May 24.	Original Article	31127703
197	Miki A, Yasukura Y, Weinreb RN et al.	眼科	Dynamic Scheimpflug Ocular Biomechanical Parameters in Healthy and Medically Controlled Glaucoma Eyes.	J Glaucoma. 2019 Jul;28(7):588-592.	Original Article	31107723
198	Maeno S, Soma T, Tsujikawa M et al.	眼科	Efficacy of therapeutic soft contact lens in the management of gelatinous drop-like corneal dystrophy.	Br J Ophthalmol. 2019 Apr 25. pii: bjophthalmol-2018-313809.	Original Article	31023713
199	Shiraki A, Fukushima Y, Kawasaki R et al.	眼科	Retrospective Validation of the Postnatal Growth and Retinopathy of Prematurity (G-ROP) Criteria in a Japanese Cohort.	Am J Ophthalmol. 2019 Apr 4. pii: S0002-9394(19)30138-2.	Original Article	30954468

200	Oya R, Takenaka Y, Imai T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio and platelet-to-lymphocyte ratio as prognostic hematologic markers of Bell's palsy: A Meta-analysis	Otol Neurotol . 2019 Jun;40(5):681-687.	Review	31083100
201	Imai T, Okumura T, Sato T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effects of interval time of the epley maneuver on immediate reduction of positional nystagmus: A Randomized, Controlled, Non-blinded Clinical Trial	Frontiers in Neurology. 2019 Apr; 10: 304	Original Article	31019486
202	Maeda Y, Tsuda T, Takeda Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	SEMA4A promotes eosinophil survival and contributes to eosinophil-mediated allergic diseases	Allergol Int . 2019 Apr;68(2):274-276.	Letter	30342889
203	Hosokawa K, von LatoszekBB, Ferrer-Riesgo CA, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Acoustic breathiness index for the Japanese-speaking population: Validation study and exploration of affecting factors	Journal of Speech Lang Hear Res. 2019 Aug; 62: 2617-31	Original Article	31296106
204	Oya R, Horii A, Uno A, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Foreign bodies in the ear, nose, and throat in Japan: association with sociocultural and geographical conditions	Auris Nasus Larynx . 2019 Aug;46(4):618-623.	Original Article	30509554
205	Tanaka H, Tomiyama Y, Michiba T, et al. 2019	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Successful control of T4 and N3 human papillomavirus-related oropharyngeal squamous cell carcinoma after de-intensified chemoradiotherapy: Report of two cases	Oral Oncol. 2019 Oct; 97: 146-8	Case report	31444114
206	Kamakura T, Kitahara T, Kondo M, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Rat Model of Ménière's Attack: Intratympanic Injection of Potassium Chloride Produces Direction-Changing Spontaneous Nystagmus and Hearing Fluctuations	Audiol Neurotol. 2019; 24: 217-23 (Issue release date: November 2019)	Original Article	31522181
207	Imai T, Okumura T, Ohta Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Effects of cochlear implants on otolith function as evaluated by vestibulo-ocular reflex and vestibular evoked myogenic potentials	Auris Nasus Larynx. 2019 Dec; 46: 836-43	Original Article	31010711

208	Oya R, Imai T, Takenaka Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical significance of cervical and ocular vestibular evoked myogenic potentials in benign paroxysmal positional vertigo: a meta-analysis	Eur Arch Otorhinolaryngol . 2019 Dec;276(12):3257-3265.	Review	31605189
209	Kishikawa T, Maeda Y, Nii T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Metagenome-wide association study of gut microbiome revealed novel aetiology of rheumatoid arthritis in the Japanese population	Ann Rheum Dis. 2020 Jan; 79: 103-11	Original Article	31699813
210	Tsuda T, Nishide M, Maeda Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Pathological and Therapeutic Implications of Eosinophil-Derived Semaphorin 4D in Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis	J Allergy Clin Immunol. 2020 Mar; 145: 843-54	Original Article	32035658
211	Kishikawa T, Maeda Y, Nii T et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Response to: 'Can sexual dimorphism in rheumatoid arthritis be attributed to the different abundance of Gardnerella?' by Liu et al.	Ann Rheum Dis . 2020 Mar 25;annrheumdis-2020-217264.	Others	32213491
212	Jacob G, Shimomura K, Krych AJ, et al.	整形外科	A Review of Stem Cell Therapies.	Cells . 2019 Dec 30;9(1):92.	Review	31905968
213	Yokoi H, Take Y, Uchida R, et al.	整形外科	Vibration acceleration promotes endochondral formation during fracture healing through cellular chondrogenic differentiation.	PLoS One . 2020 Mar 5;15(3):e0229127.	Original Article	32134943
214	Hamamoto S, Chijimatsu R, Shimomura K, et al.	整形外科	Enhancement of chondrogenic differentiation supplemented by a novel small compound for chondrocyte-based tissue engineering.	J Exp Orthop . 2020 Mar 7;7(1):10.	Original Article	32146609
215	Outani H, Kakunaga S, Hamada K et al.	整形外科	Clinical Outcomes of Chondroblastoma Treated Using Synthetic Bone Substitute: Risk Factors for Developing Radiographic Joint Degeneration	World J Surg Oncol. 2020 Mar 2;18(1):47.	Original Article	32122388

216	Outani H, Kakunaga S, Hamada K et al.	整形外科	Favorable Outcomes of Localized Synovial Sarcoma Patients With a High Utilization Rate of Neoadjuvant and/or Adjuvant Chemotherapy	Mol Clin Oncol. 2019 Aug;11(2):151-156.	Original Article	31281649
217	Outani H, Nakamura T, Murata H et al.	整形外科	Localized Synovial Sarcoma: A Single Institutional Study of 191 Patients With a Minimum Follow-Up of 5 Years for Survivors	J Surg Oncol. 2019 Jun;119(7):850-855.	Original Article	30786036
218	Abe S, Otake Y, Tennma Y, et al.	整形外科	Analysis of forearm rotational motion using biplane fluoroscopic intensity-based 2D-3D matching.	J Biomech. 2019 May 24;89:128-133.	Original Article	31060811
219	Abe S, Oka K, Miyamura S, et al.	整形外科	Three-Dimensional In Vivo Analysis of Malunited Distal Radius Fractures With Restricted Forearm Rotation.	J Orthop Res. 2019 Sep;37(9):1881-1891.	Original Article	31038231
220	Miyamura S, Sakai T, Oka K, et al.	整形外科	Regional Distribution of Articular Cartilage Thickness in the Elbow Joint: A 3-Dimensional Study in Elderly Humans.	JB JS Open Access. 2019 Jul 31;4(3). pii: e0011.1-11.	Original Article	31592501
221	Miyamura S, Oka K, Sakai T, et al.	整形外科	Cartilage wear patterns in severe osteoarthritis of the trapeziometacarpal joint: a quantitative analysis.	Osteoarthritis Cartilage. 2019 Aug;27(8):1152-1162.	Original Article	30954554
222	Oka K, Murase T, Tanaka H, et al.	整形外科	The morphologic change of the elbow with flexion contracture in upper obstetric brachial plexus palsy.	J Shoulder Elbow Surg . 2019 Sep;28(9):1764-1770.	Original Article	31043347
223	Oka K, Tanaka H, Okada K, et al.	整形外科	Three-Dimensional Corrective Osteotomy for Malunited Fractures of the Upper Extremity Using Patient-Matched Instruments: A Prospective, Multicenter, Open-Label, Single-Arm Trial.	J Bone Joint Surg Am . 2019 Apr 17;101(8):710-721.	Original Article	30994589

224	Sayanagi J, Tanaka H, Ebara M, et al.	整形外科	Combination of Electrospun Nanofiber Sheet Incorporating Methylcobalamin and PGA-Collagen Tube for Treatment of a Sciatic Nerve Defect in a Rat Model.	J Bone Joint Surg Am. 2019 Oct 11. [Epub ahead of print]	Original Article	31609892
225	Shigi A, Oka K, Kuriyama K, et al.	整形外科	Three-dimensional analysis of displacement characteristics of dorsally angulated intra-articular distal radial fractures.	J Hand Surg Eur Vol. 2019 Nov 13;1753193419885265.	Original Article	31722638
226	Shigi A, Oka K, Tanaka H, et al.	整形外科	Validation of the registration accuracy of navigation-assisted arthroscopic débridement for elbow osteoarthritis.	J Shoulder Elbow Surg. 2019 Dec;28(12):2400-2408.	Original Article	31445788
227	Satoshi Miyamura, Toru Iwahashi, Junichi Sayanagi, et al.	整形外科	A Nanofiber Sheet Incorporating Vitamin B12 Promotes Nerve Regeneration in a Rat Neurotrophic Model	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2019 Dec 12;7(12):e2538.	Original Article	32537295
228	Satoshi Miyamura, Kohji Kuriyama, Kosuke Ebina, et al.	整形外科	Utility of Distal Forearm DXA as a Screening Tool for Primary Osteoporotic Fragility Fractures of the Distal Radius: A Case-Control Study	JB JS Open Access. 2020 Jan 6;5(1):e0036.	Original Article	32309758
229	Maeda Y, Nakamura N, Tsujimoto T, et al.	整形外科	Higher blood glucose and larger fluctuations detected postoperatively using continuous glucose monitoring: a preliminary study following total knee or hip arthroplasty.	J Exp Orthop. 2019 Apr 1;6(1):15	Original Article	30937670
230	Boughton OR, Uemura K, Tamura K, et al.	整形外科	Gender and Disease Severity Determine Proximal Femoral Morphology in Developmental Dysplasia of the Hip.	J Orthop Res. 2019 May;37(5):1123-1132	Original Article	30839114
231	Tanaka T, Takao M, Sakai T, et al.	整形外科	Variations in Sagittal and Coronal Stem Tilt and Their Impact on Prosthetic Impingement in Total Hip Arthroplasty.	Artif Organs. 2019 Jun;43(6):569-576	Original Article	30412266

232	Sato R, Takao M, Hamada H, et al.	整形外科	Clinical accuracy and precision of hip resurfacing arthroplasty using computed tomography-based navigation.	Int Orthop. 2019 Aug;43(8):1807-1814	Original Article	30135983
233	Maeda Y, Nakamura N, Takao M, et al.	整形外科	Risk of injury to the femoral blood vessels based on the extent of acetabular dysplasia in total hip arthroplasty.	J Artif Organs. 2019 Dec;22(4):324-329	Original Article	31278428
234	Uemura K, Boughton OR, Logishetty K, et al.	整形外科	A single-use, size-specific, nylon arthroplasty guide: a preliminary study for hip resurfacing.	Hip Int. 2020 Jan;30(1):71-77	Original Article	30947562
235	Ogawa T, Takao M, Otake Y, et al.	整形外科	Validation study of the CT-based cross-sectional evaluation of muscular atrophy and fatty degeneration around the pelvis and the femur.	J Orthop Sci. 2020 Jan;25(1):139-144	Original Article	30827700
236	Tsuda K, Takao M, Kim JH, et al.	整形外科	Asymptomatic deep venous thrombosis after elective hip surgery may be allowed to be left without thromboprophylaxis, minimum two-year follow-up.	J Arthroplasty. 2020 Feb;35(2):563-568	Original Article	31551160
237	Takahima K, Nakahara I, Uemura K, et al.	整形外科	Clinical outcomes of proximal femoral fractures treated with a novel carbon fiber-reinforced polyetheretherketone intramedullary nail.	Injury. 2020 Mar;51(3):678-682	Original Article	31959356
238	Tani T, Takao M, Uemura K, et al.	整形外科	Posterior Pelvic Tilt from Supine to Standing in Patients with Symptomatic Developmental Dysplasia of the Hip.	J Orthop Res. 2020 Mar;38(3):578-587	Original Article	31560403
239	Hamada H, Takao M, Ando W, et al.	整形外科	Incidence and determinants of antelexion impairment after rotational acetabular osteotomy.	J Orthop Res. 2020 Jan 28;10.1002/jor.24600. doi: 10.1002/jor.24600. [Epub ahead of print].	Original Article	31989697

240	Takashima K, Nakahara I, Uemura K, et al.	整形外科	Clinical outcomes of proximal femoral fractures treated with a novel carbon fiber-reinforced polyetheretherketone intramedullary nail.	Injury. 2020 Jan 8;S0020-1383(20)30007-3. doi: 10.1016/j.injury.2020.01.007. [Epub ahead of print]	Original Article	31959356
241	Tani T, Takao M, Uemura K et al.	整形外科	Posterior Pelvic Tilt From Supine to Standing in Patients With Symptomatic Developmental Dysplasia of the Hip.	J Orthop Res. 2019 Sep 27;10.1002/jor.24484. doi: 10.1002/jor.24484. [Epub ahead of print].	Original Article	31560403
242	Takao M, Abe H, Sakai T,	整形外科	Transitional changes in the incidence of hip osteonecrosis among renal transplant recipients.	J Orthop Sci. 2019 Jul 4;S0949-2658(19)30192-7. doi: 10.1016/j.jjos.2019.06.009. [Epub ahead of print]	Original Article	31280930
243	Maeda Y, Nakamura N, Takao M	整形外科	Risk of injury to the femoral blood vessels based on the extent of acetabular dysplasia in total hip arthroplasty.	J Artif Organs. 2019 Dec;22(4):324-329. doi: 10.1007/s10047-019-01116-4. Epub 2019 Jul 5	Original Article	31278428
244	Maeda D, Kubo T, Kiya K, et al	形成外科	Periostin Is Induced by IL-4/IL-13 in Dermal Fibroblasts and Promotes RhoA/ROCK Pathway-Mediated TGF- β 1 Secretion in Abnormal Scar Formation	J Plast Surg Hand Surg . 2019 Oct;53(5):288-294.	Original Article	31066603
245	Kiya K, Kubo T	形成外科	Neurovascular Interactions in Skin Wound Healing	Neurochem Int . 2019 May;125:144-150.	Review	30817939
246	Nakamori M, Panigrahi GB, Lanni S, et al.	神経内科・脳卒中科	A slipped-CAG DNA-binding small molecule induces trinucleotide-repeat contractions in vivo.	Nat Genet. 2020 Feb;52(2):146-159.	Original Article	32060489
247	Beck G, Singh A, Zhang J, et al.	神経内科・脳卒中科	Role of striatal Δ FosB in l-Dopa-induced dyskinesias of parkinsonian nonhuman primates.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2019 Sep 10;116(37):18664-18672.	Original Article	31455727

248	Ogawa K, Okuno T, Hosomichi K, et al.	神経内科・脳卒中科	Next-generation sequencing identifies contribution of both class I and II HLA genes on susceptibility of multiple sclerosis in Japanese.	J Neuroinflammation. 2019 Aug 5;16(1):162.	Original Article	31382992
249	Sakai R, Suzuki M, Ueyama M, et al.	神経内科・脳卒中科	E46K mutant α -synuclein is more degradation resistant and exhibits greater toxic effects than wild-type α -synuclein in Drosophila models of Parkinson's disease.	PLoS One. 2019 Jun 26;14(6):e0218261.	Original Article	31242217
250	Uehara T, Choong CJ, Nakamori M, et al.	神経内科・脳卒中科	Amido-bridged nucleic acid (AmNA)-modified antisense oligonucleotides targeting α -synuclein as a novel therapy for Parkinson's disease.	Sci Rep. 2019 May 21;9(1):7567.	Original Article	31110191
251	Kawano T, Shimamura M, Nakagami H, et al.	神経内科・脳卒中科	Temporal and spatial profile of polymorphonuclear myeloid-derived suppressor cells (PMN-MDSCs) in ischemic stroke in mice.	PLoS One. 2019 May 2;14(5):e0215482.	Original Article	31048856
252	Kakuda K, Ikenaka K, Araki K, et al.	神経内科・脳卒中科	Ultrasonication-based rapid amplification of α -synuclein aggregates in cerebrospinal fluid.	Sci Rep. 2019 Apr 12;9(1):6001.	Original Article	30979935
253	Todo K, Sakai N, Imamura H,	神経内科・脳卒中科	Successful Reperfusion with Endovascular Therapy Has Beneficial Effects on Long-Term Outcome Beyond 90 Days.	Cerebrovasc Dis. 2019;47(3-4):127-134. (Issue release date: July 2019)	Original Article	30965319
254	Aoki Y, Kazui H, Pascual-Marqui RD, et al.	神経科・精神科	EEG Resting-State Networks in Dementia with Lewy Bodies Associated with Clinical Symptoms	Neuropsychobiology 77 : 206-218, 2019 (Issue release date: April 2019)	Original Article	30654367
255	Aoki Y, Kazui H, Pascual-Marqui RD, et al.	神経科・精神科	EEG Resting-State Networks Responsible for Gait Disturbance Features in Idiopathic Normal Pressure Hydrocephalus.	Clin EEG Neurosci . 2019 May;50(3):210-218	Original Article	30417664

256	Itabashi R, Shigehatake Y, Yazawa Y, et al.	神経科・精神科	Phased changes in strategies can reduce delay of intravenous thrombolysis administration to 15 min	J Neurol Sci 403:59-64, 2019	Original Article	31226551
257	Takagaki M, Nakagawa T, Kawabata S et al	脳神経外科	Coil Embolization for a Cerebral Aneurysm in a Heart Transplantation Patient: A Case Report.	NMC Case Rep J. 2019 Dec 18;7(1):35-38.	Case report	31938680
258	Khoo HM, Fujita Y, Tani N et al	脳神経外科	Mystery Case: Parietal lobe epilepsy with ictal manifestation of Gerstmann syndrome.	Neurology. 2020 Jan 28;94(4):e430-e433.	Case report	31932514
259	Ohnishi YI, Nakajima N, Takenaka T et al	脳神経外科	Conservative and Surgical Management of Spinal Cord Cavernous Malformations.	World Neurosurg X. 2019 Nov 15;5:100066.	Original Article	31891154
260	Fukuma R, Yanagisawa T, Kinoshita M et al	脳神経外科	Prediction of IDH and TERT promoter mutations in low-grade glioma from magnetic resonance images using a convolutional neural network.	Sci Rep. 2019 Dec 30;9(1):20311.	Original Article	31889117
261	Ohnishi YI, Nakajima N, Fujiwara S et al	脳神経外科	A Sufficient Surgical Window for Deep-Seated Extracranial Schwannomas in the Craniocervical Junction by the Anterolateral Approach.	Neurospine. 2019 Nov 4. doi: 10.14245/ns.1938270.135.	Original Article	31694358
262	Umehara T, Arita H, Yoshioka E et al	脳神経外科	Distribution differences in prognostic copy number alteration profiles in IDH-wild-type glioblastoma cause survival discrepancies across cohorts.	Acta Neuropathol Commun. 2019 Jun 18;7(1):99.	Original Article	31215469
263	Kadono Y, Nakamura H, Saito S et al	脳神経外科	Endovascular treatment for large vessel occlusion stroke in patients with ventricular assist devices.	J Neurointerv Surg. 2019 Dec;11(12):1205-1209.	Original Article	31048456

264	Ozaki T, Nakamura H, Kishima H	脳神経外科	Therapeutic strategy against ischemic stroke with the concept of neurovascular unit.	Neurochem Int. 2019 Jun;126:246-251.	Original Article	30946849
265	Ozaki T, Muramatsu R, Nakamura H et al	脳神経外科	Proteomic analysis of protein changes in plasma by balloon test occlusion.	J Clin Neurosci. 2020 Feb;72:397-401.	Original Article	31875829
266	Ryuichiro Abe, Yukihiro Akeda, Noriko Sakamoto. et al.	麻酔科	Genomic characterisation of a novel plasmid carrying blaIMP-6 of carbapenem-resistant	Journal of global antimicrobial resistance. 2019 Oct; 15:21:195-199.	Original Article	31627024
267	Ryuichiro Abe, Hagiya Hideharu, Yukihiro Akeda. et al.	麻酔科	Bactericidal efficacy of meropenem in combination with cefmetazole against IMP-producing	BMC Research note. 2019 Nov 9;12(1):740.	Original Article	31706328
268	Mimura, K. Endo, M. Matsuoka, K. et al.	産科・婦人科	Prenatal findings of serpentine-like syndrome with congenital intrathoracic stomach: differential diagnosis from congenital diaphragmatic hernia	J Med Ultrason (2001). 2019 Apr; 46:263-266	Case report	30094766
269	Yagi, A. Ueda, Y. Ikeda, S. et al.	産科・婦人科	Evaluation of future cervical cancer risk in Japan, based on birth year	Vaccine. 2019 May; 37:2889-2891	Original Article	31027925
270	Yagi, A. Ueda, Y. Nakagawa, S. et al.	産科・婦人科	Relation between the number of board-certified gynecologic oncologists per hospital and survival of cervical cancer	J Obstet Gynaecol Res.. 2019 Jun; 45:1160-1166	Original Article	30843312
271	Ueda, Y. Kawana, K. Yanaiharu, N. et al.	産科・婦人科	Development and evaluation of a cervical cancer screening system in Cambodia: A collaborative project of the Cambodian Society of Gynecology and Obstetrics and Japan Society of Obstetrics and Gynecology	J Obstet Gynaecol Res. 2019 Jul;45:1260-1267	Original Article	30977232

272	Taniguchi, M. Ueda, Y. Yagi, A. et al.	産科・婦人科	Cervical cancer screening rate differs by HPV vaccination status: An interim analysis	Vaccine. 2019 Jul;37:4424-4426	Original Article	31272873
273	Furuya, K. Kumasawa, K. Nakamura, H. et al.	産科・婦人科	Endothelin-1 profiles in advanced maternal age complicated with hypertensive disorders of pregnancy	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Aug;516:941-944	Original Article	31272714
274	Nakamura, K. Sawada, K. Kobayashi, M. et al.	産科・婦人科	Role of the exosome in ovarian cancer progression and its potential as a therapeutic target	Cancers (Basel). 2019 Aug 10;11(8):1147.	Review	31405096
275	Tomimatsu, T. Mimura, K. Matsuzaki, S. et al.	産科・婦人科	Preeclampsia: maternal systemic vascular disorder caused by generalized endothelial dysfunction due to placental antiangiogenic factors	Int J Mol Sci. 2019 Aug 30;20(17):4246.	Review	31480243
276	Matsuzaki, S. Kakigano, A. Mimura, K. et al.	産科・婦人科	Letter to "Cervical varices unrelated to placenta previa as an unusual cause of antepartum hemorrhage: A case report and literature review": Successful management of postpartum hemorrhage due to cervical varix: Modified Matsubara Nelaton method using Bakri balloon	Taiwan J Obstet Gynecol. 2019 Sep;58:721-722	Case report	31542103
277	Yoshino, A. Kobayashi, E. Shiomi, M. et al.	産科・婦人科	A successful intraoperative diagnosis of coexisting lymphoma and endometrial cancer	World J Surg Oncol. 2019 Oct;17:166	Case report	31590673
278	Shiomi, M. Matsuzaki, S. Kobayashi, E. et al.	産科・婦人科	Endometrial carcinoma in a gravid uterus: A case report and literature review	BMC Pregnancy Childbirth. 2019 Nov;19:425	Review	31747899
279	Hara, T. Matsuzaki, S. Kakigano, A. et al.	産科・婦人科	A rare type of vasa previa	Clin Case Rep. 2019 Nov;7:2263-2264	Case report	31788297

280	Shimizu, A. Sawada, K. Shiomi, M. et al.	産科・婦人科	Direct oral anticoagulants are effective and safe for the treatment of venous thromboembolism associated with gynecological cancers	Int J Gynaecol Obstet. 2019 Nov;147:252-257	Original Article	31420876
281	Yamamoto, M. Sawada, K. Kimura, T.	産科・婦人科	Therapeutic potential of microRNAs in the regulation of cancer energy metabolism	Ann Transl Med. 2019 Dec;7:S292	Original Article	32016011
282	Matsuzaki, S. Jitsumori, M. Hara, T. et al.	産科・婦人科	Systematic review on the needle and suture types for uterine compression sutures: a literature review	BMC Surgery. 2019 Dec;19:196	Review	31842850
283	Matsuzaki, S. Okada, A. Endo, M. et al.	産科・婦人科	Horizontal cervix is a novel sign for predicting adhesions on the posterior extrauterine wall in cases of placenta previ	J Clin Med . 2019 Dec 4;8(12):2141.	Original Article	31817169
284	Takiuchi, T. Uematsu, S. Saji, F. et al.	産科・婦人科	Sperm preservation: A review on current methods and a unique approach	BJSTR. 2019 ; 23:17757-17760 (December, 2019.)	Review	不明
285	Tomimatsu, T. Mabuchi, S. Tsuboyama, T. et al.	産科・婦人科	Malignant transformation of uterine leiomyoma: suggested by clinical, imaging, histological, and genetic findings	Eur J Gynaecol Oncol. 2019 ; XL no.5:879-882 (2019-10-10)	Case report	不明
286	Nagase, Y. Matsuzaki, S. Kawanishi, Y. et al.	産科・婦人科	Efficacy of prophylactic antibiotics in Bakri intrauterine balloon placement: A single-center retrospective analysis and literature review	AJP Rep. 2020 Jan;10:e106-e112	Original Article	32206439
287	Masuda, T. Low, S. K. Akiyama, M. et al.	産科・婦人科	GWAS of five gynecologic diseases and cross-trait analysis in Japanese	Eur J Hum Genet. 2020 Jan;28:95-107	Original Article	31488892

288	Nagase, Y. Ueda, Y. Abe, H. et al.	産科・婦人科	Changing attitudes in Japan toward HPV vaccination: A 5-year follow-up survey of obstetricians and gynecologists regarding their current opinions about the HPV vaccine	Hum Vaccin Immunother. 2020 Jan; : 1-6	Original Article	31944155
289	Mimura, K. Endo, M. Takahashi, A. et al.	産科・婦人科	Successful management of fetal hemolytic disease due to strong anti-Rh17 with plasma exchange and intrauterine transfusion in a woman with the D-phenotype	Int J Hematol. 2020 Jan;111:149-154	Case report	31538326
290	Mimura, K. Endo, M. Matsuzaki, S. et al.	産科・婦人科	Persistent funic presentation due to velamentous cord insertion adjacent to the internal os but not vasa previa	Taiwan J Obstet Gynecol. 2020 Jan;59:167-168	Case report	32039791
291	Matsuzaki, S. Klar, M. Mikami, M. et al.	産科・婦人科	Management of stage IIB cervical cancer: An overview of the current evidence	Curr Oncol Rep. 2020 Feb;22:28	Review	32052204
292	Kobayashi, M. Sawada, K. Yoshimura, A. et al.	産科・婦人科	Clinical effects of switching from minodronate to denosumab treatment in patients with postmenopausal osteoporosis: a retrospective study	BMC Womens Health. 2020 Mar; 20:48	Original Article	32138724
293	Shimizu, A. Sawada, K. Kimura, T.	産科・婦人科	Pathophysiological role and potential therapeutic exploitation of exosomes in ovarian cancer	Cells . 2020 Mar 27;9(4):814.	Original Article	32230983
294	Ohata Y, Takeyari S, Nakano Y, et al.	小児科	Comprehensive genetic analyses using targeted next-generation sequencing and genotype-phenotype correlations in 53 Japanese patients with osteogenesis imperfecta.	Osteoporos Int . 2019 Nov;30(11):2333-2342.	Original Article	31363794
295	Kubota T, Adachi M, Kitaoka T, et al.	小児科	Clinical Practice Guidelines for Achondroplasia	Clin Pediatr Endocrinol . 2020;29(1):25-42. (2020/01/09)	Original Article	32029970

296	Yamamoto K, Kubota T, Takeyari S, et al.	小児科	Parental somatogonadal COL2A1 mosaicism contPediatric drug development in Japan: Current issues and perspectivesributes to intrafamilial recurrence in a family with type 2 collagenopathy.	Am J Med Genet A . 2020 Mar;182(3):454–460.	Original Article	31854518
297	Nawa N, Hirata K, Kawatani K, Nambara T, et al.	小児科	Elimination of protein aggregates prevents premature senescence in human trisomy 21 fibroblasts.	PLoS One . 2019 Jul 29;14(7):e0219592.	Original Article	31356639
298	Miyamura T, Moritake H, Nakayama H, et al.	小児科	Clinical and biological features of paediatric acute myeloid leukaemia (AML) with primary induction failure in the Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group AML–05 study.	Br J Haematol . 2019 Apr;185(2):284–288.	Original Article	30784060
299	Miyamura T, Kudo K, Tabuchi K, et al.	小児科	Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Pediatric Acute Myeloid Leukemia Patients With KMT2A Rearrangement; A Nationwide Retrospective Analysis in Japan	Leuk Res . 2019 Dec;87:106263.	Original Article	31707119
300	Miyamura T	小児科	Treatment strategy for infants with acute lymphoblastic leukemia.	Rinsho Ketsueki . 2019;60(9):1317–1323. (2019/10/08)	Original Article	31597858
301	Torigoe F, Ishida H, Ishii Y, Ishii R, et al.	小児科	Fetal echocardiographic prediction score for perinatal mortality of tricuspid valve malformation and Ebstein anomaly.	Ultrasound Obstet Gynecol . 2020 Feb;55(2):226–232.	Original Article	31008542
302	Masataka Kawamura, Ryoichi Imamura, Yuki Kobayashi, et al.	泌尿器科	Oral Administration of Si-Based Agent Attenuates Oxidative Stress and Ischemia–Reperfusion Injury in a Rat Model: A Novel Hydrogen Administration Method	Front Med (Lausanne) . 2020 Mar 20;7:95.	Original Article	32266279
303	Koji Hatano, Junichiro Tanaka, Yasutomo Nakai, et al.	泌尿器科	Utility of Index Lesion Volume Assessed by Multiparametric MRI Combined With Gleason Grade for Assessment of Lymph Node Involvement in Patients With High–Risk Prostate Cancer	Jpn J Clin Oncol . 2020 Mar 9;50(3):333–337.	Original Article	31829421

304	Kimura Y, Osuga K, Nagai K, et al.	放射線診断・IVR科	The efficacy of uterine artery embolization with gelatin sponge for retained products of conception with bleeding and future pregnancy outcomes	CVIR Endovasc. 2020 Feb 12;3(1):13 (オンライン)	Original Article	32052234
305	Fujiwara T, Watanabe Y, Tanaka H, et al.	放射線診断・IVR科	Silent susceptibility-weighted angiography to detect hemorrhagic lesions in the brain: a clinical and phantom study	Neuroradiology. 2020 Feb;62(2):205-209	Original Article	31696239
306	Fujiwara T, Watanabe Y, Tanaka H, et al.	放射線診断・IVR科	Quantitative susceptibility mapping (QSM) evaluation of infantile neuroaxonal dystrophy	BJR Case Rep. 2019 Feb 21;5(2):20180078 (オンライン)	Case report	31501698
307	Fukui H, Hori M, Fukuda Y, et al.	放射線診断・IVR科	Evaluation of fatty pancreas by proton density fat fraction using 3-T magnetic resonance imaging and its association with pancreatic cancer	Eur J Radiol. 2019 Sep;118:25-31	Original Article	31439250
308	Yanagawa M, Niioka H, Hata A, et al.	放射線診断・IVR科	Application of deep learning (3-dimensional convolutional neural network) for the prediction of pathological invasiveness in lung adenocarcinoma: A preliminary study	Medicine (Baltimore). 2019 Jun;98(25):e16119 (オンライン)	Original Article	31232960
309	Hata A, Yanagawa M, Honda O, et al.	放射線診断・IVR科	Ultra-low-dose chest computed tomography for interstitial lung disease using model-based iterative reconstruction with or without the lung setting	Medicine (Baltimore). 2019 May;98(22):e15936 (オンライン)	Original Article	31145365
310	Takahashi H, Watanabe Y, Tanaka H, et al.	放射線診断・IVR科	Quantifying the Severity of Parkinson Disease by Use of Dopaminergic Neuroimaging	AJR Am J Roentgenol. 2019 Apr 17:1-6	Original Article	30995093
311	Doi S, Kashiwagi N, Satou T, et al.	放射線診断・IVR科	Pittsburgh Compound-B Uptake in Meningioma With Histopathologic Correlation	Clin Nucl Med. 2019 Jul;44(7):587-588	Case report	31135517

312	Romanov V, Isohashi K, Alobthani G, et al.	核医学診療科	Evaluation of the total distribution volume of (18)F-FBPA in normal tissues of healthy volunteers by non-compartmental kinetic modeling	Ann Nucl Med . 2020 Mar;34(3):155-162	Original Article	31808134
313	Watabe T, Hatazawa J.	核医学診療科	Evaluation of Functional Connectivity in the Brain Using Positron Emission Tomography: A Mini-Review	Front Neurosci . 2019 Jul 26;13:775.	Review	31402852
314	Ooe K, Watabe T, Kamiya T, et al.	核医学診療科	Quantitative measurement of (219)Rn radioactivity in exhaled breath from patients with bone metastasis of castration-resistant prostate cancer treated with (223)RaCl2	EJNMMI Phys . 2019 Jul 26;6(1):13.	Original Article	31350633
315	Tatsumi M, Isohashi K, Matsunaga K, et al.	放射線部	Volumetric and texture analysis on FDG PET in evaluating and predicting treatment response and recurrence after chemotherapy in follicular lymphoma	Int J Clin Oncol . 2019 Oct;24(10):1292-1300	Original Article	31165310
316	Kato, H. Kanai, Y. Watabe, T. et al.	核医学診療科	Quantitative measurement of regional cerebral blood flow and oxygen metabolism in a rat model of cerebral hypoperfusion	Brain Res. 2019 Sep 15; 1719: 208-216	Original Article	31132338
317	Kato, H. Okuno, T. Isohashi, K. et al.	核医学診療科	Astrocyte metabolism in multiple sclerosis investigated by 1-C-11 acetate PET	J Cereb Blood Flow Metab. 2020 Mar 13: (オンライン)	Original Article	32169013
318	Ayano Watanabe, Naoya Inoue, Mikio Watanabe, et al.	臨床検査部	Increases of CD80 and CD86 Expression on Peripheral Blood Cells and Their Gene Polymorphisms in Autoimmune Thyroid Disease	Immunol Invest . 2020 Feb;49(1-2)	Original Article	31755324
319	Ryosuke Takegawa, Daijiro Kabata, Kentaro Shimizu et al.	高度救命救急センター	Serum albumin as a risk factor for death in patients with prolonged sepsis: An observational study	J Crit Care . 2019 Jun;51:139-144.	Original Article	30825787

320	Sanae Hosomi, Yoshihisa Koyama, Tadashi Watabe et al.	高度救命救急センター	Myeloid-Derived Suppressor Cells Infiltrate the Brain and Suppress Neuroinflammation in a Mouse Model of Focal Traumatic Brain Injury	Neuroscience . 2019 May 15;406:457-466.	Original Article	30880103
321	Ryosuke Takegawa, Tadahiko Shiozaki, Yoshihito Ogawa et al.	高度救命救急センター	Usefulness of cerebral rSO ₂ monitoring during CPR to predict the probability of return of spontaneous circulation	Resuscitation . 2019 Jun;139:201-207.	Original Article	31004721
322	Hiroshi Matsuura, Akinori Osuka, Tomoya Hirose et al.	高度救命救急センター	C1 Esterase Inhibitor Activity Is Reduced in the Acute Phase Following Burn Injury: A Prospective Observational Study	J Burn Care Res . 2019 Oct 16;40(6):893-899.	Original Article	31250897
323	Jotaro Tachino, Kouji Yamamoto, Kentaro Shimizu et al.	高度救命救急センター	Quick risk assessment profile (qRAP) is a prediction model for post-traumatic venous thromboembolism	Injury . 2019 Sep;50(9):1540-1544.	Original Article	31248583
324	Yusuke Katayama, Tetsuhisa Kitamura, Kosuke Kiyohara et al.	高度救命救急センター	Factors Associated With Posttraumatic Meningitis Among Traumatic Head Injury Patients: A Nationwide Study in Japan	Eur J Trauma Emerg Surg . 2019 Sep 3.	Original Article	31478074
325	Shunichiro Nakao, Yusuke Katayama, Tetsuhisa Kitamura et al.	高度救命救急センター	Epidemiological profile of emergency medical services in Japan: a population-based descriptive study in 2016	Acute Med Surg . 2020 Jan 30;7(1):e485.	Original Article	32015883
326	Tomoya Hirose, Tetsuhisa Kitamura, Yusuke Katayama et al.	高度救命救急センター	Impact of nighttime and weekends on outcomes of emergency trauma patients: A nationwide observational study in Japan	Medicine (Baltimore) . 2020 Jan;99(1):e18687.	Original Article	31895836
327	Nakae M, Yoshioka D, Toda K, et al.	心臓血管外科 (移植医療部)	Infective Endocarditis of Bovine Pericardial Patch in the Aortic Position in a Patient With Left Ventricular Assist Device	J Artif Organs. 2019 Dec;22(4):345-347.	Case report	31446512

328	Yusuke Yabuno *, Toshihiro Uchihashi *, Towa Sasakura et al.	齒科治療室	Clathrin heavy chain phosphorylated at T606 plays a role in proper cell division	Cell Cycle . 2019 Aug;18(16):1976-1994.	Original Article	31272276
329	R Kokado, H Hagiya, D Morii, et al.	感染制御部	Broad-spectrum Antibiotic Prescriptions Are Discontinued Unevenly Throughout the Week	J Hosp Infect. 2019 Apr;101(4):471-474.	Others	30423412
330	Ryohei Kokado, Hideharu Hagiya, Toshihiro Koyama, et al.	感染制御部	Antibiotic-associated Adverse Drug Events at a Japanese Academic Hospital	J Infect Chemother. 2019 May;25(5):392-395.	Others	30497807
331	Dohi, T. Nakatani, D. Inoue, K. et al.	循環器内科 (未来医療開発部)	Effect of Extensive Ablation on Recurrence in Patients with Persistent Atrial Fibrillation Treated with Pulmonary Vein Isolation (EARNEST-PVI) trial: Design and rationale	J Cardiol. 2019 Aug;74(2):164-168	Original Article	30853354
332	Wada S, Iida R, Torisawa, et al.	医療情報部	Extracting Symptom Names and Disease-Symptom Relationships from Web Texts Using a Multi-Column Convolutional Neural Network.	Stud Health Technol Inform. 2019 Aug 21;264:423-427.	Original Article	31437958
333	Takeda T, Zhang D, Wada S, et al.	医療情報部	The Acquisition of Structured Clinical Data from a Document-Based Electronic Medical Record System.	Stud Health Technol Inform. 2019 Aug 21;264:1600-1601	Original Article	31438251

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを計 333 件記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 「大阪大学医学部附属病院における倫理審査委員会標準業務手順書」において、倫理審査委員会の運営に必要な手続き等を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回（介入研究） 年12回（観察研究） （参考：臨床研究法にもとづく大阪大学臨床研究審査委員会は年12回）

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 審議事項、組織、手続き、指導及び勧告	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年9回
1. 阪大臨床研究講習会 研修の主な内容：臨床研究の監査・点検結果、臨床研究に関する国際認証 AAHRPP受審で知っておくべきことなど 実施回数：年4回（年6回を予定していたが、第5回、第6回はコロナ禍で中止となりDVD代講） 参加人数：1740名（医師含む）	

2. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修

研修の主な内容：

【講義1】事例から臨床研究の倫理を考える

【講義2】研究者が考える科学的な臨床研究とは

【講義3】臨床研究におけるデータの信頼性の確保

【講義4】臨床研究における利益相反管理

【グループワーキング】実際の審議資料で臨床研究の論点を議論する

【Q&A】事前に提出された質問事項等に関する見解等を参加者全員で議論する

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）

参加人数：36名（院外、医師含む）

3. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修（大阪国際がんセンター開催分）

研修の主な内容：

【講義1】がん臨床研究の被験者保護

【講義2】特定臨床研究の利益相反管理

【パネルディスカッション】その臨床研究は誰のため？ ～患者会・一般委員の視点～

【講義3】特定臨床研究の審査のポイント

【グループワーキング】模擬審査委員会 臨床研究法対象の特定臨床研究を対象にした模擬審査を行う

【講義4】がんゲノム医療

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）

参加人数：33名（院外、医師含む）

4. 臨床研究・治験従事者研修

研修の主な内容：研究者の注意すべきポイント、品質管理と保証、ワークショップ

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）

参加人数：25名（院外、医師含む）

5. 臨床研究・治験従事者研修（神戸大学開催分）

研修の主な内容：

【講義1】研究計画書作成の第一歩：プロトコル骨子、雛形、SPIRIT2013声明

【グループワーク1】サンプルサイズ設計

【講義2】臨床研究の倫理と実践

【グループワーク2】ランダム割付の方法論

【講義3】臨床研究の信頼性と落とし穴

【グループワーク】統計解析とそのまとめ方

振り返り 全体を通してのディスカッション

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）

参加人数：25名（院外、医師含む）

6. 第1回 阪大臨床研究ワークショップ

研修の主な内容：

【講義1】臨床課題（CQ）を研究課題（RQ）に構造化するお作法

【演習】臨床課題（CQ）から研究課題（RQ）をつくってみよう！

【講義2】特定臨床研究のプロトコル作成のポイント

【Q&A】日頃の臨床研究についての疑問にお答えします

実施回数：令和元年度実績 1回（240分）

参加人数：23名（医師含む）

（注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修を修了した専攻医を対象に、臨床医学系専門領域における専門医を取得し地域医療に貢献するとともに、幅広く活躍できる高度な医療人を育成することを目的に「阪大病院専門研修プログラム」を行っており、本院では全19の基本領域すべての基幹施設となっている。内科、外科領域では、内科専門医、外科専門医を取得したのち、継続してサブスペシャリティ専門医取得を目指すプログラムとなっている。同時に全領域とも、大阪・阪神間にある基幹病院を中心とする他プログラムの連携施設としても参加しており、阪大病院は強固かつ密な地域医療ネットワークの中心リーダーとして、教育病院の責任を果たしている。各領域のプログラムは様々なローテーションのパターンを準備しており、本人の興味や希望、ライフイベントに合わせたキャリア形成をサポートしていく体制を整えている。様々なローテーションパターンの中には、医学系研究科と密接に連携するコースも含んでおり、大学院に進学し臨床と直結した形で病態や治療に関する基礎研究を平行して行うこと、または専門医取得後に大学院に進学することを推奨しており、高い研究マインドを持った医師の養成を積極的に行っている。

また当院は高度急性期医療を扱う「特定機能病院」、高度先端技術の提供・開発・評価・教育を担う「臨床研究中核病院」「がんゲノム医療中核拠点病院」など様々な認定を受けている。高度な先端医療技術や臨床研究、臨床治験、再生医療、ゲノム医療、国際医療を行っており、移植や困難症例、危機状況への対応法を学ぶ機会が多く、関連するセミナーも日常的に開催されるなど、豊富な教育の機会を提供している。このような環境下、そして多彩なキャリアパスを備えたキャリア形成システムを通し、高度な臨床能力を持った専門医を多数養成している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	190 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
坂田 泰史	循環器内科	教授	25年	
猪阪 善隆	腎臓内科	教授	30年	
竹原 徹郎	消化器内科	教授	36年	
下村 伊一郎	内分泌・代謝内科	教授	31年	
武田 吉人	呼吸器内科	教授	33年	
熊ノ郷 淳	免疫内科	教授	29年	感染症内科 アレルギー科 リウマチ科
保仙 直毅	血液・腫瘍内科	教授	22年	
望月 秀樹	神経内科・脳卒中科	教授	33年	
樂木 宏実	老年・総合内科	教授	36年	
澤 芳樹	心臓血管外科	教授	40年	
新谷 康	呼吸器外科	教授	23年	
土岐 祐一郎	消化器外科	教授	35年	
島津 研三	乳腺・内分泌外科	教授	26年	
奥山 宏臣	小児外科	教授	36年	

西田 幸二	眼科	教授	32年
猪原 秀典	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科	教授	30年
田中 啓之	整形外科	特任教授	23年
藤本 学	皮膚科	教授	28年
久保 盾貴	形成外科	教授	24年
池田 学	神経科・精神科	教授	32年
貴島 晴彦	脳神経外科	教授	29年
藤野 裕士	麻酔科	教授	35年
木村 正	産科・婦人科	教授	35年
大藪 恵一	小児科	教授	36年
野々村 祝夫	泌尿器科	教授	27年
富山 憲幸	放射線診断・IVR科	教授	33年
藤野 裕士	集中治療部	教授	35年
森井 英一	病理部	教授	28年
樂木 宏実	総合診療科	教授	36年
嶋津 岳士	高度救命救急センター	教授	40年
日高 洋	臨床検査部	准教授	33年
望月 秀樹	リハビリテーション部	教授	33年
中神 太志	総合診療科	助教	19年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <p>【医療技術部】</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 医療技術部職員を対象に患者動作介助、AED操作、特定の疾患をテーマにした複数医療職からの発表、講師を招いてのスキルアップ講習会、各医療職領域におけるトピックス紹介、個人目標の達成度報告など・研修の期間・実施回数 毎月1回の開催を原則とし、令和元年度は10回開催。・研修の参加人数 令和元年度の年間延べ参加人数は827名 <p>【看護部】</p> <ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容 看護実践（スキンケア、ストマケア、感染対策、糖尿病看護、がん看護、老年看護、認知症ケア、家族支援）（キャリア開発研修）・研修の期間・実施回数 2019年7月～2020年1月 14回・研修の参加人数 のべ252名 <p>【未来医療開発部】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 阪大GCPセミナー 内容：治験を実施するための基礎的知識の習得を目的とするとともに、治験の現状と問題点、今後の方向性について内部、外部の講師が体系的に解説・説明する 期間・回数：平成31年4月～令和2年1月 全5回 17：30～19：00（75分の講演と15分間の質疑応答） 参加人数：延べ179人（院内 院外）（平均36人/回）（医師含む）2. 阪大臨床研究講習会 研修の主な内容：臨床研究の監査・点検結果、臨床研究に関する国際認証 AAHRPP受審で知っておくべきことなど 実施回数：年4回 （年6回を予定していたが、第5回、第6回はコロナ禍で中止となりDVD代講） 参加人数：1740名（医師含む）3. 阪大モニタリング講習会 研修の主な内容： 基本 モニタリングの概要 専門 モニタリングの実務 更新 規制とモニタリング動向

実施回数：令和1年度実績 座学2回、e-learning
参加人数：392名（院内 院外、医師含む）

4. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修 研修の主な内容：

- 【講義1】事例から臨床研究の倫理を考える
- 【講義2】研究者が考える科学的な臨床研究とは
- 【講義3】臨床研究におけるデータの信頼性の確保
- 【講義4】臨床研究における利益相反管理
- 【グループワーキング】実際の審議資料で臨床研究の論点を議論する
- 【Q&A】事前に提出された質問事項等に関する見解等を参加者全員で議論する

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）
参加人数：36名（院外、医師含む）

5. 倫理審査委員会・治験審査委員会委員養成研修（大阪国際がんセンター開催分） 研修の主な内容：

- 【講義1】がん臨床研究の被験者保護
- 【講義2】特定臨床研究の利益相反管理
- 【パネルディスカッション】その臨床研究は誰のため？ ～患者会・一般委員の視点～
- 【講義3】特定臨床研究の審査のポイント
- 【グループワーキング】模擬審査委員会 臨床研究法対象の特定臨床研究を対象にした模擬審査を行う
- 【講義4】がんゲノム医療

実施回数：令和元年度実績 1回（420分）
参加人数：33名（院外、医師含む）

6. 上級者臨床研究コーディネーター養成研修

実施回数：令和元年11月23日（土）10時～17時、11月24日（日）9時30分～16時30分
参加人数：22名（院外）

研修の主な内容：

1日目

- 【講義1】臨床研究に関する規制要件の動向と運用
- 【講義2】国際会議でのプレゼンテーション
- 【講義3】臨床研究における組織マネジメント
- 【講義4】臨床研究におけるプロジェクトマネジメントの本質と適用
ー医師主導治験を中心にー
- 【講義5】臨床研究チームのコーディネーション
- 【演習1】「臨床研究チームのコーディネーションについて対話する～例題と共に～」

2日目

- 【講義6】臨床研究環境～海外施設の支援体制～
- 【講義7】評価療養（患者申出療養・先進医療）と周辺制度、再生医療について
- 【講義8】ICの概念とその運用
- 【講義9】Data Integrityの概念と実施施設におけるデータマネジメント
- 【講義10】臨床研究関係者に対するコンサルテーションと教育
- 【演習2】組織力アップのために上級者CRCが取り組めること①研究倫理②組織マネジメント
・リーダーシップ③コンサルテーション・教育発表・全体討議

【栄養マネジメント部】

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

1) 大阪大学臨床栄養研究会 (CNC)

臨床栄養に関するテーマ

毎月1回 (8月、12月、3月以外)

2019年度 のべ362名

2) 栄養マネジメント部研修会 (食事・栄養に関するテーマ)

アイソカルサポトファイバーについて (2019/5/23) 10名

栄養部門における現状と課題について (全国国立大学栄養部門会議報告) (2019/6/19) 9名

リフィーディング症候群の栄養管理 大阪大学臨床栄養研究会講演準備 (2019/7/5) 9名

嘔門形成術後のダンピング症状に対してミルクの粘土調整が有効であったCHARGE症候群の一症例 (臨床栄養協会学術集会発表内容) (2019/8/22) 10名

グルセルナと血糖変動 (2019/9/18) 8名

糖原病について (2019/10/30) 8名

急性期病院のがん患者への栄養介入 (2019/11/28) 9名

食道癌周術期の栄養療法 (2019/11/29) 8名

乳糖果糖オリゴ糖と排泄について (2019/12/16) 7名

インスリンポンプ研修会 (1) (2020/1/30) 9名

インスリンポンプ研修会 (2) (2020/2/19) 9名

3) 国立私立大学医療技術関係職員研修 (栄養士)

2日間 (2019/10/2~10/4) 1回/年 1名

4) 国立大学病院栄養部門会議Practiceコース

2日間 (2019/11/7~11/8) 1回/年 1名

5) その他研修会 (食品衛生講習会、吹田保健所管内集団給食研修会、特定給食講演会など)
年数回、各数名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<p>【医療技術部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 新規導入機器、特定機能病院に必須の医療機器（①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器、⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置）、特に熟練を要する医療機器、OpenME、MRI研修などである。 ・研修の期間・実施回数 2019年度（4月～3月末） 新規導入機器（101回）、特定機能病院に必須の医療機器（77回）、特に熟練を要する医療機器（102回）、OpenME（36回）、MRI研修（4回）、合計320回 ・研修の参加人数 新規導入機器（902名）、特定機能病院に必須の医療機器（444名）、特に熟練を要する医療機器（249名）、OpenME（144名）、MRI研修（114名）、合計1853名 <p>【看護部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容 リーダーシップ、看護管理、人材育成、コスト管理、組織分析（キャリア開発研修） ・研修の期間・実施回数 2019年12月～2020年2月 7回 ・研修の参加人数 のべ117名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 土岐 祐一郎	
管理担当者氏名	総務課長 脇元 直彦 薬剤部長 奥田 真弘	医事課長 岩谷 好和 放射線部長 富山 憲幸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医事課
		看護記録	医事課
		検査所見記録	医事課
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医事課
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	<p>◆診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱い</p> <p>開示請求に基づき、診療記録のコピーを患者等に渡す場合は、患者からの請求に応じ、定められた手順に則り、当該患者の情報のみを印刷し渡すこととしている。</p> <p>電子カルテを病院外から閲覧することは基本的にはできないが、治験における治験依頼者による原資料の確認の際に、当該患者の記録のみ、患者の同意を得た上で、病院が提供する端末を用いて病院外の指定する場所から閲覧することを許可している。また、セキュアなネットワークを引いた一部の医療機関に対して、その医療機関と当院が共同して診療に当たっている患者について、患者の同意が得られた場合に、診療記録の一部の閲覧を可能としている。</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第三十二條	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課
		高度の医療の研修の実績	総務課
			パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。調剤数は薬剤部システムで管理。

		閲覧実績	総務課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
	掲げる事項 規則第一条の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医事課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部 医事課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
	第二項	院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
	第一号	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課 感染制御部
	第三号	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	に掲げる事項	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療技術部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療技術部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療技術部	

パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医事課
		医療安全管理部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医事課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医事課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	中央クオリティマネジメント部 医事課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医事課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	総務課長 脇元 直彦	
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 井内 章恵	
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係	
閲覧の手続の概要		
閲覧への希望が庶務係にあった場合に対応。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. 診療情報の共有 3. 医療安全に関する組織的取り組み 4. インシデントの報告 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者からの医療相談の実施 8. 医療安全情報の共有 9. 職員に対する教育研修 10. 医療安全文化の構築 11. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 12. 医療安全管理に関する指針の公開 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）</p> <p>・ 開催状況：年30回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 統括医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する 年11回 ・ リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する 年6回 ・ 医療クオリティ審議委員会：医療の質の向上を図る 年13回 ・ 医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う 年0回 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>「せん妄の診断と治療」</p> <p>「院内発症脳卒中への対応」</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>問題点の把握状況（方法）</p> <p>【各部署】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントをイントラネット（インシデントレポート、医療クオリティ審議依頼書）から報告（原則として当事者）するとともに、部署リスクマネジャーへ報告する。 <p>【リスクマネジメント委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデントレポートのモニタリング(毎日・当番制、要IDとパスワード) ・ 年1回以上の院内ラウンドにて現場の課題を把握 	

【医療クオリティ審議委員会】

- ・医療クオリティ審議依頼書への報告内容の把握

【中央クオリティマネジメント部】

- ・インシデントレポート、モニター報告や提出された医療クオリティ審議依頼書の内容をもとに、専任リスクマネジャーにより、事例に関する問い合わせ、現場の確認等を行う

問題点の分析状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にて事例の根本原因を分析

【リスクマネジメント委員会】

- ・当番委員によりインシデントの背景要因、予防可能性等を分析

【医療クオリティ審議委員会】

- ・委員会において、医療クオリティ審議依頼書、報告者および関係者からのヒアリング、多職種からなる委員の意見をもとにインシデントの背景因子を多角的に分析

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによりインシデント発生状況を把握し背景因子を多職種で分析

改善策の検討状況（方法）

【各部署・部門等】

- ・当該部署、部門等にてリスクマネジャーもしくは医療安全担当者が中心となり、改善策等を検討。必要に応じ、専任リスクマネジャーが介入。

【リスクマネジメント委員会】

- ・インシデントの要旨と解決すべき課題、再発防止策を提示
- ・インシデントを未然に防ぐための先行的対策について検討
- ・院内の他の委員会や他部門への検討や改善の申し入れ

【医療クオリティ審議委員会】

- ・審議依頼事例について、関係診療科・部門への再発防止策の検討や改善を指示
- ・各診療科・部門から提出された再発防止策について承認

【中央クオリティマネジメント部】

- ・専任リスクマネジャーによるインシデントに関する問い合わせ、現場の点検、改善の支援
- ・事故防止策を実行するために必要な業務の実施、他部門との連携協力
- ・リスクマネジャーメーリングリストによる情報提供
- ・院内ラウンド、院内相互チェックの実施計画
- ・リスクマネジャー会議（運営部会）の開催
- ・教育のための教材を作成・教育の実施
- ・リスクマネジメントニュースの作成・発行（警鐘事例等の共有）
- ・QM（クオリティマネジメント）ニュース（医療安全広報誌）の作成・発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：わが国の医学における診療、教育及び研究の発展に貢献するとともに、特定機能病院としての高度先進医療・未来医療の開発・実践を担い、同時に安全な医療を実現する使命を負っている。安全な医療の実現のためには医療関連感染対策の推進が不可欠であるとの認識を持ち、職員一人ひとりが、また各部局それぞれが、医療関連感染対策の推進に真摯に取り組むと同時に、病院全体が包括的に医療関連感染対策を行っていくものとする。このような医療関連感染対策を通して、患者本位の安心・安全な全人的医療を提供することのできる環境を整えるように努力し、その活動を基盤として、社会や地域医療にも貢献する</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会：</p> <p>①院内感染症の届出状況や抗菌薬の使用状況等の報告</p> <p>②院内感染対策についての審議 （感染対策の重要事項に関すること、必要に応じての指導助言に関すること、院内感染防止対策の施設基準に関すること等）</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 40 回
<p>・ 全職員 2回/年 第1回「薬剤耐性菌と抗菌薬について・手指衛生」 第2回「手指衛生のエビデンスと抗菌薬の暗黒面」</p> <p>・ 新採用者（医師、研修医、看護師）-院内感染対策の基本についての講義と演習（5回）</p> <p>・ 感染管理リンクナース、感染制御部運営委員に対する感染制御活動の報告、研修（10回）</p> <p>・ 部署単位での勉強会-耐性菌対策、抗菌薬の適正使用など部署の問題に応じた内容（15回）</p> <p>・ 外部委託業者（清掃員、洗浄員、受付、メッセンジャーなど）インフルエンザ対策（1回） 別途オンライン開催</p> <p>・ 地域連携（吹田保健所管内医療機関連絡会議、吹田保健所管内の高齢者施設支援）において医療関連感染対策の研修（7回） オンライン開催、研修資料の提供を含む</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ICTラウンド（週1回環境ラウンド、随時感染対策ラウンド）
感染管理に視点における環境管理状況の確認を年間通して部署のラウンドを実施
 - 耐性菌検出システム（ICTWeb®）を使用して、薬剤耐性菌検出状況を毎日監視し、感染対策の実施状況を確認。また、海外渡航歴や治療歴のある方の中でリスクのある方は、耐性菌スクリーニングを実施
 - サーベイランス
耐性菌サーベイランスを元にした介入（MRSA、MDRP、ESBL産生株など）
デバイスサーベイランス実施部署：ICU（VAE）、救命救急センター：（UTI）、東10、西10階病棟（CLABSI）
手術部位感染サーベイランス 実施部署：消化器外科
 - 抗菌薬適正使用に向けての活動
 - ・ 投薬開始4日目を目途に適正使用について検討する
 - ・ 8日以上継続使用には、抗菌薬継続使用届の追加届出を必要とする
 - ・ 対象患者のリストアップは専任薬剤師によって行う
 - 感染症治療コンサルテーション、感染制御コンサルテーションの実施
 - 手指衛生啓発の強化（医療者、患者家族への啓発）
 - COVID-19診療における感染対策の強化

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和元年6月20日 第1回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「規制医薬品の安全管理」～麻薬を中心に～ 参加者：92人 2. 令和元年10月9日 第2回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「注射剤混合調製時の注意点」 参加者：64人 3. 令和元年11月11日 第1回医薬品安全管理講習会 「簡易懸濁法について」 参加者：3,224人 4. 令和2年2月19日 第3回医薬品安全講習会（阪大病院フォーラム） 「妊娠と薬外来の紹介」 参加者：52人 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 （有・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 医薬品安全業務手順書の策定・見直し 令和2年3月4日 令和元年度第3回医薬品安全管理委員会にて改訂案が審議され、主として以下の項目の改訂が承認された。 「調剤薬の病棟・各部門への供給」における1回量包装（unit dose package）の項目を削除。 「患者情報の収集・管理・活用」において、副作用情報や禁忌・アレルギー情報の電子カルテへの登録方法や、「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度」に関する項目を追記。 ➢ 従業者に対する医薬品安全使用のための研修企画・実施 年4回、上記の通り実施。 ➢ 業務手順書に基づく業務実施の確認・記録 毎年6月に、各部署の医薬品安全管理者（リスクマネジャー）に対して、手順書に基づいて業務が実施されているかについて、手順書の各章の項目別に、アンケート調査方式にて遵守状況確認を実施。 ➢ 医薬品の安全使用のための情報収集その他改善方策 下記の通り実施。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 未承認医薬品：0件 ➢ 適応外：38件（新型コロナウイルス感染症に対するカレトラ、アビガン、アクテムラの使用等） ➢ 禁忌：11件（切迫流産に対するインドメタシンの使用、小児感染症に対するレボフロキサシンの使用、てんかん合併の進行性多巣性白質脳症に対するメフロキンの使用等） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ➢ Drug Information Newsを月1回程度発行し、用法/用量・効能/効果の変更、医薬品・医療機器等安全性情報、各種医薬品の適正使用に関するお知らせを全部署に配布して周知。 ➢ 医薬品に関する通知を発行し、採用情報、新規採用薬の添付文書等について全部署に配布して周知。 ➢ 2019年4月19日より、「免疫抑制・化学療法によるB型肝炎再活性化予防のためのチェックシステム」の運用を開始した。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	320回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 機器の有用性、機器の安全性、機器の動作、機器の操作、機器の故障対策、機器の点検説明、使用に関する法令順守など 研修の内訳 1. 新規導入機器（101回）、2. 特定機能病院に必須の医療機器の安全使用研修（77回） 3. 特に熟練を要する医療機器（102回）、4. OpenME（36回）、5. MRI安全使用研修（4回） 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 （有・無） <ul style="list-style-type: none"> ①人工心肺装置、②人工呼吸器、③血液浄化装置、④除細導装置、⑤閉鎖式保育器については、臨床工学部で計画を立て、それに則って臨床工学技士ならびにメーカーによる保守点検を実施している。 ⑥診療用高エネルギー放射線発生装置、⑧診療用放射線照射装置、⑨その他保守点検が必要と考えられる医療機器については、放射線部ならびに関係部署で計画を立てて、それに則って臨床工学士ならびに委託業者による保守点検を実施している。 ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： 放射線医療機器は全てメーカーとの定期点検契約。 臨床工学部が担う医療機器の一部が院内点検に該当する。 【点検内容】 安全点検、電気的安全点検、器械的安全点検、予防保全、予防保全の部品交換、予防保全の調整、予防保全の動作点検、動作値の確認、品質点検、イメージクオリティの点検、装置全般の機能点検、ソフトウェア点検など 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有・無） <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者やPMDAから提供される医療安全情報、厚生労働省が発行する「医薬・医療機器安全情報」などから一元的に収集する。 病院運営会議と医療機器安全委員会で報告、阪大フォーラムやリスクマネージャ会議での啓発やリスクマネージャのメーリングリストを通じて周知を図っている。 年6回の会議にて、保守点検および医療機器安全使用研修の進捗状況の把握ならびに医療機器安全情報の共有を図り常に連携をとっている。 ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： 「大阪大学医学部附属病院における医療機器安全のための指針」の策定 定期安全使用研修のためのe-learningの作成 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格 (医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>本院における医療に係る安全管理について統括するため、統括医療安全管理委員会を設置しており、医療安全担当の副院長(医療安全管理責任者)が同委員会の委員長となっている。同委員会にリスクマネジメント委員会及び医療クオリティ審議委員会(医療安全管理部門である中央クオリティマネジメント部が主管)、医薬品安全管理委員会(医薬品安全管理責任者である薬剤部長が委員長)、医療機器安全管理委員会(医療技術部長が委員長(医療機器安全管理責任者は医療技術部副部長)を置き、統括医療安全管理委員会委員長(医療安全管理責任者)が統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(11名)
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 医薬品使用状況を確認し、必要に応じて、院内会議で報告。 ➤ 薬品情報管理室にて添付文書、IF等の各種情報について、ファイリングして管理、書籍等の管理。 ➤ 添付文書情報について、電子カルテ端末から閲覧できるように整理。 ➤ 緊急安全性情報等、各種情報についてイントラネットにて情報提供。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 病棟薬剤師による処方監査、調剤時に処方した医薬品が未承認等に該当するか否か情報収集し、必要性等検討し、処方変更等も提案。 ➤ 薬剤師が握したものは、適宜処方医、主治医等に文献等の提出を依頼。必要に応じて、未承認新規医薬品等診療審査部への申請を依頼し、審査部でリスク検討、処方の妥当性等を確認。 ➤ 薬品情報管理室にて、未承認新規医薬品等診療審査部の事務局も担当し、医薬品に関する情報収集を行う。 <p>・担当者の指名の有無 (有・無)</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>(所属：薬剤部(薬品情報管理室)，職種 薬剤師 1名)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p> <p>(所属： ， 職種) (所属： ， 職種)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：定期的に各診療科・各中央診療施設のインフォームド・コンセントの実施状況を確認する。適切でない事例が認められる場合は、必要な指導を行うとともに当該事例を院内に周知する。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療情報管理士が毎日、退院時サマリの確認を実施し、修正依頼は適宜対応している。月に一度、手術記録、カウンターサインの確認を実施し、作成状況や督促を各診療科の病歴管理委員宛に通知している。ピアレビューは3か月に一度、医師4人が自科他科のカルテを監査し、結果を該当診療科へ通知。年間の結果は、病歴管理委員会で資料を配布し、周知を図っている。インフォームドコンセントについても、診療情報管理士がカルテ記載内容を確認し、一年で全診療科一巡。結果はインフォームドコンセント委員会で報告している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（9）名、専任（0）名、兼任（2）名 うち医師：専従（5）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントの調査・分析・レポート管理、及びカンファレンスの開催 2. 医療事故防止方策の検討・実施・評価 3. リスクマネジャー会議の開催 4. 職員研修の企画・実施 5. 医療安全推進及び教育のための教材の開発・活用 6. 現場のリスクマネジャーの支援、連絡調整、院内ラウンドの実施 7. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整 8. リスクマネジメント委員会等の開催準備及び支援 9. 患者相談窓口等の担当者との連携、医療安全に係る患者及び家族等への対応支援 10. 全死亡症例の把握・検証 11. 医療の質・安全に関するモニタリング 12. 高難度新規医療技術および未承認新規医薬品を用いた医療の導入に係る委員会への参画 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p> <p>令和2年10月1日現在の医療安全に資するモニタリング項目は以下の8つであり、リスクマネジメント委員会および病院運営会議で報告を行っている：1. 手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率 2. 手術あり患者の肺塞栓症の発生率 3. 手術安全チェックリスト使用率 4. 初回抗がん剤導入前のHBVスクリーニング実施率 5. 内視鏡治療例での気道確保困難チェックリスト使用率 6. 2週間以内の退院サマリ作成率 7. 臨床工学部から貸し出した人工呼吸器の日常点検実施率 8. 病理検査及び画像検査における重要所見ToDoの翌月までの消去率</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（5件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無） ・活動の主な内容： 診療科長から高難度新規医療技術を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認を行うとともに、高難度新規医療技術評価委員会に、当該高難度新規医療技術を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。 また、定期的及び術後に患者が死亡した場合など必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療録等の確認や従事者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。</p>	

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (27 件)、及び許可件数 (27 件)
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (有 ・ 無)
- ・ 活動の主な内容 :
業務内容としては、診療科長から未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の申請が行われた場合、申請内容の確認をするとともに、未承認新規医薬品等診療評価委員会に、当該未承認新規医薬品等を用いた診療の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ適否を決定する。また定期的及び術後に患者が死亡した場合など必要に応じて当該医療の提供が適正な手続きで行われていたか、診療録等の確認や従業者の遵守状況の確認を行い、病院長に報告する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況 : 年 232 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況 : 年 50 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

【院内死亡症例】

院内死亡症例は全例、診療科内で検証され、その結果は院内死亡症例報告書に入力される。医療クオリティ審議委員会での検証が必要と判断されれば、医療クオリティ審議依頼書を提出する。

また、診療科とは独立して中央クオリティマネジメント部でも毎週、多職種で全死亡症例を把握・検証している。診療科長および中央クオリティマネジメント部部長の確認結果を医療クオリティ審議委員会において医療安全管理責任者に報告する。医療安全管理責任者は病院運営会議において管理者に報告する。平成 28 年 9 月 20 日より運用を開始している。

【管理者が定める水準以上の事象】

平成 14 年から全国立大学医学部附属病院で使用している影響レベルのうちレベル 3 b 以上は管理者が定める水準以上の事象として、月 1 回開催される医療クオリティ審議委員会において医療クオリティ審議依頼書で報告のあった事象の事実関係の調査・把握を行い、報告された事象が、医療事故か否かを判断する。また、日本医療機能評価機構、及び医療事故調査制度に伴う報告事例が審議する。その後、病院運営会議、統括医療安全管理委員会で報告される。

事故と判断された場合には、速やかに医療事故対策委員会を立ち上げて、患者や家族等及び医療事故を起こした当事者や部署に対して、必要な支援を行う。医療事故に関して、情報収集・統合、分析、意思決定、関係機関への報告、院内外への公表を行う。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名 : 岡山大学病院) ・ 無)
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名 : 鳥取大学医学部附属病院) ・ 無)
- ・ 技術的助言の実施状況

年間約 4,500 件のインシデントのうち、40~45%が医薬品に関することから、薬剤師 GRM 2 名体制が望ましいのではないかと意見をいただき、令和 2 年 4 月以降 2 名体制としました。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者及びその家族からの医療に関する相談・ご意見に対して、その内容の迅速な解決のために適切な処理を行うことを目的とした患者相談室を設置している。病院長は、相談等の内容が本院の医療安全管理体制確保に有益であると認められるときは、関係部署及び関係委員会に対して検討及び改善を指示することができる。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

リスクマネジメント講習会にて、特定機能病院としての高度な医療を提供するために必要な知識について研修を行った。

平成 28 年度医療法改正に関する研修は 11 月 28 日リスクマネジメント講習会で教育した。平成 30 年度改正に関しては、令和元年度 6 月に実施した。これらはその後、eラーニングシステムにアップロードしており、いつでも学習可能な状況にある。

また、これまでの監査委員会では研修対象に該当する事項を指摘されていない。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施常況

・研修の実施状況

【管理者】

令和元年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 月 7 日受講済

令和 2 年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 1 月 2 日受講予定

【医療安全管理責任者】

令和元年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 月 7 日受講済

令和 2 年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 1 月 1 1 日受講予定

【医薬品安全管理責任者】

令和元年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和元年 1 0 月 1 1 日受講済

令和 2 年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 1 月 2 5 日受講予定

【医療機器安全管理責任者】

令和元年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和元年 1 2 月 1 6 日受講済

令和 2 年度特定機能病院管理者研修 (主催: 公益財団法人日本医療機能評価機構)

⇒令和 2 年 1 2 月 1 0 日受講予定

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1

日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>下記のとおり定めました。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。 (2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。 (3) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。 (4) 大阪大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
金田 安史	大阪大学理事 (共創、病院担当)	○	病院運営を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
鈴木 敏之	大阪大学理事 (人事労務、 事務組織担当)		人事労務を担当する理事 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
森井 英一	大阪大学大学院 医学系研究科長		医学系研究科長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
木村 正	大阪大学医学部 附属病院長		医学部附属病院長 (役職指定)	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会会長		医学又は医療に関し識見を有する者 一般社団法人大阪府医師会会長として、 マネジメントはもとより、医学・医	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

			療全般について、高い識見を有している者として選定するもの。	
平田 一人	大阪市立大学 医学部附属病院長		医学又は医療に関し識見を有する者 公立大学法人大阪市立大学医学部附属 病院長として、マネジメントはもとより 医学・地域医療全般について、高い識 見を有する者として選定するもの。	有・ 無
藤井 睦子	大阪府 健康医療部長		医学又は医療に関し識見を有する者 大阪府における健康医療の行政責任者 として、豊富な知見を有している者として 選定するもの。	有・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 病院重点課題（中期計画等）、人事、組織改組、規程改正及び予算・決算等、本院の管理運営に関する重要事項 ・ 審議の概要の従業者への周知状況 全教職員が閲覧できるよう、議事録を本院のHPに掲載している。 ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（(有)・無） ・ 公表の方法 議事録を本院のHPに掲載している。 ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（(有)・無） 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙1のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法 本学のHPに掲載
- ・ 規程の主な内容

大阪大学医学部附属病院規程に副病院長及び病院長補佐は管理者（病院長）が指名すると規定している。

国立大学法人大阪大学会計規則・同予算決算規則に管理者（病院長）が医学部附属病院の予算責任者として、予算案の作成及び予算の執行について権限と責任を有すると規定している。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙2のとおり
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

国立大学附属病院を取り巻く様々な課題に対して、病院長のリーダーシップ、病院長を支えるサポート体制の強化及び病院経営等、病院執行部のガバナンス強化に向け、各国立大学附属病院の病院長、副病院長、看護部長及び事務部長等の次世代リーダー等の役職者を対象に国立大学附属病院長会議が主催する幹部職員セミナー（病院長塾・病院経営次世代リーダー養成塾）に参加させ、育成しており、今後も引き続き参加させる。

（参考）

平成28年度「病院長塾」参加者：副病院長2名・事務部長・総務課長

平成29年度「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：副病院長・副看護部長

平成30年度「病院長塾」参加者：病院長・病院長補佐・看護部長・副看護部長・総務課長

令和元年度「病院経営次世代リーダー養成塾」参加者：病院長・副看護部長

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）に規定する医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について大阪大学医学部附属病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施すること。</p> <p>(2) 委員会は、必要に応じ、大阪大学総長（以下「総長」という。）又は大阪大学医学部附属病院長に対し、医療に係る安全管理については是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) (1) (2)に掲げる業務について、その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（(有)・無）</p> <p>・ 公表の方法：本学のHPに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
倉智博久	大阪母子医療センター総長	○	医療側・経営側の両知識を有する者として選定	有 (無)	1
橋本重厚	福島県立医科大学会津医療センター教授 同大学附属病院 医療安全管理部長		医療安全管理の専門家として選定	有 (無)	1
水島幸子	水島綜合法律事務所所長		医療に精通している法律の専門家として選定	有 (無)	1
山口育子	認定NPO法人ささえあい医療人権センター COML 理事長		患者目線で医療について助言できる者として選定	有 (無)	2
奈良 哲	大阪大学理事		本学におけるリスク管理担当理事として選定	(有)・無	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

平成29年7月19日に大阪大学コンプライアンス推進委員会を設置し、各種コンプライアンス事案（研究上の不正行為、研究費の不正使用、情報漏えい事案、公益通報事案等）の総括と、コンプライアンスの推進に係る取組みの検討及び実施等を行っている。

また、下記のとおり具体的な取組みを行っている。

・大阪大学行動規範の制定
・コンプライアンス事案の発生を踏まえた再発防止策の検討及び実施（本部事務機構の各専門部署等による集合型研修やe-learningによる各種コンプライアンス教育の実施、注意喚起文書の発出、各種冊子やリーフレット等の配布、各種通報・相談窓口の設置及び周知等）

・コンプライアンスに関する教職員意識調査の実施

・ 専門部署の設置の有無（有・無）

・ 内部規程の整備の有無（有・無）

・ 内部規程の公表の有無（有・無）

・ 公表の方法 本学のHPにて公表している。

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

<p>開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p>理事会等とは別に総長が設置する大阪大学医学部附属病院戦略会議の下に下記委員を構成員とする大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会を平成31年3月8日に設置し、令和2年8月18日に第2回管理運営専門委員会を開催した。 専門委員会では、病院長から外部委員に対して下記事項についての説明を行い、質疑応答の後外部委員から特に本院の管理運営に関する指摘事項は無かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスに関する対策について ・ 令和元年度決算及び令和2年度予算について ・ 令和元年度病院重点課題の取り組み状況について ・ 令和2年度重点課題について ・ 再開発計画について <p>なお、上記専門委員会の議事については、親委員会である附属病院戦略会議を通じ総長に報告する。</p> ・ 会議体の実施状況（ 年1回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ）（ 年1回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ） ・ 公表の方法
--

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：大阪大学医学部附属病院管理運営専門委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
川西 克幸	吹田市医師会長		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
倉智 博久	大阪母子医療センター総長		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
塩崎 均	近畿大学名誉学長		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
林 紀夫	独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長	○	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
松坂 英孝	大阪ガス株式会社顧問		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
木村 正	大阪大学医学部附属病院長		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
野々村 祝夫	大阪大学医学部附属病院副病院長		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
延原 寿男	大阪大学医学部附属病院事務部長		<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 通報件数 (年〇件) ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無) ・ 周知の方法 院内各会議にて附議・周知するとともに、本院 HP の職員専用ページ及び院内ホームページ・イントラネットに設置の趣旨及び通報方法等を掲載

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構、病院機能評価（一般病院2）、2016年1月22日 日本医療教育財団、外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）、2019年3月1日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 平成24年度に本院公式ホームページをリニューアルして以降、内容の充実を図るとともに、見やすくわかりやすい情報提供を行っている。また、平成27年4月には、より見やすく伝わりやすい紙面をめざし、年4回発行する広報紙『阪大病院ニュース』をリニューアルし、大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうよう努めている。今後も引き続き適切な情報発信を行う。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 本院では、対象となる疾患等に対し、関連診療科や診療部門並びに関連医師やコメディカルが連携し、包括的な診断及び治療を実現するため、中央診療施設として以下のセンターを配置し、複数の診療科が連携して対応に当たる体制を整えている。 ・ 脳卒中センター ・ 前立腺センター ・ 睡眠医療センター ・ 疼痛医療センター ・ 生殖医療センター ・ ハートセンター ・ 小児医療センター ・ オンコロジーセンター ・ 呼吸器センター ・ てんかんセンター ・ 消化器センター ・ I V Rセンター ・ 胎児診断治療センター ・ 難病医療推進センター ・ 子どものこころの診療センター ・ 糖尿病センター ・ がんゲノム医療センター ・ 緩和医療センター ・ 腸管不全治療センター	

5 病	院	運	營	會	議	(担当 総務課庶務係)	
◎ 土	一 郎	病 郎	病 病	院 院	長 長	(人 事 勞 務)	(1号委員)
○ 竹	祝 夫	副 副	病 病	院 院	長 長	(財 務)	(3号委員)
○ 野	裕 士	副 副	病 病	院 院	長 長	(教 育)	(3号委員)
○ 藤	利 惠	副 副	病 病	院 院	長 長	(示 悉)	(3号委員)
○ 越	泰 史	科 科	病 病	院 院	長 長	(循 環)	(6号委員)
○ 坂	善 隆	科 科	病 病	院 院	長 長	(腎 臓)	(3号委員)
○ 猪	一 郎	科 科	病 病	院 院	長 長	(消 化)	(3号委員)
○ 竹	伊 郎	科 科	病 病	院 院	長 長	(糖 尿)	(3号委員)
○ 下	吉 淳	科 科	病 病	院 院	長 長	(呼 吸)	(2,3号委員)
○ 武	郷 直	科 科	病 病	院 院	長 長	(免 疫)	(3号委員)
○ 熊	宏 祐	科 科	病 病	院 院	長 長	(血 液)	(3号委員)
○ 保	祐 実	科 科	病 病	院 院	長 長	(老 年)	(3号委員)
○ 楽	実 祐	科 科	病 病	院 院	長 長	(漢 方)	(3号委員)
○ 萩	実 祐	科 科	病 病	院 院	長 長	(總 合)	(3号委員)
○ 楽	樹 康	科 科	病 病	院 院	長 長	(心 臓)	(3号委員)
○ 澤	利 郎	科 科	病 病	院 院	長 長	(呼 吸)	(3号委員)
○ 新	三 臣	科 科	病 病	院 院	長 長	(消 化)	(3号委員)
○ 江	一 二	科 科	病 病	院 院	長 長	(乳 腺)	(3号委員)
○ 土	典 剛	科 科	病 病	院 院	長 長	(小 児)	(2,3号委員)
○ 島	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(病 理)	(3号委員)
○ 奥	樹 学	科 科	病 病	院 院	長 長	(眼 科)	(3号委員)
○ 森	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(耳 鼻)	(2,3号委員)
○ 西	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(整 形)	(3号委員)
○ 猪	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(皮 膚)	(3号委員)
○ 村	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(形 成)	(3号委員)
○ 藤	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(リ ハ ビ リ テ)	(3号委員)
○ 久	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(神 經 内 科)	(3号委員)
○ 望	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(神 經 科)	(2,3号委員)
○ 池	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(腦 卒 中)	(3号委員)
○ 貴	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(神 經 科)	(2,3号委員)
○ 藤	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(腦 神 經)	(3号委員)
○ 木	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(麻 醉)	(3号委員)
○ 木	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(婦 産)	(3号委員)
○ 大	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(小 児)	(3号委員)
○ 野	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(泌 尿)	(3号委員)
○ 富	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(2,3号委員)
○ 小	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(2,3号委員)
○ 加	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(3号委員)
○ 日	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(核 医 学)	(3号委員)
○ 南	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(臨 床 学)	(4号委員)
○ 富	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(手 術)	(4号委員)
○ 大	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 高	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 藤	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 森	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 望	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 富	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)
○ 楽	学 貴	科 科	病 病	院 院	長 長	(放 射 線)	(4号委員)

副病院長・病院長補佐の所掌業務及び主な課題(令和2年度)

	担当区分	氏名	所掌業務及び主な課題	
副病院長	人事労務・医療安全	竹原徹郎	人事労務	①人事労務に関すること ②看護職員の確保 ③医師の処遇改善
			医療安全	①医療安全管理体制担当校としての業務 (医療安全・質向上のための相互チェック及びピアレビュー等) ②院内の医療の質・安全に関すること
	財務・がん診療	野々村祝夫	財務	①病床運営のための経費支援 ②病院基盤整備経費配分 ③長期的展望に立った財務基盤の確立
			がん診療	①オンコロジーセンターの運営 ②がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療中核拠点病院関係 ③がんプロを後継する発展的事業の開拓
	教育・診療体制	藤野裕士	教育	①研修医・新専門医制度に関すること ②メディカルスタッフに対する大学病院の特徴を生かしたキャリアパス開発
			診療体制	①診療体制の整備充実・病棟再編事業の発展的継続 ②手術・ICU運用
ホスピタリティ	越村利恵	ホスピタリティ	①患者接遇の向上に関する取組 (ご意見箱の対応、盗難防止対策、禁煙対策、職員教育など) ②ボランティア活動の充実	
病院長補佐	小児・周産期・再開発	木村 正	小児医療	①小児医療に関すること
			周産期	①周産期医療に関すること
			再開発	①病院再開発の企画・機能強化に関する検討
	研究・救急医療	坂田泰史	研究	①臨床研究支援体制整備及び未来医療開発部の強化発展 ②臨床研究中核病院に関すること
			救急医療	①救急医療に関すること
	中央診療施設	小川和彦	中央診療施設	①中央診療施設に関すること
	広報・中期目標・計画	奥山宏臣	広報	①病院ニュース・アニュアルレポートの作成 ②職員募集計画を念頭においた広報戦略 ③市民への病院紹介コンテンツの立案 ④病院フォーラムの企画
			中期目標・計画	①中期目標・計画の策定と評価
	医療情報・地域医療・外部評価	松村泰志	医療情報担当	①医療情報に関すること
			地域医療	①医療情報を介した地域医療の充実
			外部評価	①外部評価(特定共同指導・JCI受審)に対する院内準備
	女性支援・ダイバーシティ	池田 学	女性支援	①女性教職員の安定的就労支援
			ダイバーシティ	①男女教職員の多様な働き方の確立
経営・組織改革	延原寿男	経営	①経営戦略の検討	
		組織改革	①事務組織の改革	